

茨城の文化財

第64集（令和7年度）

茨城県教育委員会

序

文化財は、わが国の長い歴史の中で生まれ、私たちに伝えられてきた貴重な国民的財産です。豊かな自然と歴史に恵まれた本県には、有形・無形の貴重な文化財や自然の造形が数多くございます。

こうした文化財は、わが国の歴史、伝統、文化を正しく理解するために不可欠であり、文化のさらなる向上発展の礎となるものです。令和4年4月には、文化財保護法の一部改正により、無形文化財等に係る登録制度が整備され、令和7年12月には、生活文化関係に関する重要無形文化財の指定等の基準が新設されるなど、制度の充実が図られているところです。

このような中、県教育委員会では、文化財の適切な保存や効果的な活用を推進するとともに次世代に継承していくため、様々な施策を実施しており、今後とも皆様の一層の御理解と御協力をお願いする次第です。

さて、本書では令和7年度に指定された国・県指定文化財、ユネスコ無形文化遺産に追加登録された文化財及び登録された国登録文化財等について収録するとともに、国・県指定及び国登録等の文化財一覧表を掲載いたしました。

また、令和7年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要、令和6年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要なども収録いたしました。本書が多くの方々に活用され、文化財の保存・活用の一助となれば幸いです。

結びに、本書の作成にあたり御協力をいただきました茨城県文化財保護審議会委員をはじめ、関係市町村文化財主管課並びに文化財の所有者及び保護団体の皆様方に対しまして、深く感謝申し上げます。

令和8年3月31日

茨城県教育委員会

教育長 柳橋 常喜

例 言

1 本書は、文化財保護法の規定に基づき、令和7年度に追加指定された国指定文化財1件、登録原簿に登録された登録文化財12件、無形文化遺産保護条約政府間委員会においてユネスコ無形文化遺産一覧表に追加登録された文化財1件及び茨城県文化財保護条例の規定に基づき、令和7年度に県指定文化財となった3件について、解説を収録したものである。

2 国・県指定文化財等総数は令和8年3月31日、市町村別指定文化財数量は令和8年3月1日現在のものである。

3 茨城県文化財保護審議会委員は、次の各氏である。

会 長	小野寺	淳
副会長	徳丸	亞木
委 員	浅見	龍介
委 員	伊藤	紫織
委 員	伊藤	弘 (令和8年1月28日から)
委 員	金出	ミチル
委 員	小森	正明
委 員	谷口	陽子
委 員	千葉	真由美
委 員	白田	正子
委 員	藤井	英二郎 (令和8年1月27日まで)
委 員	藤川	昌樹
委 員	古家	晴美
委 員	山田	利博

4 令和7年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要は、茨城県埋蔵文化財センター（いせきぴあ茨城）運営方針及び令和7年12月までの事業実績をもとに編集したものである。

5 遺跡発掘調査報告は、令和6年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要を、市町村教育委員会、公益財団法人茨城県教育財団及び調査担当者が作成した埋蔵文化財発掘調査概要調査票に基づき、茨城県教育委員会が集約、編集したものである。

目 次

序

例 言

1	令和7年度に追加指定された国指定文化財	1
	国指定史跡 磯浜古墳群（追加指定）	2
2	令和7年度にユネスコ無形文化遺産代表一覧表に追加登録された文化財	3
	「山・鉾・屋台行事」 常陸大津の御船祭（追加登録）	4
3	令和7年度に指定された県指定文化財	5
	（1）茨城県指定有形文化財 彫刻 彫第168号 木造不動明王立像	6
	（2）茨城県指定有形文化財 彫刻 彫第169号 木造獅子・狛犬	10
	（3）茨城県指定有形文化財 歴史資料 歴第12号 弘道館御用留等記録史料	13
4	令和7年度に登録された国登録有形文化財	20
5	国・県指定文化財等一覧	30
	（1）国・県指定文化財等総数	31
	（2）国指定文化財等一覧	32
	（3）ユネスコ無形文化遺産一覧	45
	（4）県指定文化財一覧	46
	（5）国登録文化財一覧	76
6	市町村別指定文化財数	85
	令和7年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧	89
7	令和7年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要	91
8	令和6年度茨城県遺跡発掘調査報告	97

1 令和7年度に追加指定された 国指定文化財

国指定史跡

いそはまこふんぐん 磯浜古墳群（追加指定）

指定日 令和8年2月17日

所在地 茨城県東茨城郡大洗町

磯浜町字五本松 2893 番ほか

面積 1,453.00 m²

磯浜古墳群は、那須岳山麓に源を發し太平洋に注ぎ込む那珂川の河口から南西約3キロメートル、太平洋に面して南北に細長い鹿島台地の北端近くの約300メートル四方の狭い範囲に築かれた、古墳時代前期を中心とする古墳群である。常陸地域では霞ヶ浦や那珂川・久慈川下流部や河口付近といった内水面と太平洋との結節地点付近に大規模な前期前方後円墳が展開しており、磯浜古墳群もその1つである。

古墳時代前期前葉に築造されたと考えられる墳長29.4メートルの前方後方墳である姫塚古墳、墳丘が削平されており詳細は不明であるが、これに後続すると考えられている五本松古墳と五本松下古墳、これらに続くと考えられている墳長60メートル前後の前方後円墳の坊主山古墳、前期後葉に築造された全長100メートルを超える前方後円墳の日下ヶ塚（常陸鏡塚）古墳、前期末から中期初頭に築造された直径80メートルを超える円墳の車塚古墳の6基の古墳からなる。

前期前葉から中期初頭まで古墳の系譜を辿ることができるとともに、葺石・埴輪をもたない前方後方墳の姫塚古墳、埴輪を有する大型前方後円墳の日下ヶ塚古墳、葺石・埴輪を有する大型円墳の車塚古墳へと、墳形や外表施設の変遷が確認でき、地域における古墳文化の波及と受容の実態を具体的に示している。とりわけ、日下ヶ塚古墳は、墳形は佐紀陵山古墳との類似性が、石製模造品は富雄丸山古墳と構成や製作技術の類似性が指摘され、ヤマト政権との密接な関係が想定される関東の前期後葉の代表的な前方後円墳と考えられている。このように磯浜古墳群は、ヤマト政権の東国経営の在り方とともに、当該期の地域首長や地域社会の実態を知る上で重要な古墳群であることから、令和2年（2020）に史跡に指定された。

今回、日下ヶ塚古墳の後円部、車塚古墳の周濠、五本松古墳の周濠及びその周辺のうち、条件の整った部分を追加指定し、保護の万全を図るものである。



磯浜古墳群 車塚古墳（南西から）（写真提供・大洗町）

（文化庁文化財第二課「新指定の文化財－記念物－」『月刊文化財』令和8年3月号、第一法規より転載）

2 令和7年度にユネスコ無形文化遺産代表一覧表に追加登録された文化財

「山・鉾・屋台行事」 常陸大津の御船祭（追加登録）

登録日 令和7年12月11日
保護団体 常陸大津の御船祭保存会
所在地 茨城県北茨城市大津町

本件は、茨城県有数の漁村である北茨城市大津町で行われている、美しく飾った巨大な木造船に神輿を載せて陸上を曳行する行事であり、ユネスコ無形文化遺産の「山・鉾・屋台行事」に、追加で登録されたものである。

本件は昭和54年12月7日に記録等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）として選択され、平成29年3月3日に国指定重要無形民俗文化財として指定された。

我が国の漁村部には船や舟形の山車等を用いて、豊漁や海上安全などを祈願する行事が多く見られ、本件はその典型例の1つである。また、かつて漁船を陸揚げした方法を応用して行われるなど、他に類例を見ない形態で行事が行われており、地域的特色も顕著な行事である。さらに、東日本太平洋側を中心によく見られる神輿が神社から海辺までを渡御する「浜下り」と呼ばれる行事との関連もうかがわれる。

本件は、北茨城市大津町にある佐波波地祇神社の春季例大祭に行われる行事で、神輿を木造船に載せて町内を巡行し、豊漁や海上安全などを祈願する。2日の宵祭では、美しく飾り付けられた木造船が、神輿を載せない空船と呼ぶ状態で神社の麓まで巡行する。また、夜には神社で神輿に神霊が遷される。3日の本祭では、木造船が神社から渡御する神輿を途中で載せた神船と呼ぶ状態で町内を巡行する。途中、町境などで、御船歌を奉納しながら海辺までを到着したあと、御輿は降ろされて神社に戻る。巡行は、ソロバンと呼ばれる井桁状に組んだ木枠を路上に敷き、その上を左右に激しく揺らしながら、豪快に滑らせて行われ、この間、囃子が間断なく奏される。



【文・写真提供：文化庁】

3 令和7年度に指定された 県指定文化財

(1) 茨城県指定有形文化財 彫刻

彫第168号

もくぞうふどうみょうおうりゅうぞう

木造不動明王立像 1 軀

指定日 令和7年12月25日

所在地 茨城県稲敷市阿波961番地1

所有者 安穩寺^{あんのんじ}

不動明王は、7世紀にインド仏教がヒンドゥー教の影響を受けて密教（秘密仏教）を生むに至って創造された尊格である。密教はインドから中国に伝えられ、唐時代に流行して宮廷の庇護も受けた。日本に密教をもたらしたのは遣唐使船で唐に渡った空海である。大同元年（806）に帰国した時に、經典、曼荼羅等大量の品々を持ち帰ったことが『弘法大師請来目録』によって知られる。現存する最古の曼荼羅である高雄曼荼羅（京都・神護寺蔵）に不動明王が描かれている。空海の構想によって造営された京都・東寺講堂の立体曼荼羅中の不動明王坐像は日本最古の不動明王の彫像であり、その姿は高雄曼荼羅と同じで、髪は総髪、両目を見開き、上歯で下唇を噛み、左肩に弁髪を垂らす姿で、頭の上には蓮華の花を乗せる。

空海以後も寛平6年（894）遣唐使が廃止されるまで真言宗、天台宗の僧が中国で展開していた密教經典、曼荼羅、図像をもたらし、不動明王像の姿にも変化があった。

安穩寺の不動明王像は、髪は巻き髪、頭の上に八方に輪を作るまげを結う。まげを結ぶ紐は莎草^{さそう}という植物から作ったものなので、これを莎髻^{さけい}と呼ぶ。目は目頭に二つの角がある瞋^{いか}りの目で右目は大きく見開き、左目は眇^{すが}める。これを天地眼と呼ぶ。口は力を入れて結び、左上と右下の牙を外に出す。紐状にまとめた弁髪を左耳前から肩に垂らす。こうした頭部の形は、空海が伝えたものとは異なり、天台宗の僧安然^{あんねん}が9世紀末に著書にまとめた姿と一致する。

安穩寺はこの地域で有力だった天台宗寺院逢善寺^{ほうぜんじ}の筆頭末寺で、大杉神社に隣接する。文治5年（1189）頃には源義経の家来だった常陸坊海尊^{ひたちぼうかいそん}が住んだと伝える。

この像の顔は眉が隆起し、口端は窪んで頬は肉付きが良い点など立体感豊かで、玉眼^{ぎよくがん}の効果もあって現実感に富む。右手は大きく肘を張って右脇腹辺で剣をとり、左手は側方に垂らして縋索^{ひんさく}をとる。腹部の厚さ、両腕のたくましき、右に腰を捻って左足を一步前に出す動きなど鎌倉時代の特色が見られる。衣文は基本的に平行に表わされ、浅く、全体に力強さが少ない点から、13世紀中頃の作と考えられる。

構造の詳細は不明だが、体幹部は頭部と体部を通して右耳中、左耳前（不明瞭）を通る線と正中線で前後左右に矧^はぐと見られる。内矧^{うちぐ}りして首で頭部と体部を割り放し、面部の造形を整え、玉眼^{かんにゅう}を嵌入^か入^いりしてから矧^はぎつける。両腕は左右とも肩で蟻柄^{ありぼぞ}と銚^{かすがい}等で留める。それぞれ肘と手首で矧^はぐか。背板を矧^はぐ。

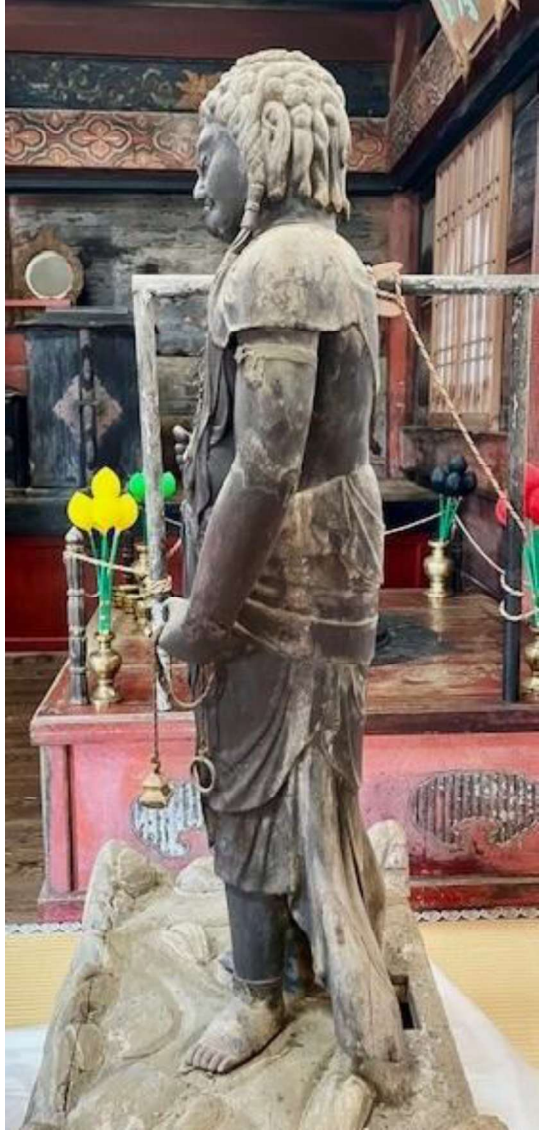
銅製の装身具、持ち物（鉄製の剣と縋索）、台座、火焰光背は後補。

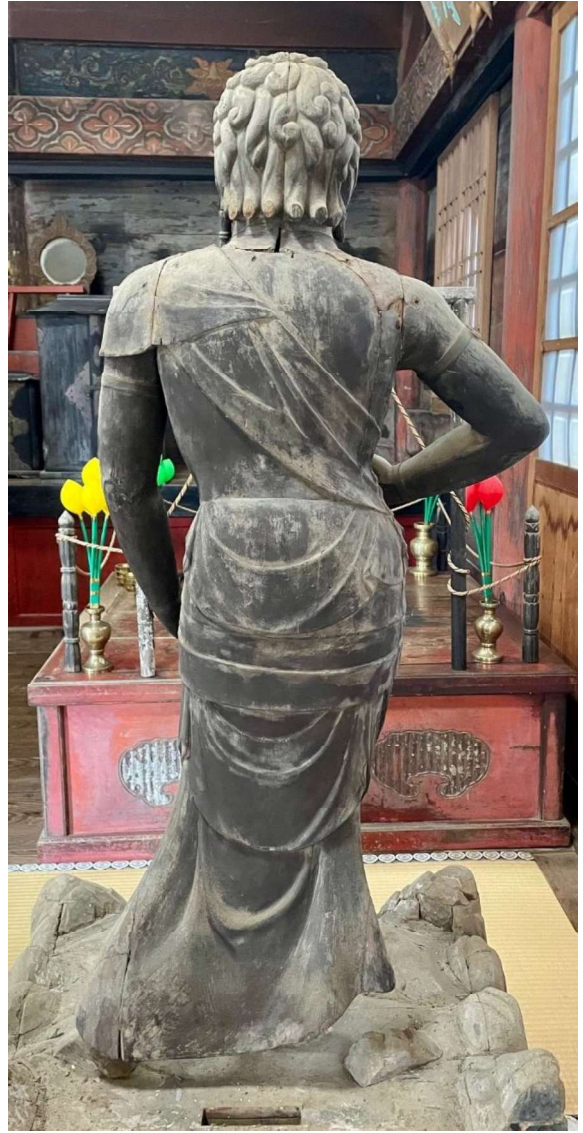
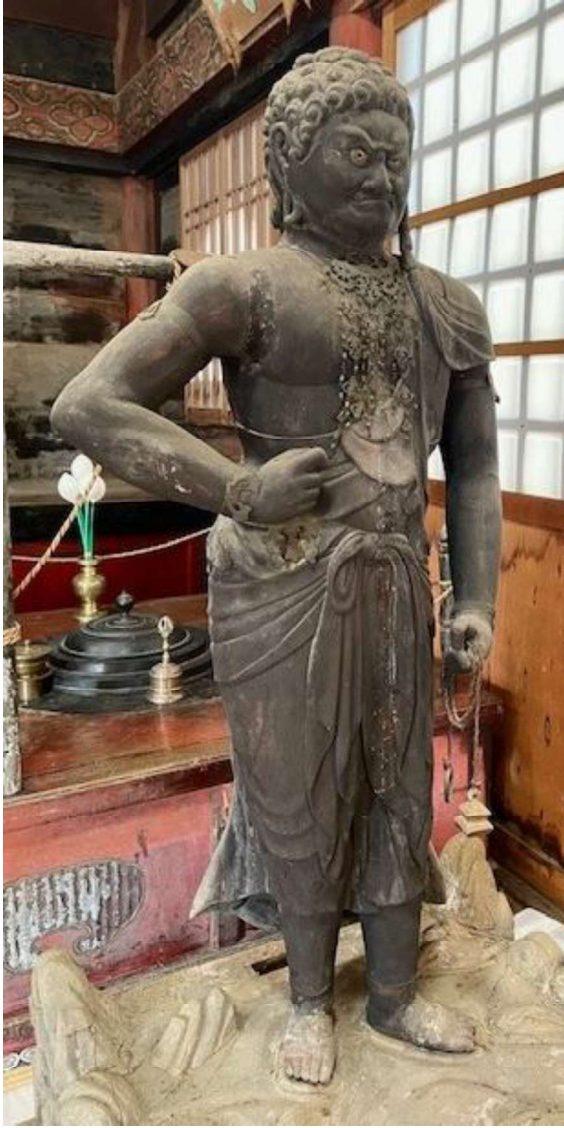
県内の不動明王像では、つくばみらい市・不動院の不動明王および二童子立像（国指定、平安時代）が名高い。県指定は、7軀あり、常陸太田市・菊蓮寺（平安時代、立像）、桜川市・祥光寺（平安時代末期～鎌倉時代、立像）、同・小山寺（鎌倉時代後半、立像）、同・樂法寺〔永享12（1440）、立像〕、行方

市・法眼寺〔永禄13年（1570）、坐像〕、結城市・大栄寺（室町時代、坐像）、笠間市・下箱田総代会（室町時代、坐像と二童子）である。

安穏寺像は、鎌倉時代の典型的な作風を示す点で注目され、重要である。







(茨城県文化財保護審議会 浅見 龍介 委員)

(2) 茨城県指定有形文化財 彫刻

彫第169号

もくぞうしし こまいぬ
木造獅子・狛犬

1対

指定日 令和7年12月25日

所在地 茨城県常陸大宮市中富町1087番地の14

常陸大宮市歴史民俗資料館

所有者 常陸大宮市

神社では一対の狛犬が本殿の前方左右に置かれることが多い。頭上に角のある方を狛犬、ない方を獅子と呼ぶが、近世には角がなくなり、狛犬と獅子の姿の差はなくなり、一対の差は阿吽つまり口を開けるか閉めるかだけになった。

獅子すなわちライオンは現在ではアフリカとインドの限定された地域にしか生息していないが、18世紀頃までは西アジア、南アジア、東南アジアに生息していた。それらの地域では比較的正確な描写がされたが、ライオンが生息しない中国にインドからその形が伝えられ、想像が加わって姿が変化し、唐獅子となった。狛犬は獅子に角を生やした空想上の動物である。

日本の獅子・狛犬の古い例としては奈良・薬師寺の休ヶ岡八幡宮に置かれていた像、京都・東寺に平安時代前期の作例がある。平安時代後期以降の作例は多い。

茨城県では、鹿島神宮に平安時代から鎌倉時代の像が欠損を含め20軀分以上残っている。社殿に獅子・狛犬が一対で置かれるので、10を越す社殿に用いたのだろう。残念ながら平安時代と見られる像は朽損が甚だしく、頭部の造形は残っていない。

今回指定する像は、常陸大宮市長倉の愛宕神社に伝来したものである。近年になってその存在が知られ、令和2年(2020)に常陸大宮市に寄贈された。愛宕神社の社殿は鞘堂の中にあり、社殿の扉は常に開いており、中に高さ50cmほどの黒漆塗りの厨子がある。この厨子の中に神像あるいは本地仏が安置されていた可能性があるが、今は空である。獅子・狛犬はその廻縁に置かれていたと考えられる。

阿形(獅子)の鬣は巻き毛。眉を吊り上げ、瞋りの目、口を開き、牙、歯、舌を表わす。耳は伏せる。四肢に鱗状の毛を表わす。後肢は膝を折って座り、右前肢を前に出し顔を左方に向ける。背骨を表わす。

吽形(狛犬)は頭頂に角を固定していたと見られる木釘が残るので狛犬である。鬣は直毛。眉を吊り上げ、瞋りの目、口を閉じ、上牙、歯で下唇を噛む。耳は立てるが、右耳は後方を向く。左耳は後補のため当初の形は不明。四肢に鱗状の毛を表わす。後肢は膝を折って座り、右前肢を前に出し顔を右方に向ける。背骨を表わす。

針葉樹材(ヒノキか)、一木造、金箔押し、彫眼。

尾は別材を漆で接着していたが欠失。その他、阿形の左耳、左右後肢先、尾。吽形の角、右前肢の爪部分、左右後肢先を欠く。両像とも腰を下ろした部分の底面に小さな孔をあけ、木釘を挿して台板に固定する(木釘、台板は新補)。

鬣と四肢の毛は彩色、阿形は緑青、吽形は群青。いずれも截金で毛筋を表わす。

阿形の口の中、舌は朱。吽形の唇は朱または弁柄。

体部の金箔、鬣等の彩色ともに木地に胡粉を塗り、その上に施したと見られる。現状残る黒漆とその上の金箔は後補。

この獅子・狛犬は小像であるが極めて洗練された作風で、鎌倉時代初期の慶派仏師の作と見てよいだろう。その時期は佐竹氏の勢力がここまで及んでいたと見られ、長倉城下の神社のために有力仏師に発注したと考えられる。

県指定は鹿島神宮の鎌倉時代作の狛犬2軀、江戸時代在銘の1対、筑西市羽黒神社の南北朝時代作の1対、桜川市二所神社と桜川市磯部稲村神社の室町時代の1対がある。

小像であるが造形的に優れており、全国的にも注目すべき作例である。



狛犬

獅子



狛犬



獅子



狛犬



獅子



狛犬 後脚部分

(茨城県文化財保護審議会 浅見 龍介 委員)

(3) 茨城県指定有形文化財 歴史資料

歴第12号

弘道館御用留等記録史料 65点

指定日 令和7年12月25日

所在地 茨城県水戸市緑町2丁目1番15号
茨城県立歴史館

所有者 茨城県

本史料群は、水戸藩9代藩主徳川斉昭による藩政改革の一環として天保12年(1841)に仮開館、安政4年(1857)に本開館した藩校・弘道館の教育活動の実態を示す、65点の記録史料である。昭和44年(1969)設立の茨城県教育財団が茨城県立歴史館開館(昭和49年・1974)に備えて、昭和46年(1971)に購入したもので、史料の年代は文化6年(1809)から明治5年(1872)にわたる。

弘道館は、近世後期において全国有数の規模を誇る藩校であり、敷地内には正庁及び至善堂のほか文館・武館・医学館・天文台・鹿島神社・八卦堂・孔子廟、また馬場や調練場のほか砲術場なども整備され、藩士とその子弟が学ぶ総合的な教育施設であった。医学の教授、種痘や製薬も実施されていたが、明治5年の学制発布によって閉鎖され、30年余りにわたる藩校の役割を終えている。本史料群はこのような歴史的経緯を持つ弘道館の活動の実態を示すもので、その内容は①御用留類、②日記類、③文化期御用留類、④往復書案、⑤姓名録、⑥その他、に大別できる。

①御用留類は、天保10年(1839)～明治2年(1869)にわたる18点である。このうち6点は、「弘道館御用留」「学校御用留」等の表題が付された天保10年(1839)～明治2年(1869)の史料である(通番1～6)。達書や諸伺を中心に弘道館の教授頭取や教授頭取代等が記録した御用留で、弘道館の普請や地祭ほか仮開館に至る経緯、人事や勤務、本開館に関する内容も記されている。これら6点は既に『茨城県立歴史館史料叢書 弘道館史料Ⅰ』(2000年)に翻刻が収録されている。続く12点は「別録」「調方御用留」等の表題が付された天保12年～明治2年の史料である(通番7～18)。藩庁と弘道館教授頭取の間で交わされた文書の記録、舎長・居学生・菅庫等の賞賜、諸生の出精状況調査、弘道館仮開館の記録のほか、幕末の国内および水戸藩の政治的動向も記されるなど内容は多岐に及ぶ。この12点については『茨城県立歴史館史料叢書 弘道館史料Ⅲ』(2003年)に翻刻が収録されている。

②日記類は、弘化4年(1847)～明治5年にわたる23点である。このうち12点は「日記」あるいは「学校日記」の表題が付された、弘化4年～安政7年(万延元年・1860)の史料である(通番19～30)。通番19のみ冊子の形態は異なるが、いずれも弘道館における日々の教育活動の記録で、執政・家老・番頭らの登館日や特筆すべき教育活動についての記録がある。また安政の大地震や藩主斉昭逝去時の記述もある。これら12点の史料は『茨城県立歴史館史料叢書 弘道館史料Ⅱ』(2021年)に翻刻が収録されている。続く11点は「学校諸事御用手控」「手控」「日記」「日録」等の表題が付された、弘化2年(1845)～明治5年の史料である(通番31～41)。諸生の出精状況や文武見分等が記録されている。特に弘化2年「学校諸事御用手控」には、前年に斉昭が幕府から隠居謹慎の処分を受け、その後の弘道館の組織変革の様子をうかがうことができる(通番31)。なお嘉永3年(1850)「日記」(通番35)以降の日記は、

弘化4年「日記」（通番7）の続編と見られるものである。安政4年と万延2年（1861）の「文館日録」（通番38・39）は教授頭取の会沢安（正志齋）・青山延光によるもので、教員人事や学生の輪読についての記載がある。明治5年「日録」（通番40・41）は弘道館正庁及び至善堂に茨城県庁が設置される等、機構改革のようすが理解できる。これら11点の史料は『茨城県立歴史館史料叢書 弘道館史料IV』（2022年）に翻刻が収録されている。

③文化期御用留類は、文化6年（1809）～安政2年（1855）の記述を有する3点である（通番42～44）。「武芸上覧御用留」（通番42）は7代藩主徳川治紀期の史料で、治紀が江戸から水戸へ就藩帰国した文化6年4月から翌7年4月の武芸上覧の様子が記されている。「学問御吟味御用留」（通番43）「学芸学問出精書御用留」（通番44）は、治紀・斉脩・斉昭期の史料で、弘道館設立前の家塾の記録や弘道館仮開館に関する記録を含んでおり、後者には仮開館後の記録もある。文化期御用留類は弘道館仮開館前のものであるが、水戸藩における武芸学問の内容を示すもので、弘道館の活動に連なる史料として価値が高い。

④往復書案は、元治元年（1864）～慶応2年（1866）にかけての4点の史料である（通番45～48）。江戸弘道館の文庫役・管庫役等と水戸弘道館の教授頭取代・管庫役・文庫役等との往復書の写が記載される。

⑤姓名録は、天保12年～明治5年にわたる11点の史料である（通番49～59）。一部年未詳ではあるが全て同時期の史料とみられる。居学生や役人の名簿、居学生の出精記録、門弟の文武精進名簿、武術修行に来館した師範の流派と姓名書などを内容とする。

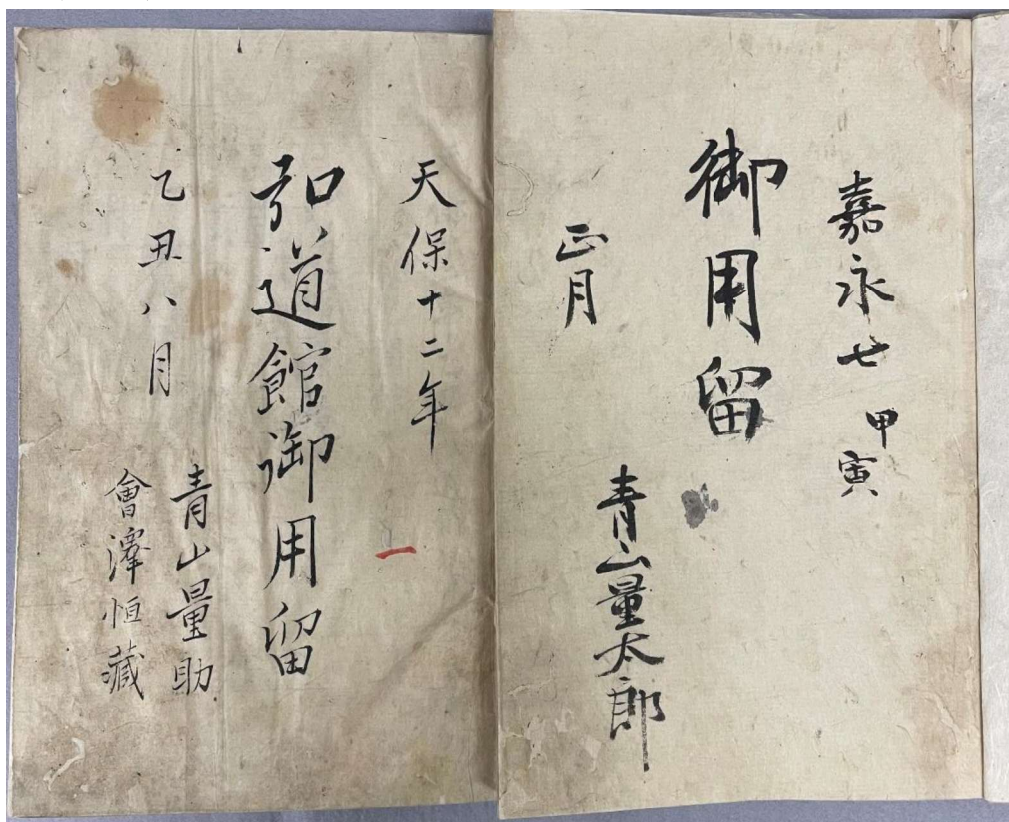
⑥その他は6点で、うち2点は安政4年（1857）頃の鹿島神社遷宮に関する記録である（通番60～61）。弘道館敷地内に同館の主要施設として鹿島神社を遷宮する際の式次第や入用品目等の記録などが、その内容となっている。このほか明治5年「文武館人員費用調元」（通番62）は大蔵省官吏が茨城県庁に出張した際に学館の実態調査を命じた記録の下書、安政末～明治期の「大久保小菅郷校費用大図」（通番63）は大久保郷校と小菅（小里）郷校の一年間の経費の大略を記したものである。小菅郷校には弘道館から教員が派遣されて出張講義を行っていた。明治4年（1871）「月番取計控」（通番64）は、月番によって記載された弘道館の日録、天保14年（1841）「医学館書目」（通番65）は、医学館開館時に同教授らに引き渡された266部の書籍の目録である。6点の史料は①～⑤と同様に弘道館に関わる史料として位置づけられる。

本史料群は弘道館の教職員等の関係者によって作成された一次史料で、同館における日々の教育活動、人事に関するもの、居学生の状況、江戸と水戸の双方の弘道館の往復書簡等多岐にわたって弘道館内部の動きを具体的に知ることができ、歴史的価値が非常に高い。弘道館に関する史料は幕末や第二次大戦期の戦災で多くが焼失しており、本史料群は同館の活動の実態を知ることができる稀少なものでもある。

現在、茨城県立歴史館所蔵として保存状態も良好であり、所定の手続きにより原本閲覧が可能であるなど利用にあたっては開かれた状況にある。また①～②の41点は既に『茨城県立歴史館史料叢書 弘道館史料』として翻刻、刊行されており、広く研究に供されている。今回の指定によって本史料群への学術的関心も高まり、弘道館を対象とする研究の一層の進展が期待できる。なお関連する学術刊行物として、鈴木暎一『水戸藩学問・教育史の研究』（吉川弘文館、1987年）、鈴木暎一『水戸弘道館小史』（文眞堂、2003年）などがある。

（茨城県文化財保護審議会 千葉 真由美 委員）

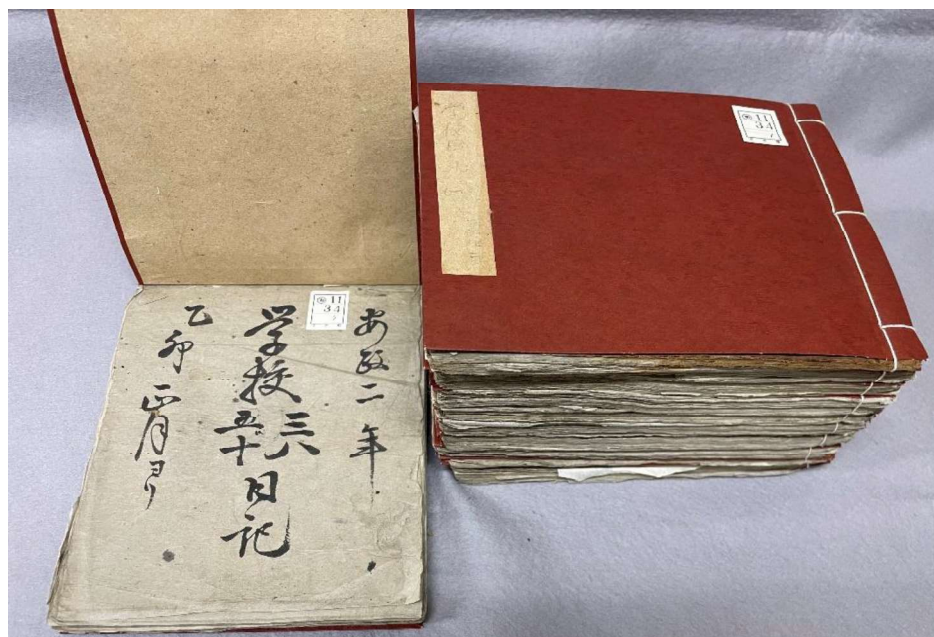
□御用留類



天保 12 年「弘道館御用留」

嘉永 7 年「(弘道館)御用留」

□日記類



嘉永 2 年～安政 7 年「(弘道館)学校日記」 12 冊

□文化期御用留類



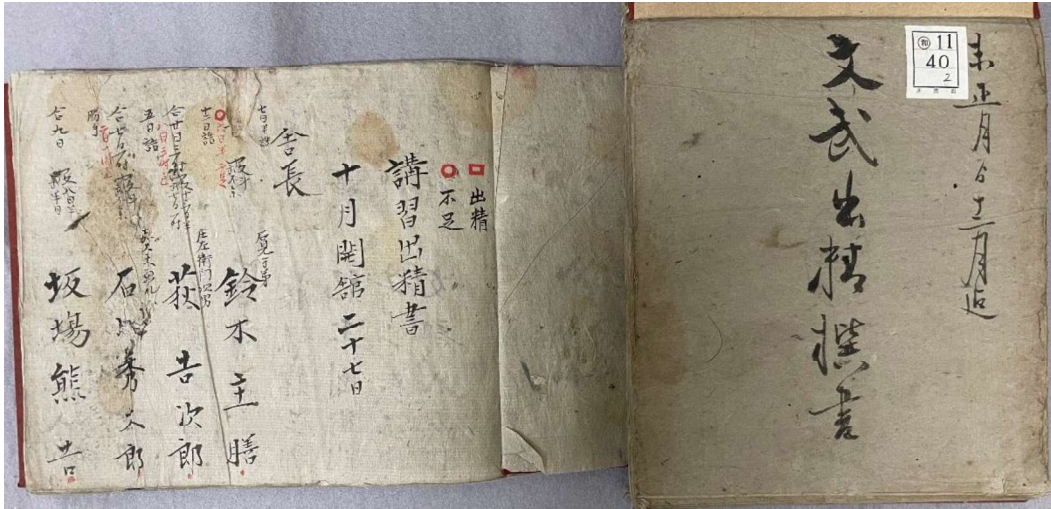
文化6年「武芸上覧御用留」 文化8年「學問御吟味御用留」 文化8年「武芸學問出精御用留」

□往復書案



天保14年「往復書案」 慶應元年「往復書案」 慶應2年「往復書案」

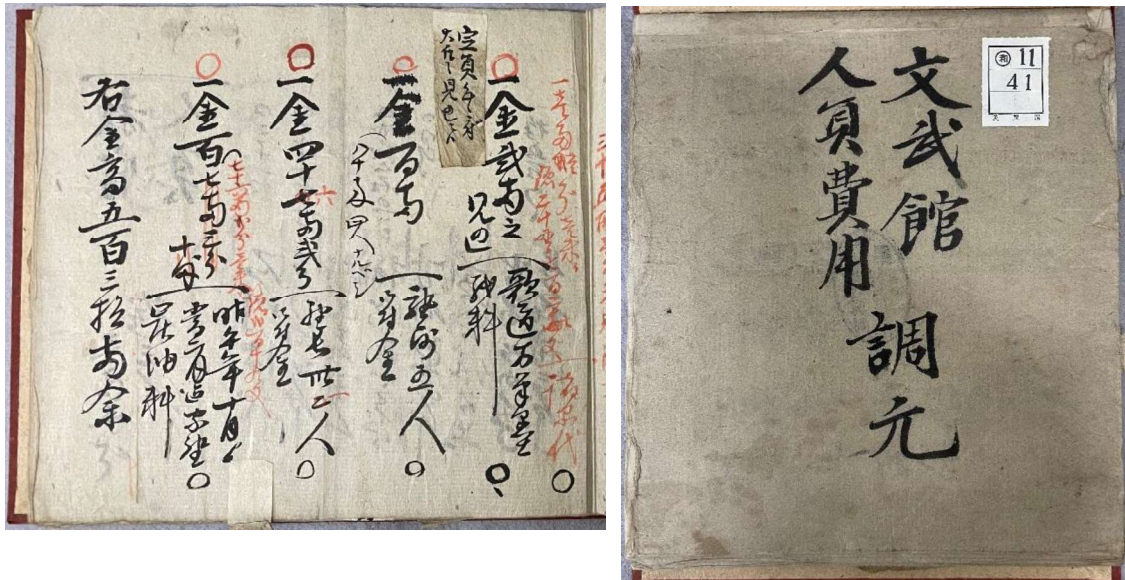
□姓名録



「文武出精書」

「文武出精撰書」

□その他



明治5年「文武館人員費用調元」

(写真提供 茨城県立歴史館)

「弘道館御用留等記録史料」目録

通番	分類	原書内番号	資料番号	資料名	和暦	西暦	作成者(編著者)	形態	数量	法量	丁数	備考
1	御用留類	I-1	11-36	(弘道館御用留)	天保10	1839		写小横	1	15.5×19.0	76	天保10年12月～同12年7月
2		I-2	11-20	弘道館御用留	天保12	1841	青山量助、会沢恒蔵／高根千蔵	写竖	1	26.5×17.5	261	天保12年8月～嘉永6年
3		I-3	11-27	(弘道館)学校御用留	嘉永02	1849		写竖	1	29.7×20.7	107	嘉永2年1～12月
4		I-4	11-21	(弘道館)御用留	嘉永07	1854	青山量太郎	写竖	1	26.5×17.7	93	嘉永7年3月～慶応元年6月
5		I-5	11-12	弘道館文武見分御用留	天保13	1842		写竖	1	30.0×21.5	37	天保13年6～9月
6		I-6	11-26	(弘道館)見分取計	弘化03	1846	(菊池以道)	写竖	1	29.8×20.5	53	弘化3年8月～明治2年11月
7		Ⅲ-1	11-24	(弘道館)別録	天保12	1841	弘道館	写竖	1	27.8×19.5	68	天保12年12月15日～弘化4年12月
8		Ⅲ-2	11-25-1	(弘道館)調方御用留	天保15	1844	弘道館	写竖	1	30.0×21.8	15	天保15年1月19日～12月2日
9		Ⅲ-3	11-25-2	(弘道館)調方御用留	弘化02	1845	(調掛り・高嶋雄之介、寺門喜衛門)	写竖	1	30.0×21.8	32	弘化2年2月19日～10月26日、弘化3年1月23日～12月20日
10		Ⅲ-4	11-28	御慰勞留	嘉永06	1853	弘道館管庫局	写竖	1	28.2×18.9	23	嘉永4年8月7日～10月24日。文久、慶応年間の記事もあり。
11		Ⅲ-5	11-29	(弘道館)諸申出留	安政04	1857	会沢恒蔵、青山量太郎	写竖	1	27.0×17.8	41	安政4年5月～元治元年3月
12		Ⅲ-6	11-37-1	(弘道館)御用留	安政04	1857	(目付方)	写小横	1	15.0×19.5	86	
13		Ⅲ-7	11-15	(弘道館)御用留	安政05	1858		写竖	1	26.8×18.8	51	安政5～文久4年、慶応2～明治2年。
14		Ⅲ-8	11-37-2	(弘道館)御用留	安政05	1858	(目付方)	写小横	1	15.0×19.5	76	安政5年1月1日～12月25日
15		Ⅲ-9	11-22	(弘道館)御達留	文久01	1861	会沢恒蔵、青山量太郎	写竖	1	26.1×17.8	121	文久元～元治元年(慶応元年も少し含む)
16		Ⅲ-10	11-37-3	(弘道館)御用留	万延02	1861	弘道館御目附方	写小横	1	15.0×19.5	51	万延2年1月1日～12月25日
17		Ⅲ-11	11-23	(弘道館)御達留	慶応01	1865	(教授頭取、または教授か)	写竖	1	26.1×17.8	124	慶応元～3年
18		Ⅲ-12	11-33	御達留	明治02	1879	弘道館監察局	写竖	1	29.5×20.3	27	明治2年5月20日～6月20日
19	日記類	Ⅱ-1	11-19	(弘道館)日記	弘化04	1847		写竖	1	22.6×18.5	56	
20		Ⅱ-2	11-34-1	(弘道館)学校日記	嘉永02	1849		写小横	1	15.0×19.5	49	
21		Ⅱ-3	11-34-2	(弘道館)学校日記	嘉永03	1850		写小横	1	15.0×19.5	52	
22		Ⅱ-4	11-34-3	(弘道館)学校日記	嘉永04	1851		写小横	1	15.0×19.5	67	
23		Ⅱ-5	11-34-4	(弘道館)学校日記	嘉永05	1852		写小横	1	15.0×19.5	74	
24		Ⅱ-6	11-34-5	(弘道館)学校日記	嘉永06	1853		写小横	1	15.0×19.5	54	
25		Ⅱ-7	11-34-6	(弘道館)学校日記	嘉永07	1854		写小横	1	15.0×19.5	60	
26		Ⅱ-8	11-34-7	(弘道館)学校日記	安政02	1855		写小横	1	15.0×19.5	75	
27		Ⅱ-9	11-34-8	(弘道館)学校日記	安政03	1856		写小横	1	15.0×19.5	77	
28		Ⅱ-10	11-34-9	(弘道館)学校日記	安政04	1857		写小横	1	15.0×19.5	70	
29		Ⅱ-11	11-34-10	(弘道館)学校日記	安政05	1858		写小横	1	15.0×19.5	34	
30		Ⅱ-12	11-34-11	(弘道館)学校日記	安政07	1860		写小横	1	15.0×19.5	88	
31	IV	Ⅳ-1	11-43	(弘道館)学校諸事御用手控	弘化02	1845	(徒目付)	写小横	1	15.1×19.6	6	
32		Ⅳ-2	11-38-1	(弘道館)手控	嘉永03	1850	善衛門(徒目付か)	写小横	1	15.1×19.6	19	嘉永3年1月16日～同4年2月20日
33		Ⅳ-3	11-38-2	(弘道館)手控	嘉永04	1851	(徒目付か)	写小横	1	15.0×19.5	83	

「弘道館御用留等記録史料」目録

通番	分類	叢書内番号	資料番号	資料名	和暦	西暦	作成者(編著者)	形態	数量	法量	丁数	備考	
34	日記類	IV-4	11-38-3	(弘道館)手控	嘉永05	1852		写小横	1	14.9×19.6	67		
35		IV-5	11-49-1	(弘道館)日記	嘉永03	1850	訓導局	写竖	1	26.8×18.4	61		
36		IV-6	11-49-2	(弘道館)日記	嘉永06	1853	訓導	写竖	1	26.7×17.8	56		
37		IV-7	11-49-3	(弘道館)日記	安政02	1855	(訓導局)	写竖	1	28.9×20.0	60	安政2年、安政3年1月	
38		IV-8	11-17	(弘道館)文館日録	安政04	1857	会沢安・青山延光	写竖	1	27.5×19.3	57	安政4年1月16日～同5年7月7日、同6年1月1日～12月2日	
39		IV-9	11-18	(弘道館)文館日録四	万延2	1861	会沢安・青山延光	写竖	1	25.7×17.5	47	万延2年1月～文久2年11月	
40		IV-10	11-30	(弘道館)日録	明治05	1872	小室虎三郎、小林廉蔵、川崎長蔵(校中雑務取扱)	写竖	1	28.4×19.6	52	明治5年2月～7月	
41		IV-11	11-32	(弘道館)日録	明治05	1872	小室虎三郎、小林廉蔵、川崎長蔵(校中雑務取扱)	写竖	1	28.1×19.2	8	明治5年2月～7月	
42		(文化期)	1	11-9	(弘道館)武芸上覧御用留	文化06	1809		写竖	1	30.0×21.6	133	文化6年4月～同7年4月
43			2	11-10	(弘道館)学問御吟味御用留	文化08	1811		写竖	1	31.5×21.2	221	文化8年～文政12年、天保4～14年
44	3		11-11	(弘道館)武芸学問出精書御用留	文化08	1811		写竖	1	30.0×21.8	159	文化8～安政2年	
45	(往復書案)	1	11-48	教授頭取代往復書案	元治01	1864		写竖	1	27.9×18.8	86	元治元年12月～慶応元年12月	
46		2	11-56-1	(弘道館)往復書案	天保14	1843		写竖	1	28.5×19.4	132	天保13年、天保14年	
47		3	11-56-2	(弘道館)往復書案	慶応01	1865		写竖	1	27.4×18.4	161		
48		4	11-56-3	(弘道館)往復書案	慶応02	1866		写竖	1	27.0×17.8	106	慶応2年～慶応3年	
49	(姓名録)	1	11-45	(弘道館)居学生姓名帳	弘化04	1847		写横	1	14.8×38.2	7	天保12年8月～弘化4年2月	
50		2	11-16	(弘道館)舎長居学新古姓名順	(明治02頃)	(1869頃)		写竖	1	25.8×17.4	35	天保12年8月～明治2年	
51		3	11-35	(弘道館)学校役官姓名	明治05	1872		写竖	1	15.2×22.0	39	明治5年1月	
52		4	11-39-1	御家中子弟歳附				写小横	1	15.1×19.5	82		
53		5	11-39-2	御家中子弟歳附				写小横	1	15.2×19.6	87		
54		6	11-39-3	御家中子弟歳附				写小横	1	15.3×19.6	60		
55		7	11-40-1	(弘道館)文武出精書	(天保12)	(1841)		写小横	1	15.1×19.6	30		
56		8	11-40-2	(弘道館)文武出精撰書	未			写小横	1	15.2×19.5	82	弘化4年か	
57		9	11-42	(弘道館)文武昇進撰書			御目附方	写小横	1	15.0×19.6	27		
58		10	17-9	諸藩撃剣教師姓名録	明治02	1869		写竖	1	29.7×20.6	20		
59		11	17-10	遊学名簿	安政04	1857		写竖	1	31.3×21.4	128	安政4年5月～文久2年2月28日	
60	(鹿島神社)	1	11-13	弘道館鹿島神社御遷宮内調書	(安政04年頃)	(1857年頃)		写竖	1	27.5×18.5	12		
61		2	11-46	(弘道館)鹿島神体遷宮御式御次第	(安政04年頃)	(1857年頃)		写横	1	14.8×40.0	19		
62		3	11-41	(弘道館)文武館人員費用調元	明治05	1872		写小横	1	15.6×19.6	14		
63	その他	4	11-44	大久保小菅郷校費用大図	(安政末～明治)			写横	1	15.1×19.6	6		
64		5	7-167	月番取計控	明治04	1871	滝田	写竖	1	18.5×15.0	13		
65		6	13-15	医学館書目	天保14	1841		写竖	1	27.6×18.7	16		

註 表中の「叢書内番号」のうち、I～IVは茨城県立歴史館史料叢書I～IVを、続く番号は翻刻掲載番号を指す。通番42～65は未翻刻のため、「叢書内番号」は「分類」中の仮番号を付した。

4 令和7年度に登録された 国登録有形文化財

◇令和7年8月6日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0321	日本聖公会土浦聖 バルナバ教会礼拝堂	昭和5年/ 平成13年改修	土浦市 中央1丁目6-イ-1	1 国土の歴史的 景観に寄与して いるもの
				土浦城跡の西に位置する教会の礼拝堂。鉄筋コンクリート造の壁式（かべしき）構造で、四角平面に八角屋根を載せた鐘楼を外観のアクセントとする礼拝堂。



【写真提供 土浦市教育委員会】

◇令和7年11月17日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0322	大日堂	昭和10年	笠間市箱田字長町 2210 他	2 造形の規範と なっているもの
		市街地の北西に位置し、日本画家木村武山（ぶざん）が 建立した持仏堂。池に東面して建つ宝形造本瓦葺。壁の仏 画や天井の花鳥図など、武山が絵筆を揮った渾身の仏堂。 現在は市が所有し公開活用。		



【写真提供 笠間市教育委員会】

◇令和7年11月17日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0323	川田家住宅主屋	明治後期／大正後期移築、昭和前期・平成13年改修	つくば市北条字古城97	2 造形の規範となっているもの
08-0324	川田家住宅炊事場及び風呂	大正後期／令和3年改修		1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
08-0325	川田家住宅石塀及び板塀	大正後期		1 国土の歴史的景観に寄与しているもの

北条の町並みの中心部に位置する住宅。主屋、炊事場及び風呂、敷地東面を画す石塀及び板塀からなる。

主屋は平屋建て寄棟造り妻入りで軒を出桁造とする。付書院の組子など繊細なつくりとした近代和風の住宅。

炊事場及び風呂場は急勾配の切妻造りスペイン瓦葺き。内部は土間で南に炊事場、北に風呂場を配す。洋風の外観を持つ珍しい附属屋。

石塀は切石積で、道路の前面部分を御影石積とし、それ以外を大谷石積とする。石塀に続く板塀は大和塀。通りに面して歴史的な景観を形成する。



川田家住宅主屋



川田家住宅炊事場及び風呂



川田家住宅石塀及び板塀

【写真提供 つくば市教育委員会】

◇令和8年2月10日登録

登録番号	名称	建築年代	所在地	登録基準
08-0326	下邑家住宅主屋	江戸後期／明治後期増築・改修、昭和57年・平成24年改修	つくば市栗原字台坪 3470-2 他	2 造形の規範となっているもの
08-0327	下邑家住宅米蔵	大正10年頃		2 造形の規範となっているもの
08-0328	下邑家住宅北蔵	明治中期		1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
08-0329	下邑家住宅南蔵	大正13年頃／昭和後期改修		1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
08-0330	下邑家住宅長屋門	明治前期		1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
08-0331	下邑家住宅外便所	明治40年／昭和57年改修		1 国土の歴史的景観に寄与しているもの
08-0332	下邑家住宅塀	明治前期	つくば市栗原字台坪 3470-2	1 国土の歴史的景観に寄与しているもの

市街地東部の農村集落に位置する旧家の屋敷。主屋の周囲に米蔵、北蔵、南蔵、敷地西側に長屋門、外便所、塀を配する。主屋は南面東端に式台玄関を設け、座敷は付書院の障子や欄間に繊細な組子を用いる。広い式台玄関など格式を備えた大規模な主屋。

米蔵は半間毎に通し柱を立て、小屋組は束を用いず梁を密に組み上げる。長大なマツの一丁材の下屋桁など豪壮なつくり。

北蔵はかつて質草を保管した蔵。西妻に鍔絵で屋号を掲げ丁寧なつくりの土蔵。

南蔵は道具蔵で関東大震災後の再建と伝え、簡素なつくりながらも旧家の屋敷構えを伝える倉庫。

長屋門は正面軒をせがい造とし、門口廻りにケヤキ材を用いた重厚なつくり。

外便所は、内部は中央部に大便所など並べ、両端室は土間の物置とする。旧家の生活の様相を伝える桁行長大な便所棟。塀は長屋門の両脇に延び、屋敷正面の重厚な歴史的な景観を形成する。



下邑家住宅主屋



下邑家住宅米蔵



下邑家住宅北蔵



下邑家住宅南蔵



下邑家住宅長屋門



下邑家住宅外便所



下邑家住宅塀

【写真提供 つくば市教育委員会】

5 国・県指定文化財等一覧

(1) 国・県指定文化財等総数 (令和8年3月31日現在)

国・県指定文化財

区分	種類	国 指 定				県指定	合 計	
		指定文化財	国宝	特別	計			
有形文化財	建造物	重要文化財	33			33	77	110
	絵画		7			7	83	90
	彫刻		15			15	166	181
	工芸品		15	2		17	128	145
	書跡						34	34
	古文書						10	10
	考古資料		6			6	29	35
	歴史資料		4			4	11	15
無形文化財		重要無形文化財	1			1	4	5
民俗文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財	1			1	6	7
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財	3			3	33	36
記念物	遺跡	史跡	31		3	34	56	90
	名勝地	名勝	4			4	5	9
	動物・植物・地質鉱物	天然記念物	8			8	58	66
合 計			128	2	3	133	700	833

国選定重要伝統的建造物群保存地区

名 称	所在地
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市

選定保存技術の選定・保存団体の認定

選定保存技術	2	茅採取・茅葺
保存団体	1	日本茅葺き文化協会

記録作成等の措置を講ずべき無形文化
無形の民俗文化財総数(国選択)

無形文化財	工芸技術	3
無形の民俗文化財	風俗慣習	10
	民俗芸能	9
	民俗技術	1
合 計		23

ユネスコ無形文化遺産

名 称	所在地
結城紬	結城市
山・鉦・屋台行事	日立市・北茨城市
伝統建築工匠の技—木造建造物 を受け継ぐための伝統技術—	つくば市

国登録有形文化財・国登録有形民俗文化財・国登録記念物

種 別	数 量	備 考
有形文化財	建築物	263 家屋・公共建築物等
	土木構造物	13 水路・水槽等
	その他工作物	31 門・煙突・橋梁・擁壁等
	小 計	307
有形民俗文化財	2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具ほか
記念物	3	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦 (※) 岡山氏庭園 (養浩園)

(※) 「岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦」の登録基準は、遺跡関係と名勝地関係の両方。

(2) 国指定文化財等一覧

(令和8年3月31日現在)

ア 国宝

No.	種類	名称・数量	所有者	指定年月日	時代等
1	工芸品	直刀 <small>ちよくとう</small> 黒漆平文大刀拵 <small>くろうるしひょうもんたちこしらえ</small> (附刀唐櫃 <small>かたなからびつ</small> 1合) 1口 (茨城県立歴史館寄託)	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 30. 6. 22	奈良～平安時代
					刀身長さ 224.0cm、反り 0.7cm。普通の大刀の3振分もある長大な大刀。 無銘。「ふつのみたまのつるぎ」と呼ばれる神宝。
2	工芸品	短刀 銘「筑州住行弘 <small>ちくしゅうのじゅうゆきひろ</small> 観応元 年八月日」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町 9-1 土浦市	昭 32. 2. 19	南北朝時代
					師である左文字(さもじ)の作風に近似し、その作風樹立を知る上で 観応元年(1350)の年紀は貴重。土浦藩土屋家旧蔵品。

イ 国指定重要文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
1	鹿島神宮本殿・拝殿・幣殿・石の間 4棟 (附棟札2枚)	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	明 34. 3. 27	江戸初期
				祭神は武甕槌大神。常陸国の一の宮。元和5年(1619)徳川秀忠の造営。 屋根・塗装(平23~25)、屋根・部(令4~6)
2	鹿島神宮摂社奥宮本殿 1棟(附棟札1枚)	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	明 34. 3. 27	慶長10年(1605)
				旧本殿を元和5年(1619)に移築[棟札]。三間社流造、檜皮葺。
3	佐竹寺本堂 1棟	常陸太田市天神林町 2404 佐竹寺	明 39. 4. 14	室町後期
				天文15年(1546)造営。寄棟造、茅葺。江戸時代後期に改造。 屋根修理(令7)
4	大宝八幡神社本殿 1棟	下妻市大宝 667 大宝八幡	明 39. 4. 14	天正5年(1577)[棟札]
				多賀谷尊経の造営。三間社流造。 解(明42)・屋根現状変更(昭40)
5	小山寺三重塔 1棟	桜川市富谷 2190 小山寺	明 39. 4. 14	寛正6年(1465)
				多賀谷朝経が願主。総高21.5m。関東以北では最古に属する和様建築。とち葺。防災(昭57)・解(平2)
6	楞嚴寺山門 1棟	笠間市片庭 761-4 楞嚴寺	大 6. 4. 5	室町中期[建築手法]
				四脚門。切妻造、茅葺。禅宗様式。 解(大9)・屋根修理(平15)
7	西蓮寺仁王門 1棟	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	大 6. 4. 5	天文12年(1543)[柱盤墨]
				安政9年移築。三間一戸楼門(二階は寛政頃撤去)。寄棟造。 解(昭34)
8	西蓮寺相輪櫓 1棟(附棟札1枚)	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	大 6. 8. 13	弘安10年(1287)
				元寇の弘安の役を記念して建立。錫杖のような形に特色。 解(明36・昭51・平17)
9	八幡宮本殿 1棟	水戸市八幡町 8-54 八幡宮	昭 29. 9. 17	慶長3年(1598)
				和様に禅宗様を混用し地方色濃厚。入母屋造、とち葺(平7~11解体時に柿葺から変更)。 解(平7~11)

No.	名 称 ・ 数 量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
10	旧弘道館（正庁・至善堂・正門附廓） 3棟	水戸市三の丸1-6 (管) 茨城県	昭39.5.26	天保12年(1841)
	正庁・至善堂とも書院造建築の正統をひく、大規模な藩校遺構。 正庁自・半解(昭37)			
11	薬王院本堂 1棟(附厨子1基、附棟札2枚)	水戸市元吉田町682 薬王院	昭41.6.11	享禄2年(1529) [墓股墨書]
	大型の密教系七間堂。入母屋造、茅葺形銅板葺。 解(昭43~45)、屋根修理(令6)			
12	鹿島神宮楼門 1棟(附旧厩十字柄2組)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭41.6.11	寛永11年(1634)
	三間一戸(二階建)。入母屋造、銅板葺。 解(昭16)、塗(昭49・昭62~平元・平4)、部(平6)、部、塗(令6~7)			
13	坂野家住宅 4棟 (主屋、書院、文庫蔵、表門)	常総市大生郷町2037 常総市	昭43.4.25	江戸中~後期
	主屋：豪農住宅。茅葺。 解(平14~17)・防災設備工事(平17) 表門及び堀：江戸後期の薬医門。切妻造、茅葺。 書院・文庫蔵：追加指定(令5.9.25)			
14	旧飛田家住宅 1棟	古河市長谷町38-18 古河市	昭43.4.25	江戸中期
	旧金砂郷町の飛田家住宅主屋を古河総合公園内に移築復原(昭50)古い曲屋形式。寄棟造、北面土庇附属、茅葺。			
15	中崎家住宅 1棟	水戸市鯉淵町2897 個人	昭43.4.25	元禄元(1688) [土台墨書]
	地侍の系譜をひく農家の直屋。寄棟造、茅葺。 解(昭49)			
16	椎名家住宅 1棟	かすみがうら市加茂 個人	昭43.4.25	延宝2年(1674)
	現存する東日本最古級の民家、直屋形式。寄棟造、茅葺。 解(昭46)・屋根修理(平24)、差茅(令5)			
17	塙家住宅(主屋・土間) 2棟	笠間市安居 個人	昭51.2.3	江戸後期
	現状は曲屋と同じ外観だが当初は主屋と釜屋が別棟。主屋：寄棟造、茅葺。半解(昭56)			
18	山本家住宅 1棟	神栖市奥野谷 個人	昭51.2.3	江戸中期
	<small>あみもと</small> 網元名主の家。曲屋形式。寄棟造、茅葺。 解(平5)、部(平24)、屋根修理(令3~5)			
19	平井家住宅 1棟	稲敷市柴崎 個人	昭51.2.3	元禄頃 [伝承]
	17世紀末の民家建築。せがい造りの軒や二重梁の小屋組に特色。茅葺。 解(平11~14)			
20	大塚家住宅 1棟	つくば市栗原 個人	昭51.2.3	江戸中期
	平面構成が整形四間取りなど、新しい民家形式への移行段階。寄棟造、茅葺。 屋根葺替(平2)			
21	旧茨城県立太田中学校講堂 1棟	常陸太田市栄町58 茨城県	昭51.2.3	明治37年 [学校沿革誌]
	旧制中学校の講堂、駒杵勤治の設計。木造。建築面積296.7㎡。一階建、棧瓦葺。南面玄関ポーチ、東・西面出入口庇付。各鉄板葺。			
22	旧茨城県立土浦中学校本館 1棟 (附 棟札1枚)	土浦市真鍋4-4-2 茨城県	昭51.2.3	明治37年(1904) [棟札]
	本格的洋風学校建築の一部。木造。建築面積987.9㎡。一階建、天然スレート葺。駒杵勤治の設計。 屋根葺替(昭42 カラーアスベストコロニアル葺・平29 天然スレート葺)・現状変更(平29 フィニアル復原等)			
23	鹿島神宮仮殿 1棟	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭51.5.20	元和5年(1619) [方立墨書]
	元和造営時の社殿の一つ。本殿の造営に際して神霊を仮安置するための建物。入母屋造、檜皮葺。 解(平9)			
24	竜禅寺三仏堂 1棟	取手市米ノ井467 竜禅寺	昭51.5.20	永禄12年(1569)以前[納札]
	和様に禅宗様が混じる。向拝部分後補。寄棟造、茅葺。 半解(昭61)・茅屋根修理(平18)			

No.	名 称 ・ 数 量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
25	善光寺楼門 1棟	石岡市太田 940-1 善光寺	昭 58. 12. 26	室町後期
小田氏の創建。三間一戸。寄棟造、茅葺。 解・防災設備工事（平7）。環境整備（止水壁工事 平14）。屋根修理（令2）				
26	笠間稲荷神社本殿 1棟（附 棟札1枚）	笠間市笠間 39 笠間稲荷神社	昭 63. 1. 13	万延元年(1860) [棟札]
本殿及び旧拝殿よりなる。社殿全体を覆う豊かな彫り物（江戸末期流行の立川流大工の技） 屋根修理・塗（令4～6）				
27	佛性寺本堂 1棟（附 旧露盤1個）	水戸市栗崎町 1984 佛性寺	昭 63. 1. 13	天正 13 年（1585） [隅木墨書]
側柱・入側柱とも円柱 8 本を立てた八角円堂。一重、茅葺。 現状変更（平 26 瓦葺から茅葺に戻す）				
28	横利根閘門 1構	稲敷市西代地先 国土交通省	平 12. 5. 25	大正 10 年(1921)
横利根川と利根川の合流点近くにある煉瓦造複開式閘門。土木技術史上、煉瓦造閘門の一つの到達点を示す。利根川改修工事における代表的土木構造物				
29	来迎院多宝塔 1基	龍ヶ崎市馴馬町 来迎院	平 18. 12. 19	弘治 2 年（1556） [宝珠銘]
三間多宝塔。柿葺。細部に禅宗様。室町期の北関東における寺院建築の特徴を示す。 解（平 10～12）				
30	シャトーカミヤ旧醸造場施設 3棟	牛久市中央 3-20-4 オエノンホールディングス株式会社	平 20. 6. 9	明治 36 年(1903)
事務室、醗酵室、貯蔵庫 明治中期の本格的な煉瓦造ワイン醸造所の主要部がほぼ完存しており、高い歴史的価値がある。 災害復旧（平 23～27）				
31	石岡第一発電所施設 3所、3基、3棟	高萩市大字横川 及び北茨城市中郷町石岡 東京発電株式会社	平 20. 12. 2 (水槽解除 平 23. 10. 25)	明治 44 年（1911） 本館変電室 大正 5 年（1916） 取水堰堤、沈砂池 大正 12 年(1923)
施設を構成する本館。橋梁等の類型を異にする構造物全般にわたり鉄筋コンクリート技術を用いたわが国で最初の発電所施設であり、中でも本館はわが国に現存する最古級の鉄筋コンクリート造建築物として貴重である。				
32	内外大神宮内宮・外宮・御遷殿 3棟	筑西市小栗 内外大神宮	平 21. 12. 8	内宮・外宮：延宝 7 年 (1679) 御遷殿：天正 2 年（1574）
両本殿は、本格的な神明造三間社本殿で、内宮、外宮の本殿二棟を並立させる社殿形式の古例として重要である。 解（平 7～8）・上屋設置（平 12）				
33	旧矢中家住宅 本館、別館 2棟	つくば市北条 個人	令 5. 9. 25	昭和 13～24 年(1938～49)
近代的建築材料を併用した木造建築で、陸屋根など和洋折衷の意匠や技術が多用される優れた近代和風住宅。日本の気候風土を考慮した実験的な住宅として、学術的な意義も認められる。				

【絵画】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	制作時代
1	紙本著色 拾遺古徳伝 9巻	那珂市瓜連 1221 常福寺	明 36. 4. 15	正安 3 年（1301）
(東京国立博物館寄託) 親鸞の遺弟覚如が常陸門徒のために起稿した宗祖親鸞の拾遺。				

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	制作時代
2	紙本著色 聖徳太子絵伝 1巻 (茨城県立歴史館寄託)	那珂市本米崎 2270 上宮寺	大4.3.26	鎌倉末期(推定)
		頭如から賜ったと伝える。詞書1段・絵14段。大和絵の伝統。		
3	絹本著色 法然上人像 1幅 (東京国立博物館寄託)	那珂市瓜連 1221 常福寺	大5.3.24	鎌倉後半
		法然が曲ろく(僧が用いる椅子)上に座す形式は珍しい。		
4	絹本著色 十六羅漢像 16幅 (茨城県立歴史館寄託)	龍ヶ崎市若柴町 866 金竜寺	大6.4.5	鎌倉末期
		道元持ち帰りといわれるが、宋代李竜眠様を学んだわが国の作か。		
5	紙本著色 拾遺古徳伝(残闕) 1巻	銚田市鳥栖 1013 無量寿寺	大6.4.5	正安3年(1301)
		覚如によって撰述された拾遺古徳伝の一つ。慶長13年(1608)火災に遭遇。		
6	絹本著色 高峰和尚像 1幅 庚寅絶岸可湘の讚及甲午王剛中の贊がある 絹本著色 復庵和尚像自賛 1幅 附絹本著色 中峰和尚像 1幅 (土浦市立博物館寄託)	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭24.2.18	室町時代
		頂相(肖像画)。法雲寺の開基は中峯。弟子の復庵が道場を建立。高峰は13世紀中国の人。小田治久が後光厳天皇の命により七堂伽藍を創建する。		
7	絹本著色 聖徳太子絵伝 4幅 (東京国立博物館寄託)	坂東市みむら 1793 妙安寺	昭43.4.25	鎌倉末期
		太子の事跡場面を自由に配置した掛幅形式の大和絵系譜の絵伝。		

【彫刻】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	木造 薬師如来及両脇侍像 3軀 (附 銅造胎内仏 1軀)	城里町石塚 1423 薬師寺	明44.8.9	鎌倉初期
		寄木造、漆箔。中尊坐像高137.8cm、日光170.8cm、月光171.2cm。		
2	木造 浮彫如意輪観音像 1面	城里町上入野 3912 小松寺	明44.8.9	平安時代か唐代
		木造・一部彩色。共木で浮き彫り精巧。縦8.5cm、横7.3cm。		
3	木造 薬師如来坐像 1軀	常陸太田市下利員 957 西光寺(管理団体 常陸太田市)	明44.8.9	平安末期 (平17~18修理)
		寄木造、漆箔。当初の光背、九重蓮華座あり。定朝様。像高143.7cm。		
4	木造 観世音菩薩立像(寺伝延命観音像) 1軀(附 前立尊 1軀)	桜川市本木 1 楽法寺	明44.8.9	平安前期
		一木造、彩色剥落、翻波式衣文。前立像は同形八臂像で鎌倉時代。		
5	木造 薬師如来坐像 1軀	笠間市来栖 2696 岩谷寺	大3.4.17	鎌倉初期
		寄木造、漆箔、等身坐像。光背当初。台座鎌倉中期。定朝様。像高84.8cm。		
6	木造 薬師如来立像 1軀 建長五年七月藤原時朝ノ銘アリ	笠間市来栖 2696 岩谷寺	大3.4.17	鎌倉中期
		寄木造、漆箔、玉眼、像高185cm。像は大ぶり螺髪を旋毛形に彫出。		
7	木造 聖徳太子立像 1軀 (太子堂安置)	水戸市酒門町 2056 善重寺	大4.8.10	鎌倉末期
		上質顔料による盛り上げ彩色。十六歳孝養太子像。像高132.5cm。		
8	木造 阿弥陀如来坐像 1軀 胎内ニ応長二年四月十五日修理ノ銘アリ	茨城町鳥羽田 656 円福寺	大4.8.10	鎌倉初期
		寄木造、漆箔、定朝様。胎内に応長2年(1312)の修理銘。像高84.3cm。		
9	木造 不動明王及二童子立像 3軀	つくばみらい市板橋 2370 不動院	大4.8.10	平安末期
		寄木造、古色。3尊とも衣文浅く面相も誇張なく温雅。像高100cm。		

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
10	木造 釈迦如来立像 1 軀	銚田市大蔵 113 福泉寺	大 5. 8. 17	鎌倉末期
		寄木造、素地。螺髪を縄状に巻く。平行線状の衣文。像高 165. 5cm。		
11	木造 薬師如来坐像 1 軀	土浦市下高津 2-10-22 常福寺	大 9. 8. 16	平安末期
		寄木造、漆箔。量感のある体部などに特色。像高 121cm。		
12	木造 千手観音立像 1 軀	笠間市片庭 775 楞嚴寺	大 9. 8. 16	鎌倉中期
	背面ニ建長四年七月藤原時朝ノ銘アリ	寄木造、漆箔、玉眼。鎌倉地方様式の好例。像高 193. 9cm。		
13	木造 弥勒仏立像 1 軀	笠間市石寺 429 弥勒教会	大 9. 8. 16	鎌倉中期
	像内に宝治元年四月、藤原時朝等の銘がある	寄木造、漆箔、玉眼。運慶開始の様式に宋風を加味、像高 175. 2cm。		
14	木造 観音菩薩立像 1 軀	筑西市中館 522 観音寺	大 11. 4. 13	鎌倉末期
	(寺伝延命観音像) (観音堂安置) 像内に貞治二年の修理銘がある	寄木造古色彫眼。延命観音として知られる宋風の六臂像。 像高 102. 2cm。 名称変更 (昭 39. 5. 26)		
15	鉄造 阿弥陀如来立像 西念、良覚作 1 軀	常陸太田市中染町 23 中染町 (管理団体 常陸太田市)	平 26. 8. 21	鎌倉時代
	背面に弘長四年四月、大大工権守入道西念、大仏師日向房良覚等の陽鑄銘あり	像高 164cm。大きさや鑄上がりの良好さから鉄仏の代表作。原型の像が残り、当時の鑄造技術を知る上でも貴重。		

【工芸品】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	太刀 (銘則包作・附 糸巻太刀拵) 1 口	水戸市宮町 2-5-13 東照宮	明 44. 4. 17	鎌倉中期
	(茨城県立歴史館寄託)	長さ 76. 6cm、反り 3. 0cm 強。福岡一文字派名工の作。		
2	銅鐘 1 口	潮来市潮来 428 長勝寺	明 44. 8. 9	元徳 2 年 (1330)
	元徳庚午十月ノ銘アリ (附 鐘銘拓本 1 巻)	銘文刻字の勝れた名鐘。大檀那北条高時。大施主は千葉氏と記載。		
3	太刀 銘吉宗 (附 糸巻太刀拵) 1 口	つくば市筑波 1 筑波山神社	大 7. 4. 8	鎌倉中期
	(東京国立博物館寄託)	長さ 71. 2cm、反り 2. 3 cm。作者は福岡一文字派の名工。		
4	太刀 銘備州長船家助応永廿一年二月日 1 口	つくばみらい市南太田 個人	大 9. 4. 15	室町時代
		長さ 73. 6cm、反り 3. 2cm。応永 21 年 (1414) の作。		
5	銅鐘 1 口	土浦市大手町 4-16 等覚寺	大 9. 8. 16	鎌倉初期
	建永年中筑後入道尊念ノ銘アリ	八田知家が建永年間につくらせた梵鐘。鐘の銘文では本県最古。		
6	銅鐘 1 口	土浦市穴塚 1461 般若寺	大 9. 8. 16	建治元年 (1275)
	建治元年八月大工丹治久友等ノ銘アリ	有名な鑄物師丹治久友作。鎌倉時代の典型的な鐘の形をもつ。		
7	金銅板両界曼荼羅 2 面	利根町布川 3004 徳満寺	昭 11. 5. 6	建久 5 年 (1194)
	建久五季六月十三日筑後国清楽寺ノ銘アリ (東京国立博物館寄託)	押し出し、毛彫りが施された金銅薄板の両界曼荼羅。 修理 (平 15)		
8	太刀 銘「備州長船住景光」 1 口	つくば市小野川 個人	昭 13. 7. 4	鎌倉時代
		長さ 2 尺 4 寸 (約 72 cm)、反り 8 分 (約 2. 4 cm)。		

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
9	太刀 銘「 ^{もりいえ} 守家造」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25.8.29	鎌倉中期
		華やかな乱れ刃を焼く畠田一派の名匠。土浦藩土屋家旧蔵品。		
10	太刀 銘「 ^{のぶふさ} 信房作」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25.8.29	鎌倉初期
		古備前と古一文字にみられる信房の作品。土浦藩土屋家旧蔵品。		
11	太刀 銘「 ^{つねつぐ} 恒次」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭25.8.29	鎌倉初期
		古青江派の代表鍛冶で同派中屈指の優品。土浦藩土屋家旧蔵品。		
12	短刀 銘「 ^{くにみつ} 国光」 1口 (土浦市立博物館保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	昭28.3.31	鎌倉後期
		短刀の名手、新藤五国光の作品。土浦藩土屋家旧蔵品。		
13	^{あじろおい} 網代笈 1背	桜川市西小塙1677 月山寺	昭32.2.19	室町時代
		箱形の笈で銅製鍍金の観音開き扉あり。背・側面に竹製網代。		
14	^{まさえくら} 梅竹蒔絵鞍(附 四手蒔絵居木1双) 1背 (茨城県立歴史館寄託)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮	昭34.6.27	鎌倉末頃か
		現在知られる蒔絵の和鞍の中では最も古い。(追加 昭51.6.5)		
15	^{しゅうるしあし たらい} 朱漆足付盥 4口 六蔵寺二対内、細工根来寺重宗、本願法 印惠範の朱漆銘がある	水戸市六反田町767-2 六地藏寺	平3.6.21	室町時代
		三足付盥で衆僧が罪を懺悔するために行う布薩盥に浄める盥。		

【考古資料】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	銅印 印文「静神宮印」 1顆 (附 印笥1合 寛文丁未、源光圀在銘) (茨城県那珂郡静村出土)	那珂市静9 静神社	昭29.3.20	平安時代
		印面は方形で「静神宮印」の文字を刻む。印笥は印を納めるもの。		
2	埴輪男子立像 1軀 (群馬県藤岡市本郷出土) (茨城県立歴史館寄託)	石岡市高浜 個人	昭34.12.18	古墳後期
		全高139.9cm。つばの広い帽子をかぶった男子像。		
3	茨城県武者塚古墳出土品 一括 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場保管)	土浦市大和町9-1 土浦市	平26.8.21	7世紀
		太刀や銀の帯状金具など特異な武器及び装身具96点で構成。みずら状の頭髪や経錦を含む(附指定)。古墳時代終末の葬送儀礼や服飾を復元する上で学術的価値が高い。		
4	茨城県泉坂下遺跡出土品 一括	常陸大宮市中富町1087-14 常陸大宮市	平29.9.15	弥生時代
		再葬墓群からの出土遺物が主体。人面付壺形土器1点、壺形土器53点、甕形土器残欠2点、滑石玉5点、総数61点からなる。東日本における弥生時代特有の再葬墓の在り方を理解する上で良好な資料群。		
5	茨城県三昧塚古墳出土品 一括 (茨城県立歴史館保管) (明治大学に一部寄託)	水戸市笠原町978-6 茨城県	平30.10.31	古墳時代
		霞ヶ浦に面した沖積低地に築かれた前方後円墳からの出土品一括。金銅製の装飾品や、銅鏡、鉄製の武器・武具、金銅製の馬具など。中でも馬形の立飾りが付く金銅馬形飾付透彫冠は、他に類例がない。東国における首長層の葬送や社会実態を考える上で、学術的価値が高い。		

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
6	茨城県風返稲荷山古墳出土品 一括 (かすみがうら市歴史博物館保管)	かすみがうら市坂 1029-1 かすみがうら市	令 5. 6. 27	古墳時代後期 末
		霞ヶ浦沿岸に築かれた前方後円墳からの出土品一括。銅鍔や金・銀で装飾された武器や馬具など。最末期の前方後円墳における副葬品の組み合わせを示す好例で、この時代における金工品の種類や製作技術、変遷をみるうえでも重要。		

【歴史資料】

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日	時 代
1	鷹見泉石関係資料 3, 153 点 文書・記録類 686 点 絵図・地図類 768 点 書籍類 466 点 書状類 912 点 絵画・器物類 321 点 (古河歴史博物館保管)	古河市長谷町 38-18 古河市	平 16. 6. 8 (員数変更: 平 24. 9. 6)	江戸時代
		下総国古河藩家老鷹見泉石（1785～1858）の洋学、地理学をはじめとする科学技術などに関する幅広い学問の事跡と譜代大名の家老としての情報収集のあり方を示す資料群。 保存修理（平 17～）		
2	一橋徳川家関係資料 4, 715 点 文書・記録類 4, 017 点 書画・典籍類 224 点 器物類 460 点 写真 14 点 (茨城県立歴史館保管)	水戸市笠原町 978-6 茨城県	令 2. 9. 30	江戸時代
		各分野の資料が質量ともにまとまって伝存。一橋徳川家の家格、家政、所領経営、または幕政への関与、将軍家や大名家との交際、家の内外における儀礼の実際を窺うことができ、江戸時代の政治史、文化史、古文書学を研究する上で貴重。 保存修理（令 4～）		
3	長久保赤水関係資料 693 点 地図・絵図類 84 点 文書・記録類 279 点 典籍類 274 点 書画・器物類 56 点 (高萩市歴史民俗資料館保管)	高萩市本町 1-100-1 高萩市	令 2. 9. 30	江戸時代
		長久保赤水の子孫にあたる複数の家に伝来した赤水手沢の一括資料。赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸時代中後期の文化史、地図史等の研究において学術価値が高い。 保存修理（令 3～）		
4	五馬力誘導電動機〈明治四十三年、 久原鋳業所〉 1 台 附 設計図面 5 枚 (日立オリジンパーク保管)	東京都千代田区丸の内 1-6-6 株式会社日立製作所	令 5. 6. 27	明治時代
		明治 43 年（1910）に久原工場所日立鋳山工作課長小平浪平の指導のもと製造された、日本人により設計製造された現存最古の誘導電動機。本機の構造などを明らかにする設計図面類とともに保存されており、電動機械国産化の礎を築いた機械として、産業技術史上に学術的価値が高い。 保存修理（令 6～7）		

ウ 国指定重要無形文化財

No.	名 称	所在地	保持団体・保持者	指定年月日
1	結城紬（平織）	結城市結城 13-2	本場結城紬技術保持会	昭 31. 4. 24
		真綿から指で紬ぎ出した撚りのない糸をそのまま使用した織物 装飾を施さず漆を塗ることだけで仕上げる技法。		

エ 国指定重要有形民俗文化財

No.	名 称 ・ 数 量	所 有 者	指定年月日
1	日立風流物 ^{ふりゆうもの} （山車） 1基	日立市宮田町 神峰神社（管理団体 日立市）	昭 34. 5. 6
		高さ 15m、幅 3 m、長さ 8 m、重さ 5 t。全国的にも著名な山車。 修理（平 9～12、平 17）	

オ 国指定重要無形民俗文化財

No.	名 称	所 在 地 ・ 保 護 団 体	指定年月日
1	綱 火	つくばみらい市 綱火保存連合会	昭 51. 5. 4
		空中に縦横十文字に張りめぐらした麻綱の上を花火を仕掛けた人形を自在に操りながら演技する。小張松下流と高岡流がある。	
2	日立風流物	日立市宮田町 日立郷土芸能保存会	昭 52. 5. 17
		神峰神社の大祭のとき、4つの町内から1台ずつ出す山車において、操り人形芝居を繰り広げる。	
3	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	平 29. 3. 3
		豊漁や海上安全を祈願して、巨大な木造船に神輿を載せて陸上を曳行する。	

カ 国指定特別史跡及び史跡

No.	種類	名 称 ・ 数 量	所 在 地	所 有 者	指定年月日
1	特別史跡	旧弘道館	水戸市三の丸 1-6	鹿島神社ほか	大 11. 3. 8（史）
			管理団体（大 11. 11. 7）茨城県		昭 27. 3. 29（特史）
			9代藩主斉昭が天保 12 年（1841）に創立した水戸藩の藩校。		
2	特別史跡	常陸国分寺跡	石岡市府中 5-1 ほか	国分寺	大 11. 10. 12（史）
			管理団体（大 12. 12. 13）石岡市		昭 27. 3. 29（特史）
			奈良時代の常陸国の国分寺（僧寺）跡。金堂・講堂の基壇や礎石など残る。		
3	特別史跡	常陸国分尼寺跡	石岡市若松 3-1	石岡市	大 11. 10. 12（史）
			管理団体（大 12. 12. 13）石岡市		昭 27. 3. 29（特史）
			国分寺の北西 500mにある尼寺（法華滅罪之寺）跡。		
4	史跡	舟塚山古墳 1基	石岡市北根本 597 ほか	文部科学省ほか	大 10. 3. 3
			管理団体（大 11. 5. 23）石岡市		
			県下第一の大型前方後円墳（全長 186m）。5世紀後半（推定）。		

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
5	史跡	常磐公園	水戸市常磐町及び見川町	茨城県ほか	大 11. 3. 8
			管理団体（大 11. 11. 7）茨城県		
			天保 13 年（1842）斉昭が開設した借樂園を中心に桜山、丸山を含む庭園。		
6	史跡	吉田古墳 1 基	水戸市元吉田町 345、347	明利酒類株式会社	大 11. 3. 8
			管理団体（大 11. 11. 7）水戸市		平 22. 8. 5（追）
			横穴式石室の奥壁に線刻によって武器・武具などが描かれている。		
7	史跡	愛宕山古墳 1 基	水戸市愛宕町 2132～2134	愛宕神社ほか	昭 9. 5. 1
			管理団体（昭 9. 7. 25）水戸市		
			那珂川流域中最大の前方後円墳（全長 136.5m）。		
8	史跡	だいほうじょう 大宝城跡	下妻市大宝、筑西市関館・中村新田	八幡神社ほか	昭 9. 5. 1
			管理団体（昭 9. 7. 25）下妻市、筑西市		
			南北朝時代の城。南朝方の拠点（下妻氏の居城）。		
9	史跡	関城跡	筑西市関館 1-99	文部科学省ほか	昭 9. 5. 1
			管理団体（昭 9. 7. 25）筑西市		
			南北朝時代の城。南朝方の拠点（関氏の居城）。		
10	史跡	小田城跡	つくば市小田 2377 ほか	つくば市ほか	昭 10. 6. 7
			管理団体（昭 10. 7. 26）つくば市		
			小田氏の居城。北畠親房が「神皇正統記」を著した地。		
11	史跡	新治廃寺跡附上野原瓦窯跡	筑西市及び桜川市	筑西市ほか	昭 17. 7. 21
			管理団体 筑西市、桜川市		昭 52. 2. 3（追）
			新治郡衙の北の寺院跡、及び寺院の瓦を供給した窯跡。		
12	史跡	さくらあづまお 佐久良東雄旧宅	石岡市浦須	個人	昭 19. 3. 7
			国学普及に努めた幕末の志士佐久良東雄が 9 歳まで生活した居宅。		
13	史跡	新治郡衙跡	筑西市古郡 180 ほか	筑西市ほか	昭 43. 5. 20
			古代の郡役所跡。多数の建物群が検出された。		
14	史跡	まわたりはにわ 馬渡埴輪製作遺跡	ひたちなか市馬渡 2881-3 ほか	ひたちなか市	昭 44. 8. 5
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡。		昭 60. 8. 12（追）
15	史跡	大串貝塚	水戸市塩崎町 1015-2	水戸市	昭 45. 5. 11
			縄文時代前期。シジミを主体の貝塚が 3 カ所に点在。		
16	史跡	虎塚古墳	ひたちなか市中根 3494-1	ひたちなか市	昭 49. 1. 23
			7 世紀前半の前方後円墳。横穴式石室に本県随一の彩色壁画。		
17	史跡	上高津貝塚	土浦市上高津・中高津・穴塚	土浦市	昭 52. 10. 4
			管理団体（昭 53. 5. 6）土浦市		
			縄文時代中期～晩期。5 カ所の貝層が環状に並ぶシジミ主体の貝塚。		
18	史跡	平沢官衙遺跡	つくば市平沢 353 ほか	つくば市	昭 55. 12. 4
			官衙（役所）跡。規格性をもって多くの掘立柱建物が並ぶ。		
19	史跡	広畑貝塚	稲敷市飯出広畑 635-1 ほか	稲敷市	昭 57. 2. 27
			縄文時代後期～晩期。貝層はハマグリなどの貝塚で製塩土器を出土。		

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
20	史跡	鹿島神宮境内附郡家跡	鹿嶋市宮中 2306-1 ほか (追 平元. 9. 22、平 11. 1. 14、平 13. 1. 15、平 17. 3. 2、平 20. 7. 20 令 7. 3. 10)	鹿嶋市、鹿島神宮	昭 61. 8. 4
21	史跡	小幡北山埴輪製作遺跡	茨城町小幡 2735-45 ほか 古墳時代後期の埴輪製作遺跡。	茨城町	平 4. 1. 21
22	史跡	真壁城跡	桜川市真壁町古城・山尾 中世から戦国末期までの真壁氏の居城。	桜川市	平 6. 10. 28
23	史跡	<small>おかだいら</small> 陸 平貝塚	美浦村馬見山字貝売 391-2 ほか 縄文中～後期。明治 12 年に初めて日本人による本格的な発掘調査。	美浦村	平 10. 9. 11
24	史跡	<small>ゆうき はちまんかわら</small> 結城廃寺跡附結城八幡瓦 <small>がまあと</small> 窯跡	結城市大字上山川字古屋敷 31 ほか 奈良～室町中期の大寺院跡、及びこの寺院の創建時の瓦を供給した窯跡。	結城市	平 14. 9. 20 平 29. 10. 13 (追)
25	史跡	<small>こんだかんが</small> 金田官衙遺跡	つくば市金田字吹上 1473-1 ほか 奈良～平安時代（8 世紀前葉～9 世紀中葉）に営まれた古代官衙関連遺跡。	つくば市	平 16. 2. 27 令 2. 10. 6 (追)
26	史跡	台渡里官衙遺跡群（台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡）	水戸市渡里町字前原ほか 奈良・平安時代に営まれた那賀郡衙に関連する正倉院跡及び寺院跡。	水戸市ほか	平 17. 7. 14 平 23. 9. 21 (追)
27	史跡	水戸徳川家墓所	常陸太田市瑞龍町字瑞龍山 2845 ほか 管理団体（平 23. 12. 6）公財徳川ミュージアム 2 代藩主徳川光圀が定めた儒教葬の形式で営まれた大規模な大名家墓所。	公益財団法人徳川ミュージアムほか	平 19. 7. 26
28	史跡	常陸国府跡	石岡市総社 1-278 ほか 古代常陸国の役所跡。7 世紀末から 11 世紀にかけての高い計画性をもつ建物群の変遷が判明。	石岡市	平 22. 8. 5
29	史跡	<small>にしやまご てんあと せいざんそう</small> 西山御殿跡（西山荘）	常陸太田市新宿町字西山 590 ほか 徳川光圀が元禄 4 年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観が残されている。	公益財団法人徳川ミュージアム	平 28. 3. 1
30	史跡	泉坂下遺跡	常陸大宮市泉字坂下 894 ほか 弥生時代中期前葉の再葬墓遺跡。墓域の全貌が判明した貴重な事例。人面付壺形土器をはじめとする出土品 61 点が国指定文化財に指定されている。	常陸大宮市ほか	平 29. 10. 13
31	史跡	瓦塚窯跡	石岡市部原字高芝 604-1 の一部ほか 古代常陸国の窯跡（35 基）。操業は 7 世紀前葉から 10 世紀前葉。常陸国における瓦生産の導入過程から常陸国府・国分寺の造瓦体制を知ることができる。	管理団体 石岡市	平 29. 10. 13
32	史跡	<small>ちようじやまかんが ひたちのくに</small> 長者山官衙遺跡及び常陸国 <small>かいどうあと</small> 海道跡	日立市十王町伊師字愛宕脇 3586 ほか 奈良・平安時代の官衙遺跡。古代官道と思われる道路跡に東接する 8 世紀中葉から 10 世紀代の掘立柱建物群と礎石建物群。	管理団体 日立市	平 30. 10. 15
33	史跡	磯浜古墳群	東茨城郡大洗町磯浜町字日下ヶ塚 2865-8 ほか 古墳時代前期から中期初頭の古墳群。前方後円墳 2 基、前方後方墳 1 基、円墳 1 基ほか 6 基から構成され、関東における古墳の展開を考える上で重要。	管理団体 大洗町	令 2. 3. 10

No.	種類	名称・数量	所在地	所有者	指定年月日
34	史跡	十五郎穴横穴群	ひたちなか市中根字館出 3490 番 1 ほか 27 筆	管理団体 ひたちなか市	令 6. 2. 21
<p>関東平野の北縁、那珂川の支流に挟まれた舌状台地南端部に位置する東日本最大級の横穴墓群。7 世紀前葉に造営が始まり、9 世紀前葉まで追葬で使用された。古墳時代終末期から平安時代初頭の東日本社会を考える上で重要。</p>					

キ 国指定名勝

No.	種類	名称	所在地	所有者	指定年月日
1	名勝	常磐公園	水戸市常磐町・見川町	茨城県	大 11. 3. 8
<p>岡山市の後楽園、金沢市の兼六園と並ぶ日本三名園の一つ。</p>					
2	名勝	桜川（サクラ）	桜川市磯部 135 ほか	管理団体（大 14. 8. 13） 桜川市	大 13. 12. 9 昭 49. 6. 25（追）
<p>磯部稲村神社の参道をはさんで、約 1 km に及ぶ桜並木。古くは磯部の百色桜。</p>					
3	名勝	袋田の滝及び生瀬滝	大子町袋田	管理団体 大子町	平 27. 3. 10
<p>約 1, 500 万年前の火山角礫岩層の断崖を流れ落ちる風致の優れた 2 つの滝。袋田の滝は「四度の滝」の異称をもつ。空海の命名伝説に始まり、近世の水戸藩主、近代の文人墨客等が訪れた風致の優秀な滝。</p>					
4	名勝	西山御殿跡（西山荘）	常陸太田市新宿町字西山 590 ほか	公益財団法人徳川ミュージアム	平 28. 3. 1
<p>徳川光圀が元禄 4 年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観。</p>					

ク 国指定天然記念物

No.	名称・数量	所在地	管理者	指定年月日	樹勢回復事業等
1	ハマナス自生南限地帯	鹿嶋市大小志崎 527 ほか	鹿嶋市	大 11. 3. 8	
2	いぶき山イブキ樹叢	日立市十王町伊師 2204	日立市	大 11. 10. 12	平 13
3	安良川の爺スギ 1 株	高萩市安良川 1173	八幡宮	大 13. 12. 9	平 14・15
4	白旗山八幡宮のオハツキイチョウ	水戸市八幡町 8-54	白旗山八幡宮	昭 4. 4. 2	
5	大戸のサクラ 1 株	茨城町大戸 1539	茨城町	昭 7. 7. 23	平 9
6	片庭ヒメハルゼミ発生地	笠間市片庭 773、2078	楞嚴寺ほか	昭 9. 12. 28	
7	軍鶏（シヤモ）	東京都、茨城県、秋田県、高知県、千葉県、青森県		昭 16. 8. 1	
8	桜川のサクラ	桜川市磯部 135 ほか	桜川市	昭 49. 7. 16	

ケ 国選定重要伝統的建造物群保存地区

No.	名称	所在地	区域	面積	選定年月日
1	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市	桜川市真壁町真壁字下宿町、字高上町及び字大和町の全域並びに字上宿町及び字仲町の各一部	約 17. 6ha	平 22. 6. 29

コ 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財（国選択）

工芸技術

No.	名 称	所在地・保持者	概 要	選択年月日
1	あわのしゅんけい 粟野春慶	東茨城郡城里町栗 稲川 義良（昭 58. 11. 5 死亡） 稲川 昌三（平 10. 1. 8 死亡）	城里町栗に伝わる、透明な漆を塗って器物の木地の木目を透かしてみせる春慶塗の技法を保持。	昭 51. 4. 20
2	にしのうちがみ 西の内紙	常陸大宮市諸沢 菊池 五介（平 3. 2. 14 死亡） 菊池 一男（平 16. 3. 31 死亡） 小野瀬角次（平 27. 10. 15 死亡）	地元で生産される那須楮を原料とした手漉き和紙の技術を保持。	昭 52. 6. 1
3	ししゅう 刺繍	龍ヶ崎市 相沢吉太郎（昭 58. 12. 6 死亡）	高度な刺繍の技術で、旧武家華族や神官の装束などを手がけた。	昭 53. 3. 25

サ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）

（ア）風俗慣習

No.	名 称	所在地	概 要	選択年月日
1	田植に関する習俗	茨城県内	田植え唄・田植え踊り・田の神祭をはじめ、田植に係る習俗。（昭和 42 年記録保存）	昭 30. 3. 2
2	狩猟習俗	茨城県内	野生の鳥獣を捕らえる狩猟に際し受け継がれてきた習俗。（昭和 48 年記録保存）	昭 30. 3. 2
3	ふりゆうもの 日立風流物	日立市宮田町	日立郷土芸能保存会（昭和 51 年記録保存）	昭 49. 12. 4
4	盆行事	茨城県内	旧暦 7 月 13 日に祖霊を迎え、16 日に祖霊を送るまでの盆中に行われる行事。（平成 12 年記録保存）	昭 52. 5. 19
5	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町	常陸大津の御船祭保存会（昭和 59 年・平成 27 年記録保存） 5 年毎の佐波波地祇神社の祭礼。	昭 54. 12. 7
6	おおぼたけ 大畑のからかさ万灯	土浦市大字大畑	からかさ万灯保存会（平成 29 年記録保存）	昭 57. 12. 21
7	ごしょまがたき 五所駒滝神社の祭事	桜川市	五所駒滝神社祭事保存会（平成 28 年記録保存） 世話人制度で運営される夏祭りを中心とした年間の祭礼習俗。	昭 61. 12. 17
8	北関東のササガミ習俗	茨城県、栃木県	2 月 8 日と 12 月 8 日のコトヨウカ、あるいは片方に、庭にササガミサマを祭る習俗。（平成 16 年調査）	平 12. 12. 25
9	お柁廻しの習俗	福島県、茨城県	柁そのものや粃を入れた柁を神体にして複数の集落が祭祀を引き継いでいく特色ある習俗。 (平成 27 年記録保存)	平 21. 3. 11
10	東関東の盆綱	茨城県、千葉県	盆行事の一つで、墓地と家々の間を子どもたちが藁で作った綱を曳いて歩き、先祖の霊を送迎する行事。 (令和 5 年記録保存)	平 27. 3. 2

(イ) 民俗芸能

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	<small>かなさでんがく</small> 金砂田楽	常陸太田市	金砂田楽保存会（昭和 51 年記録保存）	昭 46. 4. 12
2	綱火	つくばみらい市	綱火保存連合会（昭和 51 年、同 61 年記録保存）	昭 46. 11. 11
3	真家のみたま踊	石岡市真家	真家みたま踊保存会（昭和 52 年記録保存）	昭 47. 8. 5
4	大串のささらと大野の みろく	水戸市	大串のささらと大野のみろく保存団体連合会	昭 48. 11. 5
5	<small>さいとうさい</small> 鹿島の祭頭祭	鹿嶋市、神栖市	祭頭囃保存会（昭和 55 年記録保存） 鹿嶋神宮で毎年 3 月 9 日に行われる春を告げる勇壮な祭り。	昭 51. 12. 25
6	あんば囃子	稲敷市	あんば囃子保存会 航海・漁撈の神として信仰を集めた大杉神社に伝わる囃子。	昭 53. 1. 31
7	那珂湊の獅子とみろく	ひたちなか市	六町目の獅子保存会、元町のみろく保存会 (昭和 57 年、昭和 58 年記録保存) 毎年 8 月末に行われる天満宮祭礼の御神幸行列に供奉する。	昭 55. 12. 12
8	<small>つくまい</small> 龍ヶ崎の撞舞	龍ヶ崎市	撞舞保存会（平成 24 年記録保存） 八坂神社祇園祭最終日、高い柱に登り様々な曲芸を演じる。	平 11. 12. 3
9	鹿島みろく	鹿嶋市	保護団体なし（平成 25 年記録保存） 太鼓を伴奏に鹿島信仰にかかわる歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりする民俗芸能。	平 21. 3. 11

(ウ) 民俗技術

No.	名 称	所在地	保護団体	選択年月日
1	霞ヶ浦の帆引網漁の技 術	土浦市、かすみが うら市、行方市	土浦帆曳船保存会、霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存 会、行方市帆引き船保存会 折本良平が明治初期に考案。複数の布を繋いだ大きな一枚帆で風を受け、 風力を利用して船体を横滑りさせながら、袋状の網を曳いて漁獲する <small>ぎょうろ</small> 漁撈技術。（令和 6 年記録保存）	平 30. 3. 8

シ 選定保存技術の選定・保存団体の認定

No.	選定保存技術	保 存 団 体			選定・認定
	名 称	団体名	代表者	所在地	年月日
1	茅採取	一般社団法人日本茅葺き文化協会	代表理事 安藤 邦廣	つくば市北条	平 30. 9. 25
		茅採取は、茅葺に用いるためのススキやヨシなどを育成し、採取する技術。茅刈り、茅立て、茅選りという一連の作業を手際よく行う。同協会は、「ふるさと文化財の森」に設定されている高エネルギー加速器研究機構茅場において、同技術の保存・伝承に尽力している。			
2	茅葺	一般社団法人日本茅葺き文化協会	代表理事 安藤 邦廣	つくば市北条	令 6. 10. 9
		茅葺は、草葺の一種として用いられる工法で、重要文化財をはじめとした現在保存されている茅葺の建造物を維持し、後世に伝えるために欠くことのできない技術。同協会は、技能継承のための研修等を継続的に実施するなどして、茅葺に係る文化と技術の継承と振興に尽力している。			

(3) ユネスコ無形文化遺産一覧

(令和8年3月31日現在)

No.	名 称 等	概 要	登録年月日
1	結城紬（茨城・栃木）	結城紬は、結城市及び栃木県小山市を中心に製織されている。糸はすべて真綿から手つむぎしたもののみを使用し、緋模様は手くびりにより、織りには経糸を腰で吊る織機を用いるなど、伝統的な技法を継承している。古代より受け継がれてきた技術と文化が世界に認められた。	平 22. 11. 16
2	山・鉾・屋台行事 〔日立風流物〕 〔常陸大津の御船祭〕	地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となって執り行う「山・鉾・屋台」の巡行を中心とする祭礼行事。平成 21 年に無形文化遺産に登録された日立風流物（茨城）、京都祇園祭の山鉾行事（京都）に、国指定重要無形民俗文化財 31 件を追加し、計 33 件の行事として平成 28 年に拡張登録された。令和 7 年に、常陸大津の御船祭が追加登録された。	平 21. 9. 30 平 28. 11. 30 令 7. 12. 11
3	伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術— 〔茅採取〕	古代以来途絶えることなく伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきた 17 件の国選定保存技術。自然素材を建築空間に生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、建築当初部材と取り替える新材との調和や一体化を実現する高度な技術が含まれている。	令 2. 12. 17

(4) 県指定文化財等一覧

(令和8年3月31日現在)

ア 有形文化財

【建造物】

(表中の凡例) 解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
1	三重塔 1棟	桜川市真壁町椎尾 3178 薬王院	昭30.6.25	宝永元年(1704)再建。棟梁桜井瀬左衛門。
2	逢善寺仁王門 1棟	稲敷市小野 318 逢善寺	昭32.6.26	万治年間。東京日枝神社より移築(明2)。 解(昭50)、修(平26-27)
3	大生神社本殿 1棟	潮来市大生 814 大生神社	昭32.6.26	江戸中期。銅板葺。解(昭48~49)
4	厨子 1基	稲敷市神宮寺 146 神宮寺	昭33.3.12	室町末期。本瓦型板葺。解(平2)
5	長勝寺本堂 1棟	潮来市潮来 428 長勝寺	昭33.3.12	元禄年間。禅宗建築。入母屋造、茅葺。内部土間。解(昭56~60)、屋根(令2)
6	長勝寺楼門 1棟	潮来市潮来 428 長勝寺	昭33.3.12	桃山期に建立し、移築か。二重二階門。 解(昭56~60、銅板葺に変更)
7	旧水海道小学校玄関 1棟	水戸市緑町2-1-15 茨城県立歴史館	昭33.3.12	明治14年(1881)建築。 移築復原(昭48)
8	八坂神社本殿 1棟	つくば市玉取 2617 八坂神社	昭34.5.22	宝永年間。流造。
9	鹿島神社本殿 1棟	桜川市真壁町上谷貝 1390 鹿島神社	昭34.5.22	江戸中期。茅葺。屋根(平19・令7)
10	薬王院仁王門 1棟	水戸市元吉田町 682 薬王院	昭34.5.22	貞享期の八脚門。 解(平元~3)・自屋根(平25)
11	石造祥光寺多宝塔 1棟	桜川市本木 78 祥光寺	昭35.3.28	建仁2年(1202)。石造。
12	不動院三重塔 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭35.12.21	安永5年(1776)。瓦棒銅板葺。解(平7)
13	石造五輪塔 1棟	つくば市小田 小田中部区	昭37.10.24	天文7年(1538) [刻銘]。
14	石造五輪塔 1棟	かすみがうら市山本 かすみがうら市	昭39.7.31	天文14年(1545) [銘]。
15	不動院本堂 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭40.2.24	安永年間。重層の密教本堂。
16	国王神社本殿 1棟	坂東市岩井 951 国王神社	昭41.3.7	天和3年(1683)の流造。茅葺。屋根(令5)
17	巖島神社本殿 1棟	銚田市子生 877 巖島神社	昭43.3.28	元禄年間の禅宗様系。
18	石岡の陣屋門 1棟	石岡市総社 1 石岡市	昭43.9.26	文政11年(1828)。府中藩陣屋門。 解(平15)修(平25)
19	観音寺本堂 1棟	潮来市上戸 624 観音寺	昭44.3.20	室町中~末期。寄棟造、茅葺。解(平10)
20	阿弥陀堂本堂 1棟	常陸太田市大里町 3708 来迎院(管理責任者 大里町)	昭44.3.20	享保3年(1718)。方形造、茅葺。 屋根(平29)
21	阿弥陀堂楼門 1棟	常陸太田市大里町 3708 来迎院(管理責任者 大里町)	昭44.3.20	宝暦10年(1760)。入母屋造、茅葺。 屋根部(平25)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
22	笠間城櫓 1棟	笠間市笠間 323 真浄寺	昭 44. 12. 1	江戸末期。笠間藩物見櫓。廃城の際移築(明 10)。
23	旧茂木家住宅 1棟	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 45. 5. 28	江戸中期。旧牛堀町から移築復原(昭 48)。 茅葺。 屋根(平 11)
24	旧所家住宅 1棟	潮来市日の出 4-7 潮来市	昭 45. 5. 28	18世紀後半。桂村から移築復原(昭 47)。 茅葺。銅板葺覆屋。
25	阿弥陀堂 1棟	行方市羽生 745 万福寺	昭 45. 9. 28	貞享 4 年(1687)。茅葺。 屋根(平 25)
26	仁王門 1棟	行方市羽生 745 万福寺	昭 45. 9. 28	天正年間。八脚門。茅葺。逢善寺から享保 9 年(1724)に移築[伝承]。屋根(平 25、令 6)
27	西光院本堂 1棟	石岡市吉生 個人	昭 45. 9. 28	寛政 3 年(1791)。懸造、銅板葺。 半解(昭 47)
28	大洗磯前神社本殿・拝殿 2棟	大洗町磯浜町 6890 大洗磯前神社	昭 45. 9. 28	本殿：元禄期、拝殿：江戸中期。 塗装(平 18~19)
29	長勝寺(方丈・書院・玄関 ・庫裡・隠寮) 1棟	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 46. 3. 29	元禄年間。瓦葺。
30	おやまじ 小山寺本堂・仁王門・鐘楼 3棟	桜川市富谷 2190 小山寺	昭 46. 10. 28	本堂：元禄 10 年(1697)。大修理(平 4~5) 仁王門：享保 16 年(1731)。 解(平 23~24) 鐘楼：享保 16 年。
31	四脚門 1棟	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 46. 12. 2	室町末期。茅葺。 屋根(平 18)・解(平 28~30)
32	前野家住宅 1棟	土浦市永井 個人	昭 47. 12. 18	すこや 直屋。文化 3 年(1806) [棟札]。
33	やはしら 八柱神社本殿 1棟	桜川市真壁町塙世 968 八柱神社	昭 47. 12. 18	天明期建立。大聖天(歓喜天)を祀る。
34	鈴木家住宅 1棟	那珂市額田南郷 個人	昭 47. 12. 18	貞享 4 年(1687)改築。御殿と呼称。茅葺。
35	旧中山家住宅 1棟	古河市鴻巣 1045 古河市	昭 48. 8. 27	17世紀末。坂東市から移築復元(昭 49)。
36	富岡家住宅 1棟	土浦市白鳥町 個人	昭 49. 3. 31	江戸前期。茅葺。 屋根修理(平 22)
37	二十三夜尊堂(旧延方学校 のぶかた 聖堂) 1棟	潮来市辻 197-7 月読神社	昭 49. 3. 31	文化 4 年(1807)。唐様、銅板葺。内田山 から移築(明 11)。 塗装(平 18)
38	無量寿寺鐘楼 1棟	鉾田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭 49. 3. 31	享保 12 年(1727)。茅葺 避雷(昭 57)、 屋根自・部自(平 15)、屋(平 26、平 31)
39	無量寿寺山門 1棟	鉾田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭 49. 3. 31	元禄頃。銅板葺(当初は茅葺)。
40	小野家住宅 1棟	日立市諏訪町 個人	昭 49. 11. 25	18世紀前半。曲屋形式。山横目住宅。茅葺。
41	木村家住宅(旧水戸街道旅 籠皆川屋) 1棟	かすみがうら市下稻吉 個人	昭 49. 11. 25	安政 4 年(1857)。水戸街道稻吉宿。 解体(昭 51)、屋根(平 27)
42	不動院楼門 1棟	つくばみらい市板橋 不動院	昭 49. 11. 25	元禄年間。瓦棒銅板葺。 解(平 20~23)
43	雨引観音本堂 1棟	桜川市本木 1 楽法寺	昭 50. 3. 25	宝永 7 年(1710)。棟梁桜井瀬左衛門。密教 本堂。
44	雨引観音仁王門 1棟	桜川市本木 1 楽法寺	昭 50. 3. 25	宝永年間。本瓦葺(明 23 変更。当初茅葺)。
45	旧宍戸城表門 (附宍戸氏家紋) 1棟	笠間市土師 個人	昭 51. 7. 5	天保 15 年(1845)。長屋門形式。棧瓦葺。 明治初移築。 大規模修理(昭 60~61)

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
46	雨引観音楽法寺東照山王社 殿（附棟札2枚） 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭51.7.5	享保12年（1727）。解（平元）、屋（平30） 現状変更（平元：鉄板葺から柿葺へ）
47	雨引観音楽法寺多宝塔 （附棟札1枚） 1棟	桜川市本木1 楽法寺	昭51.7.5	嘉永6年（1853）[棟札]。大規模多宝塔。部（昭56～58、令6）・解（昭63）
48	香取神社本殿 1棟	坂東市沓掛 ^{くつかけ} 4124 香取神社	昭52.5.2	18世紀前期。木羽葺。 塗（平3）・部（平4）
49	鹿島神社本殿 （附棟札1枚） 1棟	つくば市大形 鹿島神社	昭52.5.2	延享2年（1745）。柿葺。覆屋は瓦棒トタン葺。 部自（平15・浜床）
50	国王神社拝殿 1棟	坂東市岩井 951 国王神社	昭52.7.18	文化14年（社伝延宝3年）。茅葺。現状変更（昭63、銅製グシ）。屋根（平15・平19令5）。
51	筑波山神社神橋 1棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年（1633）。柿葺。元禄15年（1702）改修。 塗（昭63）・部（令元）
52	筑波山神社境内社春日神社 本殿・日枝神社本殿及両社拝殿 3棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年（1633）[小屋裏墨書銘]。もとは柿葺。現状は3棟とも瓦棒銅板葺。
53	筑波山神社境内社巖島神社本殿 1棟	つくば市筑波1 筑波山神社	昭54.11.1	寛永10年（1633）。春日造、柿葺。 塗装自（平8）・屋根（令7）
54	逢善寺 ^{ほうぜんじ} 本堂 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭55.2.28	天保年間。密教本堂様式。銅板葺。 解（昭56～61）
55	逢善寺書院・庫裡 1棟	稲敷市小野318 逢善寺	昭55.2.28	文久2年（1862）。豪壮。茅葺。屋根（平17）・庫裏屋根（平19～20）、屋根（平26、平28）
56	矢口家住宅 （附家相図7枚） 3棟	土浦市中央 個人	昭55.12.25	天保末年。土蔵造、棧瓦葺。 部（昭55、台所・食堂など） 屋根部（平3）・解（平27）
57	旧水戸城薬医門 1棟	水戸市三の丸3-10-1 茨城県教育委員会	昭58.3.18	桃山末期。茅葺風銅板葺。 移築復原（昭56）
58	穂積 ^{ほづみ} 家住宅（主屋1棟・長屋門1棟・前蔵1棟・衣裳蔵1棟、敷地4,172.71㎡、附屋敷図屏風1雙） 4棟	高萩市上手綱2337 高萩市	平元.1.25	主屋：寛政元年（1789）。茅葺。 自解（平12～15）・自屋根（平22） 屋根（令3-4）
59	大場家住宅 （主屋1棟・表門1棟・通用門1棟、敷地2,485.29㎡、附家相図等2枚） 3棟	行方市玉造甲4533 公益財団法人 大山守大場家保存協会	平元.4.6	江戸中～後期。大山守住宅。茅葺。 解（平16～20） 主屋：部（平2）・屋根（平4） 長屋門：屋根（平5・平30） 通用門：屋根（平5・平30） 現状変更（平8主屋役宅部脇・廁解体保存）
60	鷺子 ^{とりの子} 山上神社本殿（附棟札2枚）・随神門（附棟札1枚） 2棟	常陸大宮市鷺子3627 鷺子山上神社	平2.1.25	本殿：天明8年（1788） 随神門：文化12年（1815） 本殿・随神門大修理 明治24年（1891）

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
61	吉沼八幡神社本殿・覆屋 2棟	つくば市吉沼 1456 吉沼八幡神社	平2.1.25	本殿：貞享2年(1685)〔墨書〕。茅葺 覆屋：慶応3年(1867)。棧瓦葺
62	観音寺本堂・仁王門 2棟 (附宮殿1基・須弥壇1 基・棟札14枚・銘板1枚)	牛久市久野町 2976 観音寺	平3.1.25	本堂：宝永4年(1707)大修理。茅葺形銅 板葺(本堂)。鉄板葺(仁王門)。 半解(平元)
63	^{かなむら} 金村別雷神社本殿・本殿 覆屋(附棟札1枚) 2棟	つくば市上郷 8319-1 金村別雷神社	平3.1.25	正徳元年(1711)
64	綿引家住宅主屋・倉 2棟	水戸市元吉田町 個人	平3.1.25	江戸後期。ともに茅葺 屋根(令3-4)
65	^{かもとり} 鴨鳥五所神社本殿 1棟 (附棟札2枚・銘札1枚)	桜川市大泉 1480 鴨鳥五所神社	平5.1.25	室町中期。銅板葺(昭32茅葺から変更) 部分(令5)
66	熊野神社本殿 1棟 (附棟札8枚)	行方市島並 1298 熊野神社	平7.1.23	万治年間。銅板葺
67	旧取手宿本陣染野家住宅 主屋・土蔵 2棟 (附表門1棟)	取手市取手 2-16-41 取手市教育委員会	平8.1.25	寛政7年(1795)。茅葺。屋(平25) 土蔵(昭62・63)・主屋(平4~6)解 附追加指定表門(平26.1.27)
68	^{がっさんじ} 月山寺書院 1棟	桜川市西小埜 1677 月山寺	平10.1.21	江戸初期。茅葺。 自差茅(平10・平13)・解(平27)
69	羽黒神社本殿 1棟 (附棟札1枚)	筑西市甲 37 宗教法人羽黒神社	平14.1.25	寛永年間。享保年間に大修理。 自屋根修理(平11)
70	上羽黒神社本殿及び拝殿 2棟	筑西市岡芹 968-1 宗教法人上羽黒神社	平14.1.25	本殿・拝殿とも寛永期。 本殿屋根トタン塗装(平18)
71	長禅寺三世堂 1棟	取手市取手 2-9-1 宗教法人長禅寺	平16.1.8	宝暦13年(1763)再建。享和元年(1801)再営[と もに棟札]。寛政12年(1800)修理〔擬宝珠刻銘〕。 部分(令5)
72	旧畑家住宅(麻生藩家老 屋敷記念館) 1棟 (附表門1棟)	行方市麻生 1153-1 行方市	平20.11.17	安政4年(1857)再建〔棟札〕。 屋根葺替・部分修理(平3~5) 自屋根葺替(平22~23)
73	木村家住宅 1棟	茨城町長岡 個人	平26.1.27	江戸末期(安政5、6年(1858-1859)頃)。 自・半解(平17~19)、屋根(平29、令 6)、部(令5)
74	東漸寺観音堂・山門 2棟 (附宮殿1基、棟札1枚)	取手市本郷 3-9-19 宗教法人東漸寺	平27.1.22	観音堂：寛文7年(1667)。茅葺型銅板葺。 自・解(平18~20) 山門：元禄3年(1690)。茅葺。
75	佛性寺観音堂・仁王門 2棟 (附観音堂宮殿1基、棟 札1枚)	八千代町大字栗山 476 佛性寺	平29.12.25	観音堂：延宝8年(1680)。鉄板葺(昭38)。 仁王門：安永3年(1774)。棧瓦葺(昭38)。 いずれももと茅葺

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
76	旧土肥家住宅 2棟	ひたちなか市阿字ヶ浦町字千駄切 552-13 国営ひたち海浜公園「みはらしの里」 国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所	平 30. 12. 27	主屋：17 世紀中期頃。 隠居屋：宝永 3 年（1706）。 茅葺。 旧新利根村太田から移築復原（平 22）
77	旧小松家住宅 1棟	小美玉市下玉里 1831 小美玉市	令元. 12. 26	18 世紀後期。茅葺。曲屋「二つ曲がり」。 上玉里から移築復原（平 9）

【絵画】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
1	梵字曼陀羅 1幅	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	室町初期。刺繍曼茶羅。
2	ごだいそんえぞう 五大尊絵像 2幅	常陸太田市玉造町 495 愛宕神社	昭 30. 1. 25	鎌倉末期。表装(昭 55)
3	絹本曼茶羅 1幅	坂東市 ^{おいご} 生子1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	鎌倉時代。金剛界曼茶羅。
4	絹本 ^{ふげんぼさつ} 普賢菩薩像 1幅	土浦市文京町 1-27 神龍寺	昭 30. 6. 25	室町時代。修理(平 9)
5	絹本当麻曼茶羅 1幅	結城市結城 1591 弘経寺	昭 32. 1. 25	鎌倉末期。
6	襖絵（紙本） 10幅	結城市結城 1591 弘経寺	昭 32. 1. 25	江戸時代宝暦頃。与謝蕪村筆。
7	武者肖像画 1幅	結城市結城 461 孝顕寺	昭 32. 1. 25	桃山時代。結城 ^{まさとも} 政朝像。
8	両部曼茶羅 2幅	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 32. 6. 26	文亀 2 年（1502） [箱書]。
9	結城 ^{はるとも} 晴朝肖像画 1幅	結城市結城 461 孝顕寺	昭 32. 6. 26	慶長年間。
10	結城 ^{まさとも} 政朝夫人肖像画 1幅	結城市結城 461 孝顕寺	昭 32. 6. 26	天文年間。比丘尼姿。
11	むそうこくしちんぞう 夢窓国師頂相 1幅	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 32. 6. 26	室町時代。修理(昭 59)
12	がつさん ちんぞう 月山和尚頂相 1幅	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 32. 6. 26	応永 12 年（1405）。
13	十六羅漢像 16幅	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 32. 6. 26	りりゅうみん 李竜珉様。修理(昭 61~62)
14	と きよりふさ 土岐頼英夫人肖像画 1幅	稲敷市下太田 79 智心院	昭 33. 3. 12	万治 3 年（1660）。
15	だいがく 太嶽大和尚頂相 1幅	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 33. 3. 12	元禄年間。
16	絹本着色 愛染明王画像 1幅	桜川市本木 1 楽法寺	昭 34. 5. 22	鎌倉末期。
17	絹本着色 弁財天画像 1幅	桜川市本木 1 楽法寺	昭 34. 5. 22	鎌倉末期。八臂 ^{はっぴ} 像。
18	絹本着色 十一面観音画像 1幅	桜川市本木 1 楽法寺	昭 34. 5. 22	鎌倉末期。
19	絹本着色 釈迦十六善神画像 1幅	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 35. 12. 13	南北朝時代。
20	絹本着色 興教大師画像 1幅	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 35. 12. 13	鎌倉末期～南北朝初期。
21	絹本着色 黄不動明王画像 1幅	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 35. 12. 13	鎌倉時代。
22	絹本着色 ^{ごびょう} 御廟天神画 1幅	常総市 ^{おおのごう} 大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	室町時代。
23	絹本着色 ^{おみきてんじん} 神酒天神画 1幅	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	室町時代。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	時 代・備 考
24	紙本着色 北野天神縁起絵巻 2巻	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	応永 22 年 (1415) [銘]。
25	紙本着色 三十六歌仙絵 6幅	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35. 12. 13	室町時代。
26	紙本著色 三十六歌仙 (紙本歌 帳を含む) 35枚	那珂市静 9 静神社	昭 37. 10. 24	しょうげつけんとうぜん 松月軒等善筆。 天保年間に1枚焼失。
27	絹本著色 八景の図 3幅	筑西市中舘 522 観音寺	昭 37. 10. 24	延宝元年 (1673)。狩野探幽筆。
28	絹本著色 十三仏 1幅	境町西泉田 1326-1 境町教育委員会	昭 37. 10. 24	室町時代か。
29	絹本著色 阿弥陀如来像 1幅	茨城町鳥羽田 656 円福寺	昭 37. 10. 24	鎌倉末期。
30	絹本著色 両界曼荼羅 2幅	古河市小堤 1405 円満寺	昭 38. 8. 23	鎌倉時代。
31	絹本著色 来迎弥陀三尊像 1幅	坂東市岩井 1111 延命寺	昭 38. 8. 23	鎌倉末期。
32	絵馬 1枚	筑西市甲 37 羽黒神社	昭 38. 8. 23	寛永 15 年 (1638)。軍馬絵。
33	絹本著色 土井利勝肖像画 1幅	古河市大手町 7-1 しょうじょうじ 正定寺	昭 39. 7. 31	江戸時代。
34	絵馬 1枚	筑西市岡 芹968-1 かみはぐる 上羽黒神社	昭 39. 7. 31	羽黒神社の絵馬と一対。
35	絹本著色 弁財天画像 1幅	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 39. 7. 31	室町時代。 修理 (平 16)
36	絹本著色 涅槃像 1幅	かすみがうら市中志筑 1353 長興寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 41. 3. 7	室町初期。
37	絹本着色 釈迦涅槃像 1幅	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	宋画の影響。 修理 (平 3)
38	紙本着色 小田政治肖像画 1幅	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	大永 2 年 (1522) [賛]。
39	紙本着色 小田氏治肖像画 1幅	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	天正 16 年 (1588) [賛]。
40	絹本色糸 蓮糸織出六字名号 1幅	つくば市若栗 498 ねんこうじ 念向寺	昭 44. 3. 20	室町時代。刺繍。
41	絹本着色 愛染明王像 1幅	つくば市中根 530 慈恩寺	昭 44. 3. 20	室町時代。
42	絹本着色 阿弥陀如来画像 1幅	小美玉市与沢 個人	昭 44. 3. 20	鎌倉時代か。 修理 (平 8)
43	絹本着色 善導大師画像 1幅	小美玉市与沢 個人	昭 44. 3. 20	鎌倉時代か。
44	絹本着色 聖徳太子勝鬘経 御講讀図 1幅	小美玉市与沢 個人	昭 44. 3. 20	鎌倉時代か。
45	絹本着色 金剛界大日如来画像 1幅	大洗町大貫町 802 西光院	昭 44. 3. 20	室町時代。
46	絹本着色 両界曼荼羅 2幅	常陸太田市玉造町 495 愛宕神社	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。廃寺明王山弥勒寺 伝来のもの。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
47	絹本着色 阿弥陀三尊来迎仏 3幅	かすみがうら市宍倉 787 最勝寺	昭 44. 12. 1	鎌倉末期。 修理(平 16)
48	来迎の弥陀	1軸 筑西市大字森添島 1107-1 観音院	昭 45. 9. 28	鎌倉中期。
49	かざん めいげつ 華山潮来明月舟遊の図	1枚 潮来市辻 個人	昭 46. 10. 28	渡辺崋山が榊原家滞在中に描く。
50	涅槃図	1幅 那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	鎌倉末期。 釈迦八相を描く。
51	ちこう 智光曼荼羅	1幅 那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	著色金泥画。
52	せいけい 清海曼荼羅	1幅 那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	紺地金泥画。
53	親鸞聖人画像	1幅 大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	まむきのみえい 真向御影。 修理(平 16)
54	絹本著色 阿弥陀如来来迎図 1幅	日立市宮田町 5-2-22 日立市郷土博物館	昭 49. 3. 31	鎌倉末期か。
55	絹本着色 両界曼荼羅	2幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町時代。 修理(昭 62-63)
56	絹本着色 弘法大師像	1幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	修理(昭 63)
57	絹本着色 しんごんはつそ 真言八祖像	8幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	修理(昭 56、57、59)
58	絹本着色 十二天立像	12幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	修理(昭 60、61)
59	絹本着色 六字経曼荼羅	1幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町後期。
60	絹本着色 十三仏図	1幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期。
61	絹本着色 釈迦十六善神図	1幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	南北朝～室町初期。
62	紙本着色 せいいたかどうじ 制吒迦童子像	1幅 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期。
63	紙本着色 両界曼荼羅	2幅 鹿嶋市浜津賀 378 じがんじ 慈眼寺	昭 52. 5. 2	室町時代。
64	絹本著色 両界曼荼羅図	2幅 筑西市桑山 1696-1 神宮寺	昭 57. 3. 4	室町前半。
65	扁額三十六歌仙絵	14面 石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	文亀 2 (1502) ～ 3 年。
66	紙本著色 滝見観音図 雪村筆 1幅	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 62. 1. 26	天文 11 年 (1542) 前後か。
67	絹本著色 如意輪観音像	1幅 常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 62. 1. 26	14 世紀前半頃。
68	絹本著色 滝見観音図	1幅 那珂市下大賀 1145 弘願寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 63. 1. 25	雪村が正宗寺蔵「滝見観音図」を描いた際に参考にした作品。
69	紙本著色 伝真壁道無	1幅 桜川市真壁町真壁 57-1 桜川市	平 11. 11. 25	16 世紀後半。真壁久幹を描く。
70	ろがんず たちはらきようしよ 絹本墨画 芦雁図 立原杏所筆 1幅	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	平 14. 1. 25	江戸後期。関東文人画の一人。
71	かんぎょう 絹本著色 観 経十六観変相図 1幅	高萩市本町 1-128 大高寺	平 14. 1. 25	高麗 14 世紀初頭。
72	りゅうとう 絹本著色 流燈 横山大観筆 1幅	水戸市千波町 666-1 茨城県近代美術館	平 16. 1. 8	明治 42 年(1909)。五浦海岸で制作。
73	絹本著色 源頼朝像 狩野洞雲筆 1幅	潮来市潮来 428 宗教法人長勝寺	平 16. 11. 25	元禄年間。太嶽の自賛あり。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	時代・備考
74	紙本著色 釈迦羅漢像 雪村周継筆 3幅	石岡市柿岡 2136 宗教法人善慶寺 (茨城県立歴史館寄託)	平 17. 11. 25	中幅に釈迦と阿難・迦葉、左右幅に五人ずつ羅漢。晩年の作。
75	紙本墨画 維摩居士像(附徳川 光圀書状4通 松平頼救跋1 枚) 1幅	鉾田市大蔵 113 宗教法人福泉寺	平 17. 11. 25	維摩は在家の釈迦の弟子。中世の本格的な水墨画。
76	絹本著色 聖徳太子絵伝 1幅	東海村石神外宿 宗教法人願船寺	平 18. 11. 16	室町初期。略絵伝様式初期の作。
77	カルピスの包み紙のある静物 中村彝筆 油絵 麻布 1923年 1面	水戸市千波町 666-1 茨城県近代美術館	平 18. 11. 16	本県出身の洋画家中村彝晩年の代表作。
78	紙本淡彩 海島秋来 小川芋銭筆 1幅	水戸市千波町 666-1 茨城県近代美術館	平 22. 11. 18	本県出身の画家小川芋銭晩年の代表作。
79	絹本彩色 阿房劫火 木村武山筆 1幅	水戸市千波町 666-1 茨城県近代美術館	平 22. 11. 18	本県出身の画家木村武山の代表作。
80	絹本著色 毘沙門天像 1幅	筑西市黒子 214-1 宗教法人東睿山千妙寺	平 28. 1. 21	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺室。
81	絹本著色 日吉山王本地仏曼 茶羅図 1幅	筑西市黒子 214-1 宗教法人東睿山千妙寺 (茨城県立歴史館寄託)	平 29. 1. 26	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺室。
82	紙本著色 金山寺図屏風 雪村周継筆 6曲1隻	笠間市笠間 39 笠間稻荷神社	平 29. 12. 25	室町末期。雄大な景観と繊細な建物等を幻想的に描く。
83	絹本著色阿弥陀如来来迎図 1幅	笠間市笠間 350 宗教法人月崇寺	令 5. 12. 28	鎌倉時代。修行者の前に阿弥陀仏が現前するさまを表す。

【彫刻】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	薬師如来木造 1軀	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	鎌倉後期。
2	鍍金仏 鑲金仏	水戸市緑町 1-2-1 信願寺	昭 29. 8. 18	鎌倉時代。善光寺式像。
3	薬師瑠璃光如来像 1軀	桜川市椎尾 3178 薬王院	昭 30. 1. 25	鎌倉後期。
4	聖徳太子木像 1軀	坂東市みむら 1793 妙安寺	昭 30. 1. 25	14世紀後半。
5	阿弥陀如来像 1軀	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 30. 1. 25	鎌倉末期。安阿弥様。
6	金剛力士像 2体	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	鎌倉時代か。
7	御神像 1軀	つくば市上境 328 体見神社	昭 30. 11. 25	天文年間の修理銘文。
8	木造佐白観音坐像 1体	笠間市笠間 1056-1 正福寺	昭 32. 1. 25	鎌倉半ば。千手観音。
9	菩薩像 2体	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 32. 1. 25	平安後期。
10	薬師如来像 1体	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 32. 1. 25	鎌倉時代。定朝様踏襲。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
11	十一面観世音菩薩像 1 軀	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 32. 6. 26	鎌倉末期頃。
12	阿弥陀如来坐像及両脇侍像 3 軀	潮来市潮来 428 長勝寺	昭 33. 3. 12	鎌倉前期。
13	阿弥陀如来立像及両脇侍像 3 軀	行方市羽生 745 万福寺	昭 33. 3. 12	14 世紀前半。
14	地藏菩薩立像 1 軀	かすみがうら市戸崎 1300 松学寺	昭 33. 3. 12	平安風の鎌倉時代作か。
15	阿弥陀如来坐像 1 軀	牛久市奥原町 2412 ^{がんにみょうじ} 願名寺	昭 33. 3. 12	13 世紀前半～半ば。
16	毘沙門天立像 1 軀	美浦村布佐 1080 美浦村	昭 33. 3. 12	鎌倉時代。修理(昭 62)
17	薬師如来立像 1 軀	美浦村土浦 2060 妙香寺	昭 33. 3. 12	鎌倉時代。480cm。
18	釈迦如来立像 1 軀	稲敷市阿波崎 177 満願寺	昭 33. 3. 12	7 世紀後半。金銅仏。
19	寝釈迦像 1 軀	稲敷市上根本 3063 阿弥陀寺	昭 33. 3. 12	江戸時代。
20	不動明王坐像 1 軀	結城市山川新宿 311-1 ^{だいえい} 大栄寺	昭 33. 3. 12	室町時代。修理(平 18)
21	薬師如来坐像 1 軀	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	昭 33. 3. 12	平安後期(11 世紀末)。
22	観音菩薩立像 1 軀	潮来市大生 750 延命院	昭 33. 3. 12	平安中期。
23	増長天立像 1 軀	北茨城市磯原町大塚 135 長福寺	昭 33. 7. 23	平安末期。
24	聖徳太子立像 1 軀	常陸大宮市鷲子 2236-1 照願寺	昭 33. 7. 23	十六歳孝養太子像。
25	十一面観音菩薩坐像 1 軀	桜川市富谷 2190 小山寺	昭 33. 7. 23	11 世紀。鉦彫像。
26	木造 ^{こまいぬ} 狛犬 2 軀	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭 33. 7. 23	江戸初期。
27	木造 ^{かけぼとけ} 懸仏 1 軀	稲敷市高田 個人	昭 33. 7. 23	銅板製鍍金。
28	木造薬師如来坐像 1 軀	水戸市元吉田町 682 薬王院	昭 34. 5. 22	13 世紀後半。
29	木造神像 1 軀	常陸太田市西河内中町 239 天満神社	昭 34. 5. 22	鎌倉後期。男神坐像。
30	金銅造阿弥陀如来立像 1 軀	土浦市立田町 3-28 浄真寺	昭 34. 5. 22	弘長元年(1261) [銘]。 善光寺式像。
31	木造阿弥陀如来座像 1 軀	桜川市本木 78 ^{しょうこうじ} 祥光寺	昭 35. 3. 28	平安末期。
32	銅板十一面観音 ^{みしょうたい} 御正体 1 面	土浦市中央 1-15-18 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭 35. 3. 28	線刻。
33	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	坂東市辺田 355 西念寺	昭 35. 12. 21	鎌倉初期。定朝様。修理(平 18)
34	木造釈迦如来座像 1 軀	水戸市飯島町 512 福性院	昭 35. 12. 21	13 世紀後半。在地仏師の作。
35	木造 ^{たちきかんのんぼさつぞう} 立木観音菩薩像 1 軀	石岡市吉生 個人	昭 36. 7. 21	12 世紀[1574 年修理銘]。
36	木造弘法大師像 1 軀	城里町徳蔵 874 徳蔵寺	昭 37. 2. 26	室町時代。
37	両界曼荼羅版木 1 面	城里町徳蔵 874 徳蔵寺	昭 37. 2. 26	室町時代。
38	金銅阿弥陀三尊像 3 軀	下妻市高道祖 4429 常願寺	昭 37. 2. 26	14 世紀。善光寺式三尊。
39	浅川獅子頭 3 頭	大子町浅川 浅川ささら保存会	昭 37. 2. 26	寛永 7 年(1630)。
40	木造 ^{じこくてん} 持国天立像 1 軀	北茨城市磯原町大塚 135 長福寺	昭 37. 10. 24	平安末期。
41	木造阿弥陀如来三尊像 3 軀	茨城市町鳥羽田 656 円福寺	昭 37. 10. 24	徳治 2 年(1307) [銘札]。
42	石造地藏菩薩立像(石造 ^{がん} 龕を含む) 1 軀	つくば市小田 小田中部区	昭 37. 10. 24	正応 2 年(1289) [刻銘]。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
43	木造釈迦如来三尊像 3 軀	日立市宮田町 5-6-15 大雄院	昭 37. 10. 24	文明 6 年 (1474) [銘]。
44	木造大黒天像 1 軀	水戸市河和田町 887 報仏寺	昭 37. 10. 24	室町末期か。
45	木造 <small>あたごみょうじんりゅうぞう</small> 愛宕明神立像 1 軀	筑西市甲 37 羽黒神社	昭 38. 8. 23	鎌倉末期。修理(昭 37)
46	木造十一面千手観音像 1 軀	かすみがうら市中志筑 須賀神社氏子	昭 38. 8. 23	13 世紀後半。
47	石造阿弥陀如来立像 1 軀	かすみがうら市高倉 高倉区	昭 38. 8. 23	元享 4 年 (1324) 造立。
48	<small>ひやくたいまがいぶつ</small> 百体磨崖仏	かすみがうら市上志筑 634 <small>がんじょうじ</small> 願成寺	昭 38. 8. 23	室町～江戸時代。
49	木造大日如来坐像 1 軀	坂東市岩井 1111 <small>えんめいじ</small> 延命寺	昭 38. 8. 23	室町時代。
50	木造親鸞上人像 1 軀	古河市中央町 2-8-30 <small>そうがんじ</small> 宗願寺	昭 39. 7. 31	室町時代。
51	木造阿弥陀如来立像 1 軀	つくばみらい市小張 2623 善空寺	昭 40. 2. 24	貞和 2 年 (1346) [銘]。
52	木造狛犬 2 軀	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭 40. 2. 24	鎌倉時代。
53	木造不動明王立像 1 軀	桜川市本木 1 楽法寺	昭 40. 2. 24	永享 12 年 (1440) [銘]。
54	木造十一面観音立像 1 軀	石岡市若松 1-8-23 東耀寺	昭 40. 2. 24	鎌倉末期。修理(平 14)
55	銅造阿弥陀如来三尊像 3 軀	石岡市茨城 1-12-21 万福寺	昭 40. 2. 24	永仁 3 年 (1295) [銘]。善光寺式像。
56	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	常陸太田市大里町 3708 来迎院	昭 40. 2. 24	修理(昭 40)
57	木造毘沙門天立像 1 軀	常陸太田市上宮河内町 3600 菊蓮寺	昭 40. 2. 24	平安末期。
58	木造女神像 1 軀	常陸太田市上宮河内町 3600 菊蓮寺	昭 40. 2. 24	平安末期。
59	木造地藏菩薩坐像 1 軀	古河市鴻巣 個人	昭 41. 3. 7	室町時代。左目半眼。
60	木造不動明王坐像 1 軀	行方市芹沢 505 <small>ほうがんじ</small> 法眼寺	昭 41. 3. 7	永禄 13 年 (1570) [銘]。
61	金銅 <small>たもんでん</small> 仏多聞天 1 軀	かすみがうら市東野寺 763-11 地福院	昭 42. 3. 30	鎌倉中期。像高 15.5cm。
62	木造阿弥陀如来立像 1 軀	かすみがうら市新治 中郷谷区	昭 42. 3. 30	鎌倉時代。在地仏師の作。
63	寄木造平将門の木像 1 軀	坂東市岩井 951 国王神社	昭 42. 3. 30	室町時代か。男神坐像。
64	寄木造十一面観音立像 1 軀	笠間市手越 195 東性寺	昭 42. 3. 30	室町時代。
65	木造阿弥陀如来立像 (像内寛文十三年修理奥書阿弥陀経一卷等アリ) 1 軀	茨城町下座 下座区	昭 42. 11. 24	修理(昭 57)
66	鑄造十一面千手観音菩薩像 1 軀	城里町塩子 1736 岩谷山仏国寺	昭 42. 11. 24	室町末期。焼損修理(平 7)
67	銅造阿弥陀如来立像 1 体	土浦市高岡 1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 43. 3. 28	鎌倉末期。善光寺式像。
68	木造 <small>ちゅうほうぜんじざう</small> 中峯禪師坐像 1 体	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	室町時代。中国元代(寺伝)。
69	金銅 <small>けぶつ</small> 化仏 1 軀	水戸市泉町 個人	昭 44. 3. 20	懸仏の文殊菩薩。
70	木造阿弥陀如来立像 1 軀	大洗町大貫町 802 西光院	昭 44. 3. 20	鎌倉末期。
71	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	室町末期。
72	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。胎内仏。
73	木造観世音菩薩立像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍。
74	木造 <small>せいし</small> 勢至菩薩立像 1 軀	大洗町磯浜町 5298 西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
75	木造十一面観世音菩薩像 1体	笠間市大田町 324 養福寺	昭 44. 12. 1	鎌倉末期。修理(平 19~20)
76	木造阿弥陀如来坐像 1体	かすみがうら市宍倉 787 最勝寺	昭 44. 12. 1	元禄 11 年(1698) [光圀寄進銘]。
77	木造弘法大師像 1体	かすみがうら市牛渡 八田集落	昭 44. 12. 1	延徳元年(1489) [銘]。
78	木造十一面観音菩薩像 1体	かすみがうら市深谷 1399 法蔵寺	昭 44. 12. 1	鎌倉末期。四臂像。 ^{よんび}
79	木造不動明王・毘沙門天立像 2 軀	桜川市富谷 2190 小山寺	昭 44. 12. 1	不動明王追加(平 10. 1. 21)。
80	木造大日如来坐像 1 軀	日立市入四間町 752 おいわ御岩神社	昭 44. 12. 1	室町時代。
81	木造観音菩薩坐像 1 軀	日立市東河内町 899 きょくれん玉簾寺	昭 44. 12. 1	南北朝。宝冠阿弥陀。
82	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	笠間市上加賀田 阿弥陀講世話人会	昭 44. 12. 1	室町末期頃。
83	直牒洞の石仏 3 体	常陸太田市松栄町 615 香仙寺	昭 45. 9. 28	阿弥陀三尊(平安か)。
84	木造不動明王像及び両童子 3 軀	笠間市箱田 (管)下箱田総代会	昭 46. 1. 28	室町末期。
85	木造如意輪観世音菩薩像(附胎内仏) 2 軀	潮来市水原 1121 愛染院	昭 46. 1. 28	室町時代。
86	木造仁王像 2 体	常陸太田市下利員町 西光寺	昭 46. 1. 28	(管責)下利員区(平17~18 修理)
87	木造如意輪観世音菩薩坐像 1 軀	鉾田市波上 1731 華徳院	昭 46. 3. 29	平安後期。修理(平 10)
88	木造阿弥陀如来立像 1 体	那珂市額田南郷 375 阿弥陀寺	昭 46. 10. 28	鎌倉末期。修理(昭 63)
89	木造阿弥陀如来及両脇侍立像 3 軀	那珂市額田南郷 429 引接寺	昭 46. 10. 28	元禄 9 年(1696) [光圀寄進銘]。鎌倉末期。
90	木造如意輪観世音菩薩坐像 1 体	桜川市坂本 坂本区	昭 46. 10. 28	鎌倉時代。
91	木造狛犬 1 対	桜川市磯部 779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 46. 10. 28	室町末期。
92	木造薬師如来坐像 1 体	桜川市磯部 779 磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 46. 10. 28	貞和 2 年(1346) [銘]。
93	木造阿弥陀如来立像 1 体	常陸太田市東連地町 200 宗教法人青蓮寺	昭 46. 10. 28	鎌倉時代。
94	木造大日如来坐像 1 体	神栖市波崎 3355 神善寺	昭 46. 12. 2	元和 8 年(1622) [銘]。
95	木造釈迦涅槃像 1 体	神栖市波崎 3355 神善寺	昭 46. 12. 2	室町時代。修理(平19~21)
96	木造狛犬 1 対	桜川市西小墻 462 二所神社	昭 46. 12. 2	室町時代。
97	木造薬師如来坐像 1 体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	室町中期。
98	木造毘沙門天像 1 体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	鎌倉中期。修理(平 5)
99	木造吉祥天像 1 体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	毘沙門天の脇侍。
100	木造善尼童子像 1 体	那珂市飯田 1085 一乗院	昭 47. 12. 18	毘沙門天の脇侍。
101	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3 体	常陸大宮市国長 853 阿弥陀院	昭 47. 12. 18	鎌倉中~末期。
102	銅造阿弥陀如来立像 1 体	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	法量 43. 2 cm。
103	木造阿弥陀如来立像 1 体	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	鎌倉中期。
104	木造阿弥陀如来立像 1 体	常陸大宮市石沢 1467 常弘寺	昭 47. 12. 18	室町時代か。
105	木造聖徳太子立像 1 体	常陸大宮市石沢 1467 常弘寺	昭 47. 12. 18	永禄 6 年(1563) [銘]。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
106	木造阿弥陀如来脇侍三尊像 3体	水戸市大塚町 満福寺代表 (茨城県立歴史館寄託)	昭47.12.18	3体とも鎌倉中期。
107	金銅如意輪観音坐像 1体	行方市小幡1038 観音寺	昭49.3.31	鎌倉後半。忍性関連か。
108	木造薬師如来脇侍三尊像 3体	土浦市大岩田町1616 法泉寺	昭49.3.31	鎌倉末期。
109	木造薬師如来立像 1体	土浦市神立町1215 観音寺	昭49.3.31	鎌倉末期。
110	木造万年 ^{だゆう} 大夫夫婦坐像(胎内像含) 4体	日立市諏訪町3-11-13 諏訪神社	昭49.3.31	元禄3年(1690)[光圀造立刻銘]。
111	十二神将像 12体	水戸市元吉田町682 薬王院	昭49.11.25	鎌倉末期。修理(昭49)
112	木造釈迦如来立像 1体	土浦市穴塚町1461 般若寺	昭50.3.25	鎌倉末期。修理(平13)
113	木造金剛力士立像 2体 (附命禄三年修理銘木札1枚、元禄十年修理銘木札4枚、般若理趣経折本1冊)	稲敷市小野318 逢善寺	昭51.7.5	応永9年(1402)銘が造立年か。命禄は私年号で天文11年(1542)に相当。
114	木造十一面観音坐像 1体	鹿嶋市棚木371 大福寺	昭52.5.2	延元5年(1340)[銘]。
115	木造阿弥陀如来坐像 1体	小美玉市上玉里1700 円妙寺	昭52.5.2	平安末期～鎌倉初期。 修理(平2)
116	木造千手観音立像 1体 (附伝千手観音焼損像1体、伝胎内納入供養札1枚)	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭54.3.8	寛元2年(1244)[銘札]。 修理(昭62)
117	木造不動明王立像 1体	常陸太田市上宮河内町3600 菊蓮寺	昭54.3.8	平安後期
118	木造 ^{てんぶがた} 天部形立像(寺伝毘沙門天像) 1軀	かすみがうら市東野寺763-11 地福院	昭54.11.1	12世紀後半
119	木造薬師如来坐像 1軀	日立市久慈町 久慈町薬師堂保存会	昭54.11.1	11世紀後半～12世紀初
120	木造聖徳太子坐像 1軀	日立市金沢町 毘沙門組太子像保存会	昭57.3.4	室町末期。講讃太子像。
121	木心 ^{かんしつによらいぎょう} 乾漆如来形坐像 1軀 (附乾漆断片64片)	八千代町栗山476-1 佛性寺	昭57.3.4	9世紀前半。 修理(平12)
122	木造阿弥陀如来坐像 1軀	筑西市下星谷 個人	昭57.3.4	鎌倉中期(13世紀半ば)。 修理(昭59)
123	木造観世音菩薩立像 1軀	下妻市肘谷 ^{ひじや} 肘谷自治区	昭59.3.8	12世紀。修理(昭62)
124	木造聖徳太子立像(摂政太子像) 1軀	下妻市下妻乙350 光明寺	昭59.3.8	南北朝時代。
125	木造阿弥陀如来立像 1軀	笠間市笠間2591 光照寺	昭60.3.25	鎌倉時代半ば。
126	木造大日如来坐像 1軀	笠間市上加賀田 大日如来奉賛会	昭60.3.25	文永12年(1275)[銘]。 修理(昭62)
127	木造十一面観音坐像 1軀	牛久市久野町2976 観音寺	昭60.12.16	15世紀。宋風。修理(平元)
128	木造阿弥陀如来坐像 1軀	土浦市沖宿町1483 海蔵寺	昭63.1.25	13世紀後半。修理(昭63)
129	木造十一面観音坐像 1軀	古河市横山町1-1-11 神宮寺	昭63.1.25	室町時代。院派。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
130	木造聖徳太子立像（松葉太子像） 1 軀	古河市中田町 1334-2 光了寺	昭 63. 1. 25	南北朝時代。院派。
131	木造虚空蔵菩薩坐像 1 軀	桜川市真壁町田 山口地区	平元. 1. 25	11 世紀。
132	木造菩薩立像（伝准 胝観音） 1 軀	桜川市真壁町羽鳥 羽鳥地区	平元. 1. 25	鎌倉時代。
133	木造 <small>こうち</small> 智上人坐像 1 軀	土浦市東城寺 東城寺地区	平 2. 1. 25	嘉禎 3 年（1237）〔墨書銘〕。
134	木造不動明王立像・毘沙門天立像 2 軀	桜川市本木 78 祥光寺	平 3. 1. 25	祥光寺阿弥陀如来脇侍像。
135	木造天部立像 2 軀	桜川市真壁町白井 582 清浄院	平 4. 1. 24	平安時代（12 世紀）。
136	木造天部立像 2 軀	桜川市真壁町白井 582 清浄院	平 4. 1. 24	平安時代（12 世紀）。
137	木造薬師如来坐像 1 軀	阿見町吉原 2289 西光寺	平 5. 1. 25	平安後期。修理（平 15）
138	木造阿弥陀如来立像 （附木造両脇侍像 2 軀） 1 軀	阿見町追原 633 蔵福寺	平 6. 1. 26	中尊：14～15 世紀初め。 修理（平 17～18）
139	銅造薬師如来立像 1 軀	下妻市皆葉 891 薬樹山無量院	平 7. 1. 23	鎌倉時代（13 世紀）。
140	木造観音菩薩立像 1 軀	結城市結城 1139 大輪寺	平 7. 1. 23	延文元年（1356）。
141	木造如意輪観音坐像 （附紙本墨書書状 2 通） 1 軀	常総市豊岡町乙 2002 法性寺	平 7. 1. 23	応安 5 年（1372）。
142	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	河内町生板 4947 妙行寺	平 8. 1. 25	鎌倉時代（13 世紀）。
143	木造薬師如来坐像 （附木造両脇侍像 2 軀） 1 軀	潮来市堀之内 1230 二本松寺	平 9. 1. 27	鎌倉後期（14 世紀）。
144	銅造薬師如来立像 1 軀	銚田市梶山 846 光福寺	平 9. 1. 27	平安後期（12 世紀）。
145	木造千手観音坐像 1 軀	下妻市下妻乙 小野子自治区	平 11. 1. 25	鎌倉後期（13 世紀）。
146	木造 <small>だいかしょうりゅうぞう</small> 大迦葉立像 1 軀	潮来市潮来 428 長勝寺	平 11. 11. 25	南北朝時代。
147	銅造大日如来及三十日仏坐像 21 軀	水戸市栗崎町 1985 宗教法人仏性寺	平 12. 11. 27	室町時代。
148	木造阿弥陀如来及脇侍像 2 軀	つくばみらい市福岡台入会地 大楽寺	平 12. 11. 27	13 世紀初め。
149	銅造如来坐像及び菩薩立像 2 軀	鹿嶋市神向寺 125 神向寺 （茨城県立歴史館寄託）	平 14. 12. 25	9 世紀前半。
150	木造狛犬 1 対	筑西市甲 37 宗教法人羽黒神社	平 16. 11. 25	鎌倉後期。
151	木造聖観音菩薩立像 1 軀	稲敷市神宮寺 146 宗教法人神宮寺	平 17. 11. 25	平安末期（12 世紀後半）。
152	木造如意輪観音立像 1 軀	那珂市福田 仲福田区	平 18. 11. 16	平安後期（12 世紀）。
153	木造十一面観音坐像 1 軀	石岡市田島 田島区	平 18. 11. 16	鎌倉中期（13 世紀）。
154	木造聖徳太子立像（附修理銘札 3 枚、彩色奉加帳 2 冊） 1 軀	常総市菅生町 5028 宗教法人無量寺	平 19. 11. 16	鎌倉後期（14 世紀初め）。
155	木造金剛力士立像 2 軀	笠間市大田町 324 宗教法人養福寺	平 19. 11. 16	室町中期（15 世紀中頃）。

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
156	銅造誕生釈迦仏立像 1 軀	筑西市小栗 2762 宗教法人西光寺 (茨城県立歴史館寄託)	平 19. 11. 16	奈良後半(8世紀末頃)。
157	木造十一面観音立像 1 軀	八千代町八町 149 太光山結城院新長谷寺	平 20. 11. 17	貞和6年(1350)。大仏 師院祥 ^{いんしょう} 制作。
158	木造阿弥陀如来坐像及立像(伝観 音菩薩)・天部立像(伝虚空蔵菩 薩)、木造四天王立像 7 軀	桜川市本郷 13 宗教法人妙法寺	平 21. 11. 19	平安前期(9世紀末)。 四天王像は10世紀初め 頃。
159	木造千手観音立像及二天立像(附 板光背残欠1枚) 3 軀	北茨城市華川町下小津田 197 宗教法人長照寺	平 22. 11. 18	平安末期(12世紀)。
160	木造 ^{ごだいりき} 五大力菩薩像 5 軀	桜川市池亀 394 吉祥院	平 25. 1. 24	平安末期(12世紀)。
161	木造釈迦如来坐像 1 軀	守谷市大木 676 宗教法人大円寺	平 26. 1. 27	平安時代(12世紀)。元禄 2年(1689)の修理銘あ り。
162	銅造阿弥陀如来立像(附旧支柱1 本) 1 軀	笠間市平町 291 浄乗寺	平 30. 12. 27	13世紀後半。旧支柱に元 禄11年(1698)の修理銘あ り。
163	木造大日如来坐像・如来坐像 3 軀	笠間市片庭 775 仏頂山楞嚴寺	令 4. 12. 26	鎌倉時代(13世紀)。
164	木造金剛力士立像(附 像内納入 品一括) 2 軀	桜川市本木 1 雨引山樂法寺	令 4. 12. 26	鎌倉時代(13世紀)。
165	木造不動明王立像 1 軀	稲敷市阿波 961-1 安穩寺	令 7. 12. 25	鎌倉時代(13世紀)。
166	木造獅子・狛犬 1 対	常陸大宮市中富町 1087-14 常陸大宮市 (常陸大宮市歴史民俗資料館保管)	令 7. 12. 25	鎌倉時代(13世紀)。

【工芸品】

No.	名称・数	所在地及び所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	青銅鈴 1 口	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	平安時代。五鈷鈴。総高 28.5cm。
2	木製つのだらい 1 口	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	江戸時代。桐唐草菊花文蒔 絵角盥。
3	^{ごすざら} 呉須皿 1 枚	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	中国明末期。呉須は黒褐色 土。
4	^{らでんまきえこうぼん} 螺鈿時絵香盆 1 面	常陸太田市金井町 3690 常陸太田市	昭 28. 8. 20	江戸時代。
5	護摩壇 1 基	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	徳川家光寄進銘。
6	^{らいぼん} 礼盤 2 基	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	寛永10年(1633) [銘]。
7	^{わきづくえ} 脇机 5 机	坂東市生子 1617 萬蔵院	昭 30. 6. 25	寛永10年(1633)。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
8	ほつす 払子 1 連	結城市結城 1725 安穩寺	昭 32. 1. 25	煩惱を払う荘厳具。
9	じゅず 珠数 1 連	結城市結城 1725 安穩寺	昭 32. 1. 25	伝源翁心昭所持。
10	こきょう 古鏡 1 面	水戸市酒門町 2056 善重寺	昭 32. 1. 25	鎌倉末期。愛染明王蓬莱鏡。
11	厨子 1 基	桜川市西小塙 1677 月山寺	昭 32. 1. 25	康正 2 年(1456) [銘]。春日厨子
12	古鏡 1 面	結城市結城 個人	昭 32. 6. 26	瑞花双鳳鏡。
13	ごこれい 五鈷鈴 1 箇	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 32. 6. 26	平安後期。密教法具。
14	ごこしよ 五鈷杵 1 箇	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 32. 6. 26	鎌倉初期。密教法具。
15	くろかわかたあさぎすじかぶと 黒韋肩浅葱筋兜 1 具	水戸市八幡町 8-54 水戸八幡宮	昭 32. 6. 26	室町時代。佐竹義宣奉納。
16	わにぐち 鰐口 1 個	龍ヶ崎市川原代町 1050 安楽寺	昭 33. 3. 12	文和 2 年(1353) [銘]。
17	鰐口 1 個	潮来市上戸 624 観音寺	昭 33. 3. 12	観応 3 年(1352) [銘]。
18	虎の刺繍 1 枚	美浦村木原 1941 永厳寺	昭 33. 3. 12	天文 23 年(1554)。
19	弥陀名号 1 枚	石岡市大增 3220 大覚寺	昭 33. 3. 12	室町時代。刺繍。
20	まきえびつ 蒔絵櫃 1 合	水戸市西原 個人	昭 33. 3. 12	桃山時代。小型唐櫃。
21	百万塔 1 基	結城市結城 個人	昭 33. 3. 12	木製彩色。奈良十大寺寄進。
22	つのたらい 1 口	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 33. 7. 23	江戸時代。橘竹鶴蒔絵角盥。
23	黒漆螺鈿蒔絵台 1 基	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	鎌倉末期。牡丹竹鳥蝶蒔絵。
24	銅印 1 顆	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	平安時代。朱文方印。鶏頭紐。
25	陶造狛犬 3 軀	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	室町時代後期。瀬戸鉄釉。
26	石灯籠 1 基	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	元和 5 年(1619) [銘]。
27	によう 鏡 1 口	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	平安時代。三鈷鏡。
28	軍配 1 口	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 33. 7. 23	室町時代。
29	ぐんじんくら 軍陣鞍 1 背	水戸市新荘 個人	昭 35. 3. 28	鎌倉時代。黒漆鞍。
30	銅板懸仏 1 口	常総市諏訪町 個人	昭 35. 12. 21	室町初期。
31	銅鐘 1 口	行方市乙 69 宝幢院	昭 35. 12. 21	永享 3 年(1431) [銘]。 防修理(昭 63)
32	太刀 (銘国貞) 1 口	土浦市桜町 1 丁目 個人 (東京国立博物館寄託)	昭 36. 3. 24	鎌倉中期。備前の刀工。
33	太刀 (銘来橘光定) 1 口	土浦市桜町 1 丁目 個人	昭 36. 3. 24	嘉慶 2 年(1388) [銘]。
34	太刀 (銘景安) 1 口	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 36. 3. 24	平安末期。備前刀工景安。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
35	太刀（備前国長船住長光作永仁 二年月日銘） 1口	牛久市柏田町 1606-1 個人 (管) 牛久市	昭 36. 3. 24	永仁 2年（1294）年紀。
36	太刀（銘大和国当麻友 以下切） 1口	牛久市柏田町 1606-1 個人 (管) 牛久市	昭 36. 3. 24	南北朝時代。友清作と伝える。
37	礼盤 1基	城里町徳蔵 874 徳蔵寺	昭 37. 2. 26	天正 6年（1578）[寄進銘]。
38	太刀（無銘 伝大村加下）白鞘 1口	ひたちなか市市毛 個人	昭 37. 8. 27	貞享 2年（1685）[銘]。
39	螺鈿硯箱 1合	筑西市中館 522 観音寺	昭 37. 10. 24	楼閣人物螺鈿硯箱。
40	六地藏石幢 1基	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 37. 10. 24	もとはつくば市個人蔵。
41	石造燈籠 1基	つくば市小田 2716 長久寺	昭 37. 10. 24	高さ 211cm。
42	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市東台 個人	昭 37. 10. 24	紺糸威の胴丸具足。
43	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市泉町 個人	昭 37. 10. 24	安土桃山。胴丸具足。
44	鍙 1具	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 37. 10. 24	鉄製。加賀銀象眼。
45	鞍 1背	水戸市五軒町 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭 37. 10. 24	水干鞍。黒漆地金蒔絵。
46	大薙刀 1口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭 37. 10. 24	南北朝時代。備前長船元重。
47	銅製経筒 1口	水戸市天王町 8-17 神崎寺	昭 37. 10. 24	長承 2年（1133）[銘]。
48	礼盤 1基	境町 974 吉祥院	昭 37. 10. 24	寛永 10年（1633）[銘]。
49	銅鐘 1口	筑西市岡芹 957 定林寺	昭 38. 8. 23	永禄 10年（1567）[銘]。
50	五鈷鈴 1口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 38. 8. 23	平安時代か中国唐代。
51	三鈷杵 1口	古河市小堤 円満寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 38. 8. 23	中国唐代説あり。
52	石造五輪塔 2基	かすみがうら市上佐谷 個人	昭 38. 8. 23	2基とも慶長 16年（1611） [銘]。
53	鍙 1具	水戸市五軒町 個人 (水戸市立博物館寄託)	昭 38. 8. 23	昭 37 指定の鞍と 1具。
54	太刀（葵くずし紋） 1口	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 38. 8. 23	斉昭の作。将軍家慶が佩用。 名称変更（平 30）
55	太刀（銘吉房） 1口	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	昭 38. 8. 23	備前国福岡一文字派。
56	板碑 1基	筑西市岡芹 957 定林寺	昭 39. 7. 31	高さ 155cm。
57	角赤文庫 1合	かすみがうら市下志筑 個人 (茨城県立歴史館寄託)	昭 39. 7. 31	蒔絵手箱。
58	大袖鍙 1具	筑西市下中山 732- 1 八幡神社 (管) 筑西市教育委員会	昭 39. 7. 31	にまいどうぐそく 二枚胴具足。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
59	大袖鎧 1 具	水戸市泉町 個人	昭 39. 7. 31	五枚胴具足。
60	鎧 1 具	水戸市泉町 個人	昭 39. 7. 31	鉄製、加賀銀象嵌。
61	<small>ずいか そうちようはちりようきよう</small> 瑞花雙鳥 八稜 鏡 1 面	下妻市大宝 667 大宝八幡宮	昭 40. 2. 24	平安時代か。
62	宝塔鈴 1 基	石岡市若宮 2-4-24 不動院	昭 40. 2. 24	銅鑄製。柄の上に塔形。
63	<small>そうか そうちようえんきよう</small> 草花双鳥 円鏡 1 面	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 40. 2. 24	白銅製。 盗難(昭 45)
64	<small>みしょうたい</small> 十一面観音御正体 1 面	鹿嶋市宮中 2306-1 鹿島神宮	昭 40. 2. 24	銅板製、線刻。盗難(昭 45)
65	宝珠杵 1 口	かすみがうら市深谷 1399 法蔵寺	昭 40. 2. 24	鎌倉末期。銅鑄製
66	瑞花雙鳥八稜鏡 1 面	つくば市玉取 2617 八坂神社	昭 40. 2. 24	南北朝時代。白銅製
67	<small>きんなしじ</small> 金梨地蒔絵鞍 1 背	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 41. 3. 7	安土桃山時代。
68	六地藏石幢 1 基	土浦市東城寺 650 東城寺地区	昭 41. 3. 7	室町末期か。
69	石造五輪塔 1 基	土浦市小高 212 小高地区	昭 41. 3. 7	永正 12 年(1515)。頭白上人 逆修塔。
70	石造五輪塔 1 基	筑西市村田 1736 村田仲町集落	昭 41. 3. 7	倒壊防止(平 7)
71	石造五輪塔 1 基	つくば市玉取 個人	昭 41. 3. 7	高さ 136cm。
72	石造五輪塔 1 基	かすみがうら市上佐谷 個人	昭 41. 3. 7	文禄 2 年(1593) [刻]。
73	六地藏石幢 1 基	土浦市永井 個人	昭 42. 3. 30	室町末期～桃山時代。
74	銅鐘 1 口	城里町塩子 1736 岩谷山仏国寺	昭 42. 3. 30	貞享元年(1684) 寄進。
75	石造九重層塔 1 基	つくば市神郡 個人	昭 42. 11. 24	慶長年間。総高 253cm。
76	<small>そうもうほつす</small> 棕毛払子 1 振	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 43. 3. 28	中国元代の作。
77	梵鐘 1 基	五霞町山王山 827-1 東昌寺	昭 43. 3. 28	文明 8 年(1476) [銘]。
78	石造 五輪塔 1 基	土浦市宍塚町 1461 般若寺	昭 43. 3. 28	建治元年(1275) [刻銘]。
79	<small>ふすべかわおどしどうまるよろい</small> 熏韋威胴丸鎧 1 領	ひたちなか市南神敷台 個人	昭 43. 3. 28	室町末期。銅丸式の鎧。
80	<small>よろいびつ</small> 鎧 櫃 1 領	ひたちなか市南神敷台 個人	昭 43. 3. 28	ケヤキ材。笈形鎧櫃。
81	<small>こめん</small> 古面 5 面	潮来市島須 530 御札神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 44. 3. 20	<small>ばとう</small> 抜頭など 5 舞楽面。
82	<small>せいじさんかいとう</small> 青磁三階塔 1 基	土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 44. 3. 20	青磁の三重塔形。
83	<small>まきえさげたんす</small> 蒔絵提单笥 1 箱	石岡市国府 個人	昭 44. 12. 1	江戸時代か桃山期。
84	石造九重層塔 1 基	かすみがうら市牛渡 個人	昭 44. 12. 1	伝小田孝朝供養塔。
85	鰐口 1 個	かすみがうら市安食 大宮神社	昭 44. 12. 1	応永 10 年(1403) [銘]。
86	石造五輪塔 1 基	土浦市本郷 個人	昭 45. 5. 28	室町時代。高さ 170cm。
87	二枚胴具足 1 具	石岡市山崎 635 個人	昭 45. 9. 28	江戸時代。
88	五鈷杵 1 口	桜川市本木 1 楽法寺	昭 45. 9. 28	平安末期頃。出土品。
89	六地藏石幢 1 基	つくば市平沢 582 平沢区	昭 46. 1. 28	
90	石造宝篋印塔 1 基	つくば市小田 つくば市	昭 46. 1. 28	鎌倉時代。 解体組合せ(平 17)
91	石造五輪塔 1 基	つくば市北条 102-1 八坂神社氏子総代	昭 46. 1. 28	天文年間 [銘(経筒)]。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	製作年代・備考
92	と きんはつかくつりとうろう 鍍金八角釣燈籠	1 基 潮来市水原 1121 愛染院	昭 46. 1. 28	元禄 14 年 (1701) [銘]
93	高麗焼茶碗	1 個 潮来市潮来 428 長勝寺	昭 46. 10. 28	元禄 8 年 (1695) [光圀寄進銘]。
94	おうぎちらしまきえ、しよだな 扇 散 蒔絵書棚	1 架 大洗町磯浜町 8231 大洗町	昭 46. 12. 2	明治時代。
95	短刀	1 振 大洗町磯浜町 8231 大洗町	昭 47. 12. 18	しんとうごくにみつ 初代新藤五国光の作。
96	説相箱	1 個 那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	江戸初期。
97	しちかんせいじこうろだい 七官青磁香炉台	1 個 那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	中国明代。円筒形。
98	はちりょうきょう 八 稜 鏡	1 個 那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	鎌倉時代。
99	こうごう 香 合	2 個 大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	くり、ついこくこうごう、ししほたん 屈輪堆黒香合、獅子牡丹 ついしゅこうごう 堆朱香合。
100	しゅうろしぬりつたかざら 朱 漆 塗 蔦 葛 模 様 椀	5 個 大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	漆絵椀。
101	和鏡	1 面 潮来市牛堀 17 潮来市教育委員会	昭 49. 3. 31	すはましようきくかちらしそうじやくきょう 州浜松菊花散双雀鏡。
102	蒔絵鏡箱	1 合 日立市弁天町 個人	昭 49. 3. 31	室町時代。円形。
103	華蔵院の梵鐘	1 個 ひたちなか市栄町 1-1-33 華蔵院	昭 49. 3. 31	暦応 2 年 (1339) [銘]。
104	宝篋印塔	1 基 石岡市半田 個人	昭 49. 3. 31	江戸時代。高さ 150cm。
105	金銅割五鈷杵	1 個 土浦市大岩田町 1616 法泉寺	昭 49. 3. 31	鎌倉末期。鍍金。15.2cm。
106	五鈷鈴	1 個 土浦市神立町 1215 観音寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 49. 3. 31	平安末～鎌倉初期。
107	銅製丸鏡	1 面 土浦市大和町 9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭 49. 3. 31	草花双鳥鏡。面径 11cm。
108	灌頂用具	15 点 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	明鏡は平安時代。
109	密教法具	23 点 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	鎌倉～江戸時代まで。
110	かつまもんかいたいぼこ 銅装龍輪宝羯磨文戒体箱	1 合 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期。
111	銅装龍輪宝羯磨文説相箱	2 合 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町末期。
112	どうばんばり 銅板貼山伏笈	1 背 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	天正 18 年 (1590) [墨書銘]。
113	きょうびつ 漆塗経 櫃	1 合 水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 50. 3. 25	室町後期。
114	りよくゆう 瀬戸緑 釉 狛犬	2 体 ひたちなか市富士ノ上 2-1 天満宮	昭 51. 7. 5	室町後期。
115	鰐口	1 口 小美玉市上玉里 大宮神社 (小美玉市玉里史料館寄託)	昭 52. 5. 2	正嘉元年 (1257) [銘]。
116	鰐口	1 口 常陸太田市小中町 個人	昭 52. 5. 2	永和 5 年 (1379) [銘]。
117	ほっす 竹織 弘子	1 振 土浦市高岡 1890 法雲寺	昭 56. 12. 24	中国元代。
118	石造燈籠	1 基 土浦市小野 126-7 日枝神社	昭 56. 12. 24	永正 8 年 (1511) [銘]。
119	漆皮軍配 (伝太田道灌奉納) 寛文八年ノ太田資宗、資次寄進ノ 箱アリ	1 柄 石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	寛文 8 年 (1668) [銘]。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
120	漆皮軍配(伝佐竹義宣奉納) 1柄	石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	天正 18 年 (1590) [銘]
121	銅鐘(「嘉慶元年」の銘と「享徳五年」の追銘あり) 1口	下妻市大宝 667 大宝八幡宮	昭 59. 3. 8	嘉慶元年 (1387) [銘]。
122	太刀(銘常州水戸住藤原近則) 1口	大洗町磯浜町 6890 大洗磯前神社	平 2. 1. 25	嘉永 5 年 (1852) [銘]。
123	能面 6面	常陸大宮市下町 221 甲神社	平 4. 1. 24	16 世紀。
124	総毛引紅糸威胴丸具足 1領	水戸市宮町 東照宮 (茨城県立歴史館寄託)	平 10. 1. 21	徳川家康着用の初伝あり。
125	鯛口 如意寺、嘉暦三年在銘 1口	笠間市上市原 942 宗教法人如意輪寺	平 16. 1. 8	江戸時代。
126	鯛口 如意寺、嘉暦三年在銘 1口	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	平 16. 1. 8	鎌倉時代。
127	傑光彩磁葡萄紋様花瓶 1口 板谷波山作	笠間市笠間 2345 茨城県陶芸美術館	平 16. 11. 25	大正 11 年。
128	氷華磁仙桃文花瓶 1口 板谷波山作	笠間市笠間 2345 茨城県陶芸美術館	平 16. 11. 25	大正 15 年頃。

【書跡】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紺紙金字法華経 8巻	桜川市西小墾 1677 月山寺	昭 28. 7. 9	鎌倉時代。
2	往生要集 1冊	結城市結城 152 称名寺	昭 33. 3. 12	往生要集延書。 ^{のべがき}
3	大般若波羅蜜多経 391巻	土浦市沖宿町 1483 海蔵寺	昭 33. 3. 12	承安 5 年 (1175) [奥書]。
4	妙法蓮華経 10巻	稲敷市小野 318 逢善寺	昭 33. 3. 12	木版刷りの春日版。
5	宋版一切経 5400巻	桜川市真壁町東山田 1644 最勝王寺	昭 33. 3. 12	中国宋代。天海版。
6	妙法蓮華経 1巻	石岡市大増 3220 大覚寺	昭 33. 3. 12	紺紙金泥の写本。
7	唐本一切経 3帖	笠間市笠間 39 笠間稻荷神社	昭 33. 7. 23	建長 7 年 (1255) [識語]。
8	北斗寺仏儀次第 4巻	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 35. 12. 21	室町時代の写本。
9	阿弥陀寺御文 1帖	坂東市長須 4359 阿弥陀寺	昭 35. 12. 21	室町時代。
10	無量寿寺御文書 1帖	鉾田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭 35. 12. 21	蓮如の書簡 19 通。
11	大般若波羅蜜多経 15巻	日立市神峰町 個人	昭 37. 2. 26	承安 3 年 (1173) 校の奥書あり。
12	大般若波羅蜜多経 1巻	水戸市堀町 個人	昭 38. 8. 23	鎌倉時代末の春日版か。
13	一遍上人名号 1幅	石岡市国府 個人	昭 39. 7. 31	
14	大般若波羅蜜多経 336巻	桜川市加茂部 694 鴨大神御子神主玉神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 41. 3. 7	正安・元応奥書 (13~14 世紀初)。
15	大般若経 490巻	桜川市本木 1 楽法寺	昭 42. 3. 30	天文 10 年 (1541)・15 年 [寄進銘]。
16	唐本一切経(抜藤原時朝) 2巻	水戸市西原 個人	昭 42. 11. 24	宋版一切経の一部。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
17	後奈良天皇 ^{うたぎれ} 歌切 1 卷	つくば市栗原 1129 北斗寺	昭 42. 11. 24	後奈良天皇宸筆、4 首の歌。
18	神号 ^{しんごう} 天照皇太神 ^{あまてらすこうたいじん} 1 卷	小美玉市羽鳥 個人	昭 42. 11. 24	後陽成天皇御宸筆。
19	紺紙 ^{こんし} 金泥 ^{きんでい} 大般若波羅蜜多經 (卷 506) 1 卷	土浦市高岡 1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 43. 3. 28	鎌倉末期。1 巻のみ残る。
20	法雲寺文書 一括	土浦市高岡 1890 法雲寺 (土浦市立博物館寄託)	昭 43. 3. 28	中世寺領寄進状、禁制書状。
21	芹沢文書一括 62 点	石岡市国府 個人	昭 44. 12. 1	室町～江戸初期。
22	六地藏寺所蔵典籍・文書 典籍 892 部・文書 407 点	水戸市六反田町 767-2 六地藏寺	昭 46. 3. 29	戦国時代。恵範 ^{えはん} が筆写・著述。
23	了誉 ^{りょうよ} 筆別当 ^{ひつべつとう} 職議状 ^{しきぎじょう} 1 幅	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	応永 22 年(1415) [了誉の書筆]。
24	日本書紀私鈔 ^{ししやう} 並二人王百代具 ^{にんのうぐ} 名記 ^{みょうき} 3 冊	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	了誉著作の写本 (応永 15 年(1408)写)。
25	阿弥陀經 1 卷	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 47. 12. 18	斉昭 25 歳の真蹟。
26	唯信 ^{ゆいしん} 鈔断片 ^{しやうだんぺん} 1 幅	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	親鸞が書写した断片の 1 枚。
27	蓮如筆消息大根田御坊宛 1 幅	大洗町磯浜町 7920 願入寺	昭 47. 12. 18	
28	正宗寺所蔵文書 7 通	常陸太田市増井町 1514 正宗寺	昭 49. 3. 31	円覚寺及び黄梅院 ^{おうばいいん} 文書。
29	後光厳天皇御消息 1 軸	ひたちなか市殿山町 個人	昭 49. 3. 31	北朝 4 代天皇宸筆。
30	日蓮書状 (文永 11 年 7 月 26 日 南條七次郎時光あて) 1 通	常陸太田市新宿町 239 久昌寺	昭 56. 12. 24	鎌倉時代。
31	日乗日記 13 冊	常陸太田市新宿町 239 久昌寺	昭 56. 12. 24	修理 (平 2～4)
32	唐本一切經 1 卷	笠間市稲田 562 西念寺	昭 63. 1. 25	平安時代末。
33	金剛般若波羅蜜經 1 卷	笠間市石井 1747 高乾院	平 5. 1. 25	弘安 4 年(1281)。 修理(平 10)
34	紙本墨書 神皇正統記六地藏寺 本 3 冊	水戸市六反田町 767-2 宗教法人六地藏寺	平 16. 1. 8	神皇正統記の写本(明徳 5 年(1394))を恵潤が筆写。

【古文書】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	常陸総社文書 安政二年修理ノ 奉納箱アリ 50 通	石岡市総社 2-8-1 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	総社の神主家に伝わる 50 通の文書。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
2	鳥名木家文書 41点	行方市手賀 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平6.1.26	手賀氏の分流鳥名木家に伝わる。
3	健田須賀神社文書 19点(2巻)	結城市結城195 健田須賀神社	平8.1.25	文和元(1352)～天正8(1580)年。
4	真壁長岡古宇田文書 35点	桜川市真壁町真壁57-1 真壁伝承館歴史資料館	平11.11.25	真壁氏庶流古宇田氏。
5	親鸞門侶交名 1巻	下妻市下妻乙350 光明寺	平19.11.16	三河妙源寺本と共に貴重。
6	鹿島神宮文書 250点(18巻)	鹿嶋市宮中2306-1 鹿島神宮 (茨城県立歴史館寄託)	平22.11.18	鹿島神宮に伝わる古文書群。
7	税所文書 19点(1帖)	石岡市国府 個人 (茨城県立歴史館寄託)	平27.1.22	常陸国衙の在庁官人関係文書。鎌倉期～南北朝期。
8	白田文書 1巻1帖	稲敷市羽賀 個人	平29.1.26	白田家に伝わる中世から戦国期の文書群。
9	岡澤文書 8点	稲敷市福田 個人	令3.12.27	地方の刀鍛冶家に伝わる文書群。
10	税所文書(山戸本)86点(2帖)	大洗町磯浜町 個人 (茨城県立歴史館寄託)	令5.12.28	常陸国衙の在庁官人関係文書。南北朝期～江戸期。

【考古資料】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	板碑 1基	つくば市金田1658-1 つくば市	昭30.11.25	文永9年(1272) [刻銘]。
2	東城寺結界石 1基	土浦市東城寺650 東城寺地区	昭41.3.7	建長5年(1253) [年刻銘]。
3	下坂田の板碑 1基	土浦市下坂田 個人	昭41.3.7	永仁6年(1298) [年刻銘]。
4	丸山古墳出土遺物 212点	石岡市柿岡5680 石岡市	昭42.11.24	4世紀末～5世紀初。
5	経筒・石櫃付 1組	石岡市柿岡5680 石岡市	昭42.11.24	大永3年(1523) [陰刻銘]。
6	結界石 1基	土浦市穴塚1461 般若寺 (土浦市立博物館寄託)	昭43.3.28	建長5年(1253) [刻銘]。
7	鹿(埴輪) 1対	石岡市柿岡5680 石岡市	昭44.3.20	雄・雌1対。
8	狐塚古墳出土遺物一括 24点	桜川市岩瀬 桜川市教育委員会	昭44.12.1	短甲・銅鏃など出土。
9	丸木舟 1艘	龍ヶ崎市馴馬町2488 龍ヶ崎市	昭50.3.25	マツ材、残存部全長約6.3m。
10	板碑 1基	筑西市辻 個人	昭50.6.25	弘安元年(1278) [銘]。
11	鏡の鑄型鋳范 1面	土浦市大和町9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	昭55.2.28	鎌倉期か。密教法具。
12	丸木舟 1艘	下妻市大宝667 大宝八幡宮	昭59.3.8	クロマツ、長さ6.05m。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
13	銅印 1 顆	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	平 4. 1. 24	「丈永私印」。
14	人物埴輪 1 軀	東海村村松 768-38 東海村	平 6. 1. 26	舟塚 1 号墳出土。正装男子像。
15	乳飲み児を抱く埴輪(大平古墳群黄金塚出土) 1 軀	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平 9. 1. 27	高さ 27.5cm。腹部より下を欠失。
16	巴形銅器(宮平遺跡出土) 1 箇	石岡市染谷 1646 石岡市教育委員会	平 10. 1. 21	全径 5.0cm。
17	うしろの後野遺跡出土石器及土器 160 点	ひたちなか市中根 ひたちなか市教育委員会	平 12. 11. 27	細石刃文化、大型石刃文化の新旧関係が判明。
18	十王台遺跡出土十王台式土器 3 点	日立市十王町友部東 個人 (十王公民館、東京国立博物館寄託)	平 14. 12. 25	弥生後期。
19	かいご海後遺跡出土人面付土器 1 点	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	平 14. 12. 25	弥生中期。
20	小野天神前遺跡出土土器 19 点	水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	平 16. 11. 25	弥生時代中期の再葬墓一括。
21	富士見塚 1 号墳・2 号墳・3 号古墳出土遺物 一括	かすみがうら市柏崎 358-1 かすみがうら市	平 20. 11. 17	5 世紀末～6 世紀初頭。埴輪、鉄鏃など一括。
22	東中根遺跡群出土遺物 18 点	ひたちなか市中根 3499 ひたちなか市	平 21. 11. 19	弥生時代後期前半の土器及び紡錘車。
23	一本松遺跡出土遺物 13 点	大洗町磯浜町 6881-88 大洗町	平 23. 11. 17	弥生時代後期の巴形銅器を含む土器、紡錘車等。
24	かみおかかみ神岡上古墳群第 3 号墳出土遺物 345 点	北茨城市磯原町磯原 130-1 北茨城市教育委員会	平 25. 1. 24	七鈴鏡 1 点、鉄鏃 32 点、直刀 4 点、土製模造品 266 点など。
25	舟塚古墳出土遺物 39 点	水戸市笠原町 978-6 茨城県 (茨城県立歴史館保管)	平 27. 1. 22	埴輪 39 点(円筒埴輪 16 点・朝顔形埴輪 5 点・人物埴輪 17 点・家形埴輪 1 点)小美玉市上玉里出土。
26	信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器 3 点	美浦村大字土浦 2359 美浦村教育委員会 (美浦村文化財センター保管)	平 30. 12. 27	8 世紀末～9 世紀。2 点が完形。蓋 1 点に「大伴」の墨書あり。
27	つぼいうえ坪井上遺跡出土硬玉製大珠 7 点	常陸大宮市中富町 1087-14 常陸大宮市教育委員会 (常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管)	令元. 12. 26	縄文時代中期。一つの遺跡からの出土数としては異例。
28	堀米 A 遺跡出土硬玉製大珠 5 点	東海村大字村松 768-38 東海村	令 4. 12. 26	縄文時代中期の 5 点の硬玉製(翡翠)大珠・垂飾。

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
29	十五郎穴横穴群出土品 一括	ひたちなか市中根 3499 ひたちなか市 (ひたちなか市埋蔵文化財調査センター保管)	令 6. 12. 26	7世紀前葉～9世紀前葉。 刀子、大刀、鉄釘、須恵器 等 267 点。

【歴史資料】

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紙本墨書大般若経 (附唐櫃 3 合) 569 帖	那珂市額田北郷 542 毘盧遮那寺	昭 52. 5. 2	明応 4 (1495) ～ 8 年。
2	訂正常陸国風土記版木 (附箱板 2 枚) 20 枚のうち 19 枚 20 枚のうち 1 枚	日立市諏訪町 個人 (茨城県立歴史館寄託) 水戸市緑町 2-1-15 茨城県立歴史館	昭 60. 3. 25 昭 60. 12. 26(追)	天保 10 年 (1839) 出版 の版木。
3	^{しじんき} 四神旗 附祝文 (写) 4 旒	笠間市稲田 763-1 稲田神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭 63. 1. 25	
4	佐竹義昭奉加帳 1 巻	常陸大宮市下町 221 ^{かぶと} 甲 神社	平 8. 1. 25	弘治 3 年 (1557)。 修理 (平 17)
5	^か 鹿の子遺跡出土漆紙文書 一括	石岡市柿岡 5680 石岡市教育委員会	平 14. 1. 25	国庁作成帳簿類。
6	河口家医学等関係資料 896 点	古河市錦町 個人	平 19. 11. 16	旧古河藩医の河口家に 伝わる医学資料群。
7	徳川光圀書翰集 7 巻 (54 通)	水戸市緑町 2-1-15 茨城県 (茨城県立歴史館保管)	平 23. 11. 17	光圀自筆書翰 53 通及び 右筆書き 1 通。 修理 (平 24)
8	色川三中関係史料 522 点	土浦市大和町 9-1 土浦市 (土浦市立博物館保管)	平 28. 1. 21 令 2. 12. 28(追) 同日 (名称変更)	城下町土浦の庶民生活 や文化の様相を知る上 で貴重。追加指定「色川 三中草稿」(22 点)。
9	^{せきすい} 長久保赤水関係資料 107 点	高萩市高萩 8-1 高萩市 (高萩市歴史民俗資料館保管)	平 29. 1. 26 令 2. 9. 30 (員数変更)	天文学者・農政学者長久 保赤水の業績を伝える。 ほかに国指定 693 点 (令 2)。
10	紙本墨書 聖護院道興筆天神名号 1 幅	桜川市真壁町東山田 個人	令 3. 12. 27	聖護院道興が山田慶城 坊に止宿した際にした ための書。
11	弘道館御用留等記録史料 65 点	水戸市緑町 2-1-15 茨城県 (茨城県立歴史館保管)	令 7. 12. 25	水戸藩の藩校弘道館の 運営及び教育活動に関 する記録史料群。

イ 無形文化財

No.	名 称	所在地 及び 保持者・保持団体	指定年月日	備 考
1	結城紬 (縮 織) <small>ちぢみおり</small>	結城市結城 13-2 (財) 重要無形文化財結城紬技術保存会	昭 28. 11. 14	強い撚りを加え、縮んで表面がちりめん状になる織り方。
2	西の内紙 (手漉和紙)	常陸大宮市舟生 本西の内紙保存会 (平 28. 1. 21 追加認定)	昭 46. 12. 2	昭 46. 12. 2 認定保持者 菊池五介(2代 平 3. 2. 14 死亡) 菊池一男(平 16. 3. 31 死亡) 小野瀬角次(平 27. 10. 15 死亡) 平 3. 3. 27 追加認定保持者 菊池五介(3代 平 19. 5. 19 死亡) 平 19. 11. 16 追加認定保持者 菊池正氣(令 2. 2. 17 死亡)
3	粟野春 慶 塗 <small>あわのしゆんけいぬり</small>	城里町粟 458 稲川武男	平元. 1. 25	木地の木目を透かしてみせる。
4	鹿島新當流 (附 起請文 1 卷・傳法書 1 卷)	鹿嶋市宮中 鹿島新當流彰古会	平元. 9. 27	塚原ト伝の編み出した剣の流派。

ウ 有形民俗文化財

No.	名 称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	備 考
1	日立風流物人形頭 122 頭	日立市神峰町 個人	昭 39. 7. 31	操り人形頭。
2	浮島所在の田下駄一括 45 足	稲敷市八千石 18-1 稲敷市	昭 46. 12. 2	
3	獅子頭 1 頭	石岡市府中 2-4-5 土橋町区長	平 4. 1. 24	江戸時代。重量約 17 kg。
4	潮来祇園祭礼山車 (附唐獅子 1 対) 3 台	潮来市潮来 潮来祇園祭礼山車保存会	平 5. 1. 25	素鷲熊野神社祭礼の山車。
5	西塩子の回り舞台 一式	常陸大宮市西塩子 150-3 西塩子の回り舞台保存会	平 11. 11. 25	文政年間。農村歌舞伎舞台。
6	ささら獅子頭 3 点	常陸大宮市中富町 1087-14 第 6 区 (常陸大宮市歴史民俗資料館寄託)	平 16. 11. 25	永正 14 年(1517) [墨書銘]。

エ 無形民俗文化財

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
1	浅川のささら	大子町浅川 3903 浅川ささら保存会	昭 30. 6. 25	熊野神社。3月 27 日・28 日。
2	火消行列	常陸太田市町田町 1 火消行列保存会	昭 30. 6. 25	6 年毎の 3 月下旬。
3	真家みたまおどり	石岡市真家 273 真家みたまおどり保存会	昭 33. 3. 12	福寿院及び真家地内。8 月 15 日。
4	西金砂神社田楽舞 <small>かなさ</small>	常陸太田市上宮河内町 1915 西金砂神社田楽舞保存会	昭 35. 3. 28	金砂大祭礼(72 年)、小祭礼(6 年)。

No.	名 称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
5	東金砂神社田楽舞	常陸太田市天下野町 9740 東金砂神社田楽舞保存会	昭 35. 3. 28	金砂大祭礼(72年)、嵐除祭(6年)。
6	塚崎の獅子舞	境町塚崎 塚崎獅子舞保存会	昭 35. 3. 28	香取神社。4月・7月・11月の15日。
7	猿島ばやし	坂東市生子 1465 猿島ばやし保存会	昭 36. 3. 24	おいご 生子八坂神社。7月15日～22日。
8	からかさ万灯	土浦市大畑 大畑からかさ万灯保存会	昭 37. 10. 24	鷲神社。8月15日。
9	はいか 排禍ばやし	石岡市片野 620 排禍ばやし保存会	昭 37. 10. 24	片野八幡神社。7月第3日曜。
10	おおう みこまい 大生神社巫女舞神事	潮来市大生 814 大生神社	昭 38. 8. 23	11月14日前夜祭、11月15日本祭。
11	柿岡からくり人形	石岡市柿岡 1857 からくり人形保存会	昭 38. 8. 23	柿岡八幡神社及び町内。7月24日。
12	西丸山祈祷ばやし	つくばみらい市西丸山 西丸山祈祷囃子保存会	昭 38. 8. 23	鹿島神社。1月中旬・5月。
13	日立のささら	日立市宮田・助川・会瀬・大久保・諏訪・ 水木・成沢 日立郷土芸能保存会	昭 38. 8. 23 昭 45. 9. 28(追) 昭 46. 7. 19(追)	泉神社ほか。
14	潮来ばやし (獅子舞を含む)	潮来市潮来 潮来ばやし保存会	昭 39. 7. 31	そがくまの 素鷲熊野神社。8月7日～9日。
15	のぶかたすもう 延方相撲	潮来市延方乙 1885 鹿嶋吉田神社	昭 39. 7. 31	鹿嶋吉田神社。7月27日。
16	おぐりないげ 小栗内外大神宮太々神 楽	筑西市小栗 1 太々神楽保存会	昭 41. 3. 7	4月21日、11月10日の直近の日 曜日。
17	大串のささらばやし	水戸市大串町 ささらばやし保存会	昭 41. 3. 7	稲荷神社。11月23日。
18	大野のみろくばやし	水戸市下大野町 みろくばやし保存会	昭 41. 3. 7	稲荷神社。11月23日。
19	うわど 上戸の獅子舞	潮来市上戸 1551 獅子舞保存会	昭 43. 3. 28	国神神社。11月23日。
20	神田ばやし	坂東市神田山 3108 神田ばやし保存会	昭 49. 11. 25	7月16日・17日、11月第2日曜日。
21	田宮ばやし	土浦市田宮 田宮ばやし保存会	昭 52. 5. 2	7月末の日曜日を中心に3日間。
22	三和祇園ばやし	古河市東山田 24 三和郷土芸能保存会	昭 53. 1. 26	7月中旬各地区の夏祭り。
23	ほんぶね 大津の盆 船流し	北茨城市大津町 大津盆船流し保存会	昭 54. 3. 8	大津漁港。8月13日～16日。
24	石岡ばやし	石岡市石岡 2812-3 石岡囃子連合保存会	昭 55. 2. 28	常陸国総社宮。9月14日～16日。
25	磐戸神楽	古河市大和田 大和田磐戸神楽保存会	平元. 1. 25	鷲神社。4月4日。
26	水戸大神楽	水戸市元山町 1-3-43 やなぎやしろうらく 柳貴家正楽社中 水戸市常磐町 2-13-23 やなぎやかつぞう 柳貴家勝蔵社中	平 3. 1. 25 平 20. 11. 17	不定期。
27	日枝神社流鏝馬祭	土浦市沢辺小野入会地 日枝神社流鏝馬祭保存会	平 6. 1. 26	日枝神社。4月第1日曜日。
28	富田のささら	石岡市国府 5-9 富田町ささら保存会	平 8. 1. 25	常陸国総社宮。9月14日～16日。
29	おおつかど 大塚戸の綱火	常総市大塚戸町 875 大塚戸芸能保存会	平 11. 11. 25	一言主神社。9月13日。
30	利根地固め唄	利根町中谷 967 利根地固め唄保存会	平 14. 12. 25	利根川築堤補修工事に係る作業唄。
31	上山川諏訪神社太々神 楽	結城市大字上山川 160 上山川諏訪神社太々神楽保存会	平 17. 11. 25	安永9年(1780) [舞台衣裳墨書]。 4月。

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
32	龍ヶ崎の撞舞	龍ヶ崎市 3428 番地地先 龍ヶ崎市撞舞保存会	平 22. 11. 18	7 月下旬の八坂神社祇園祭最終日に実施。
33	中田永代太々神楽	古河市中田 1337- 6 古河神楽保存会	令 5. 12. 28	鶴峯八幡神社。4 月第 3 日曜日。 雀神社。4 月第 2 日曜日。

オ 史跡

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
1	伝内大臣平重盛墳墓	城里町上入野 3912 小松寺	昭 6. 12. 4	伝重盛・重盛夫人・平貞能の墓。
2	船玉古墳	筑西市船玉 247 (管) 筑西市	昭 8. 7. 4	方墳。石室内に壁画。
3	古河公方足利成氏館跡 ・同足利義氏墓所	古河市鴻巣 個人	昭 8. 7. 18	初代古河公方館跡。
4	難台山城址	笠間市上郷 3646 の一部ほか (管) 笠間市	昭 9. 5. 18	1387 年小田某五郎が挙兵した跡。
5	本多作左衛門重次墳墓	取手市台宿 2-3167 本願寺	昭 9. 8. 3	鬼作左といわれた家康の家臣の墓所。
6	那珂西城址	城里町那珂西 1958 ほうどういん 宝幢院	昭 9. 12. 18	久安 5 年 (1149)。那珂通泰が築城。
7	瓜連城址	那珂市瓜連 1221 常福寺	昭 9. 12. 18	瓜連貞国、のちが入城。
8	志筑城址	かすみがうら市中志筑 かすみがうら市	昭 10. 11. 26	鎌倉期に下河辺政義が築城
9	阿波崎城址	稲敷市阿波崎 2316 (所) 天満神社 (管) 阿波崎城跡保存会	昭 10. 11. 26	南朝勢力回復のため北畠親房が入城
10	伊佐城址	筑西市中館 522 観音寺	昭 10. 11. 26	結城合戦で城主伊佐政 国が討死
11	駒城址	下妻市黒駒 個人	昭 10. 11. 26	中御門少将藤原実 寛を擁した城
12	神宮寺城址	稲敷市神宮寺 (管) 個人	昭 10. 11. 26	北畠親房らが参集して拠点とした城
13	山県大弐の墓	石岡市根小屋 779 (管) 泰寧寺	昭 10. 11. 26	明和事件で処刑された大弐の墓
14	八幡塚	つくば市沼田 374- 1、374- 2 つくば市	昭 12. 3. 9 追昭 47. 12. 18	前方後円墳。葺石、埴輪を確認
15	笠原水道	水戸市千波町・笠原町・本町 1 丁目～本町 7 丁目・元吉田町 (管) 水戸市	昭 13. 3. 11	寛文 3 年 (1663) 完成。笠原不動谷から下市まで
16	大日山古墳	取手市岡 1179 (管) 取手市	昭 14. 2. 1	方墳 (東西 18m、南北 20m、高さ 3m)
17	藤原藤 房卿遺跡	土浦市藤沢 1797 (管) 土浦市	昭 14. 3. 6	藤原藤房が 2 年間ここに配流
18	馴馬城址	龍ヶ崎市馴馬町 個人	昭 14. 4. 5	南北朝時代。春日顕国が旗揚げ
19	久下田城址	筑西市樋口字城山 221 ほか 福聚寺ほか	昭 15. 9. 4	下館 6 代城主水谷正村が築城
20	台渡里廃寺址	水戸市渡里町字長者山 個人	昭 20. 7. 16	古代那賀郡衙の正倉と推測される
21	土浦市内西町 土浦城跡および櫓門	土浦市中央 1 丁目 土浦市	昭 27. 11. 18 昭 42. 7. 20 (名称変更)	水城。室町中期から江戸時代 (指定時は「土浦市内西町亀城公園及び亀城楼門」)。

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
22	丸山古墳	石岡市柿岡 4123 (管) 石岡市	昭 27. 12. 18	墳丘長約 56m の前方後方墳
23	ぼんてんやま 梵天山古墳群	常陸太田市島町 (管) 常陸太田市	昭 28. 7. 9	本県第 2 位の前方後円墳ほか、13 基の円墳と横穴群
24	ながつかたかし 長塚節生家	常総市国生 (管) 個人	昭 30. 6. 25	茅葺の主屋・書院
25	ほとけがはま 佛ヶ浜	日立市田尻町 4-39 (管) 日立市教育委員会	昭 30. 6. 25	海岸の石壁に観世音菩薩像を刻む
26	間宮林蔵の生家	つくばみらい市上平柳 64 (管) つくばみらい市	昭 30. 11. 25	茅葺
27	間宮林蔵の墓	つくばみらい市上平柳 (管) 個人	昭 30. 11. 25	樺太探検出発前に菩提寺に建立。
28	山寺水道	常陸太田市天神林 (管) 常陸太田市	昭 32. 6. 26	光圀が久昌寺まで導水。
29	石岡の一里塚	石岡市泉町 2108、12805 (管) 石岡市	昭 33. 3. 12	石岡の行里川にある一里塚。
30	水野越前守忠邦の墓	結城市山川新宿 1653-1 (管) 結城市教育委員会	昭 33. 3. 12	天保の改革を実施した老中の墓。
31	結城御朱印堀(附地図 2 帖・証文 1・由来帖 1)	結城市結城 (管) 結城市・個人	昭 33. 3. 12	戦国末期から江戸時代の堀跡。
32	五角堂と和時計	つくば市谷田部 1945 (管) つくば市	昭 33. 3. 12	からくり伊賀七による発明。
33	堀の内古窯跡群	桜川市大泉 (管) 個人	昭 35. 12. 21	須恵器・瓦等の窯跡。
34	熊沢蕃山の墓	古河市大堤 1030-1 (管) 鯉延寺	昭 36. 7. 21	熊沢蕃山は古河で禁固刑。
35	板谷波山生家	筑西市甲 864-6 ほか (管) 財団法人波山先生記念会	昭 40. 5. 21	木造。平屋、瓦葺。1760 年代の建造といわれる。部(平 20)
36	野口雨情生家	北茨城市磯原町磯原 (管) 個人	昭 42. 3. 30	明治 10 年。木造、2 階建、瓦葺。
37	水戸城跡(塁及び濠)	水戸市三の丸 (管) 茨城県・水戸市	昭 42. 11. 24	佐竹・徳川による築城。
38	助川海防城跡	日立市助川町 5-10-4 (管) 日立市教育委員会	昭 42. 11. 24	天保 7 年(1836)、斉昭が山野辺義観に命じて築城。天保 9 年完成。
39	泉が森	日立市水木町 1525 (管) 泉神社	昭 44. 12. 1	清泉。古代の庶民遊楽の地
40	くほら 旧久原本部	日立市宮田町 3585 (管) 日鉦記念館	昭 45. 9. 28	日立鉦山久原房之助が明治 38 年建設。
41	穴薬師古墳	五霞町川妻 (管) 個人	昭 46. 3. 29	古墳時代後期の円墳。石室が特異な構造をもつ。
42	鹿見塚古墳	潮来市大生 890-2 (管) 潮来市教育委員会	昭 46. 10. 28	大生古墳群中の主要古墳。
43	府中愛宕山古墳	石岡市北根本 694 ほか (管) 石岡市	昭 46. 12. 2	墳丘長約 90m の前方後円墳。
44	真壁氏累代墓地及び墓碑群 30 基	桜川市真壁町山尾 525-1 (管) 桜川市教育委員会	昭 46. 12. 2	遍照院墓域にある五輪塔群。
45	おおおう 大生古墳群	潮来市大生 890-1 ほか (管) 風土記の里保存会	昭 50. 3. 25	本県最大級の古墳群で約 100 基。

No.	名 称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備 考
46	太子古墳	かすみがうら市 ^{あんじき} 安食 個人	昭 52. 5. 2	石室に赤い塗料による壁画が残る。
47	千代田の一里塚	かすみがうら市西野寺 個人	昭 52. 5. 2	水戸街道稲吉と府中のある一里塚。
48	熊野古墳	かすみがうら市市川 個人	昭 52. 5. 2	墳丘長約 63m の前方後円墳。
49	^{こすげごうこう} 小菅郷校跡	常陸太田市小菅町 個人	昭 53. 1. 26	矢場、土塁、表門石垣が残る。
50	^{みなみこうや} 南高野貝塚	日立市南高野町 1-19 (管) 日立市教育委員会	昭 54. 3. 8	縄文時代中～晩期の貝塚。
51	^{さかさい} 逆井城跡	坂東市逆井 1234 (管) 坂東市	昭 60. 3. 25	戦国末期の後北条氏の有力支城か。
52	東城寺経塚群 12 基	土浦市東城寺 (管) 土浦市教育委員会	平 3. 1. 25	平安後期。経筒・経文など出土。
53	那珂湊反射炉跡（附那珂湊反射炉資料 25 点）	ひたちなか市栄町 1-10 ひたちなか市	平 16. 11. 25	安政年間。鉄製大砲鑄造の施設。
54	星神社古墳 1 基	常陸太田市小島町 個人	平 18. 11. 16	墳丘長 100m、県内最古級の前方後円墳。
55	富士見塚 1 号墳・2 号墳・3 号墳 3 基	かすみがうら市柏崎 1546-71、1555-3 1555-4、1555-15、1572-1 かすみがうら市	平 20. 11. 17	1 号墳：墳丘長約 80m の前方後円墳。 2 号墳：墳丘径約 25m の円墳。 3 号墳：墳丘径約 17m の円墳。
56	石神城跡	東海村大字石神内宿字本城 1244 他 53 筆 東海村	平 29. 12. 25	佐竹氏家臣の石神小野崎氏が在城。惣構えの中核。

カ 名勝

No.	名 称	所在地 及び 管理者	指定年月日	備 考
1	^{あゆみざき} 歩崎	かすみがうら市坂 921 かすみがうら市	昭 8. 10. 6	霞ヶ浦の土浦入りと高浜入りに挟まれた岬一帯。
2	広浦	茨城町下石崎 1651 茨城町	昭 9. 11. 30	涸沼に突き出た ^{こめず} 米洲岬。水戸八景「広浦秋月」の碑あり。
3	親沢	茨城町上石崎 4144-1 茨城町	昭 9. 11. 30	涸沼の親沢鼻をいう。岸より突き出た砂州。
4	袋田瀧	大子町袋田 大子町	昭 15. 3. 27	高さ 121m、幅 76m、4 段に落ちる ^{よどのたき} （四度瀧）。
5	花園溪谷「七ツ瀧」	北茨城市華川町花園 591 花園神社	昭 27. 12. 18	花園川が 7 段にわたって落瀑。

キ 天然記念物

No.	名 称 ・ 数 量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
1	鉾スギ 1 株	大子町下野宮 1626 近津神社	昭 6. 10. 13	避雷針（昭 59） 避雷針更新（平 12）
2	三浦杉 2 株	常陸大宮市小田野 172 吉田八幡神社	昭 6. 12. 4	

No.	名称・数量	所在地及び所有者	指定年月日	補助事業
3	くつかげ 沓掛ノ大樺 1株	坂東市沓掛 843-1 神明社	昭7.6.24	保存修理(昭62) 樹勢回復(平14~16)
4	やしろ 八代の大椎 1株	潮来市上戸 1558 神明神社	昭8.10.6	保存修理(平11)
5	金砂山ノ大柵 5株	ひたちなか市堀口1 金砂神社	昭10.12.27	
6	花園山石南群落	北茨城市華川町花園 587 ほか 花園神社	昭11.4.17	
7	鏡岩	常陸大宮市照山 1587 常陸大宮市	昭11.4.17	
8	球状花崗岩	石岡市吉生 2716 石岡市	昭12.2.5	
9	地蔵樺 1株	取手市下高井 1306 高源寺	昭14.3.6	樹勢回復(昭63) 保存修理(平8)
10	静のムクノキ 1株	那珂市静 455 那珂市	昭14.3.31	
11	佐久の大杉 1株	石岡市佐久 622 佐久区	昭16.3.31	樹勢回復(平10~12)
12	龍ヶ崎の垂枝桜 1株	龍ヶ崎市 3341 般若院	昭28.7.9	樹勢回復(平元)
13	真鍋の桜 5株	土浦市真鍋 4-3-1 土浦市	昭31.5.25	樹勢回復(平8~9)
14	亀城の椎 1株	土浦市中央1丁目 土浦市	昭31.5.25	
15	海鵜渡来地	日立市川尻町 2-7 日立市	昭31.5.25	
16	平磯白亜紀層	ひたちなか市平磯海岸 ひたちなか市	昭32.6.26	
17	おだか 小高の榎 1株	行方市小高 925 行方市	昭33.3.12	樹勢回復(平18~20)
18	出島の椎 1株	かすみがうら市下軽部 289 かすみがうら市	昭33.3.12	樹勢回復(平12~14)
19	花園の大杉 1株	北茨城市華川町花園 567 花園神社	昭35.12.21	
20	花園のコウヤマキ 2株	北茨城市華川町花園 567 花園神社	昭35.12.21	
21	波崎の大タブ 1株	神栖市波崎 3355 神善寺	昭35.12.21	保存修理(昭61)
22	無量寿寺のボダイジュ 1株	銚田市鳥栖 1013 無量寿寺	昭36.3.24	
23	お葉付イチョウ 1株	大洗町大貫町 802 西光院	昭37.2.26	自費環境整備(平14)
24	大穂のウメ 1株	つくば市吉沼 個人	昭37.8.27	
25	鹿島神宮樹叢	鹿嶋市宮中 2306-1 ほか 鹿島神宮	昭38.8.23	防虫(昭55)保護増殖・防災(平8~9)
26	下横場の大グミ 1株	つくば市高野台 3-6-1 つくば市	昭39.7.31	
27	西蓮寺の大イチョウ 2株	行方市西蓮寺 504 西蓮寺	昭39.7.31	
28	潮来の大ケヤキ 1株	潮来市潮来 1338-2 素鷲熊野神社	昭39.7.31	
29	大生神社の樹叢	潮来市大生 814 大生神社	昭39.7.31	保護増殖(平6)
30	お葉付イチョウ 1株	銚田市中居 685-1 照明院	昭42.3.30	樹勢回復(平13)
31	八重の藤 1株	笠間市笠間 39 笠間稲荷神社	昭42.11.24	
32	御岩山の三本スギ 1株	日立市入四間町 752 茨城森林管理署	昭43.9.26	
33	西金砂のイチョウ 1株	常陸太田市上宮河内町 1915 西金砂神社	昭44.3.20	保存修理(平15)
34	西金砂のサワラ 1株	常陸太田市上宮河内町 1915 西金砂神社	昭44.3.20	保存修理(平15)

No.	名称・数量	所在地及び所有者	指定年月日	補助事業
35	駒つなぎのイチョウ 1株	日立市大久保町2-2-11 鹿島神社	昭44.12.1	
36	香仙寺のシイ 1株	常陸太田市松栄町615 香仙寺	昭46.1.28	保存修理(平12)
37	若宮八幡宮のケヤキ 1株	常陸太田市宮本町2344 若宮八幡宮	昭46.12.2	保存修理(平8)
38	真弓神社の爺杉 1株	常陸太田市真弓町陣ヶ峰2766 真弓神社	昭46.12.2	
39	ウチワサボテン群生地	神栖市太田2070-8 神栖市教育委員会	昭47.12.18	
40	モチノキ 1株	常陸太田市天下野町9740 東金砂神社	昭47.12.18	保護管理(昭57)
41	大塚神社のスギ 1株	高萩市下君田1377 大塚神社	昭49.3.31	
42	大塚神社のモミ 1株	高萩市下君田1377 大塚神社	昭49.3.31	
43	不動院のカヤ 1株	那珂市菅谷3021 不動院	昭49.3.31	
44	菅谷のカヤ 1株	那珂市菅谷 個人	昭50.3.25	
45	菅谷のモチノキ 1株	那珂市菅谷 個人	昭50.3.25	
46	曙のグミ 1株	阿見町曙151-106 阿見町	昭52.7.18	
47	泉福寺のシダレザクラ 1株	常陸太田市大中町1265 泉福寺	昭52.7.18	
48	ボダイジュ 1株	古河市仁連126 東漸寺	平4.1.24	
49	イチイガシ 1株	古河市恩名 個人	平4.1.24	
50	椎尾山薬王院の樹叢	桜川市真壁町椎尾3196 薬王院	平6.1.26	
51	七反のシダレザクラ 1株	常陸太田市里川町484-6 常陸太田市	平7.1.23	
52	猿喰のケヤキ 1株	常陸太田市徳田町1744-2 徳田共有地管理委員会	平9.1.27	
53	鷲子山上神社のカヤ 1株	常陸大宮市鷲子3614-2 鷲子山上神社	平10.1.21	
54	松岩寺のヤマザクラ 1株	高萩市下君田1569 松岩寺	平11.1.25	支柱付替(平30)
55	稲田禅房のお薬付イチョウ 1株	笠間市稲田469 宗教法人西念寺	平12.11.27	
56	文武館跡のケヤキ 2株	大子町大字大子554 大子町	平14.12.25	
57	酒列磯前神社の樹叢 38,837㎡	ひたちなか市磯崎町4607-2 宗教法人酒列磯前神社	平17.11.25	参道整備(令元)
58	外大野のシダレザクラ 1株	大子町大字外大野 個人	平17.11.25	

(5) 国登録文化財一覧

ア 国登録有形文化財(建造物)

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	茨城県立水戸商業高等学校旧本館玄関	水戸市新荘3-7-2	茨城県	平成8年12月20日
2	水戸市水道低区配水塔	水戸市北見町126-14	水戸市	平成8年12月20日
3	祐月本店雛蔵	水戸市末広町2-2282-21	個人	平成27年11月17日
4	和田家住宅延年楼	水戸市自由が丘4610-29	個人	平成27年11月17日
5	笠間市立歴史民俗資料館(旧宍戸町役場庁舎)	笠間市平町29	笠間市	平成16年2月17日
6	富田家住宅主屋	笠間市大郷戸字内川378	笠間市	令和4年10月31日
7	大日堂	笠間市箱田字長町2210他	笠間市	令和7年11月17日
8	間宮家住宅主屋	常陸大宮市高部3991	個人	平成15年7月1日
9	旧岡山酒造養浩園喜雨亭	常陸大宮市高部字宿3970	個人	令和4年6月29日
10	島家住宅主屋	城里町上古内480-1	城里町	平成14年8月21日
11	武石家住宅主屋	大洗町磯浜町1107-1	個人	平成17年2月9日
12	幕末と明治の博物館別館	大洗町磯浜町字見付久保8231番地4	大洗町	平成17年2月9日
13	大貫家住宅主屋	大洗町磯浜町字道祖神脇1130-3	個人	平成18年3月2日
14	旧おかめ旅館本館	大洗町磯浜町2315-4他	個人	平成19年10月2日
15	照沼家住宅主屋	東海村大字照沼字寺沼23	個人	平成19年7月31日
16	旧上岡小学校第一棟	太子町上岡914他	太子町	平成26年12月19日
17	旧上岡小学校第二棟	〃	〃	〃
18	旧上岡小学校第三棟	〃	〃	〃
19	旧黒沢中学校本館	太子町上郷2604他	太子町	平成26年12月19日
20	旧黒沢中学校技術教室	〃	〃	〃
21	旧黒沢中学校調理室及び図書館	〃	〃	〃
22	旧黒沢中学校屋内運動場	〃	〃	〃
23	旧黒沢中学校音楽教室	〃	〃	〃
24	旧外池呉服店店舗	太子町大字太子字金町東側624・625合併	個人	平成28年2月25日
25	旧樋口病院入院棟	太子町大字太子字泉町北側705	個人	平成28年2月25日
26	太子カフェ店舗兼主屋	太子町大字太子字本町南側689	個人	平成28年2月25日
27	太子カフェ土蔵	太子町大字太子字本町南側687-2	〃	〃
28	旧太子銀行本店	太子町大字太子字金町西側642-2	個人	平成29年5月2日
29	旧初原小学校一号棟	太子町初原960	太子町	平成30年5月10日
30	旧初原小学校二号棟	〃	〃	〃
31	旧初原小学校講堂	〃	〃	〃
32	旧西金小学校校舎	太子町西金250	太子町	平成30年5月10日
33	旧西金小学校理科室及び音楽室	〃	〃	〃
34	旧西金小学校調理室	〃	〃	〃
35	旧浅川小学校一号棟	太子町浅川1253	太子町	平成30年5月10日
36	旧浅川小学校二号棟	〃	〃	〃
37	旧槇野地小学校校舎	太子町槇野地2469	太子町	平成30年5月10日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
38	旧共楽館（日立武道館）	日立市白銀町2-21-15	日立市	平成11年7月8日
39	梅津会館（旧太田町役場）	常陸太田市西二町2186	常陸太田市	平成11年8月23日
40	旧町屋変電所	常陸太田市西河内下町1382-1	常陸太田市	平成11年8月23日
41	央橋	常陸太田市春友町～町屋町	常陸太田市	平成15年9月19日
42	賀美発電所本館	常陸太田市上深荻町320	東京発電株式会社	平成16年11月8日
43	賀美発電所放水路及び余水路	常陸太田市上深荻町	〃	〃
44	賀美発電所取水所	常陸太田市小菅町	〃	〃
45	小里川発電所本館	常陸太田市徳田町1284-2	東京発電株式会社	平成16年11月8日
46	小里川発電所放水路	常陸太田市徳田町	〃	〃
47	小里川発電所余水路	〃	〃	〃
48	小里川発電所取水所	〃	〃	〃
49	徳田発電所本館	〃	〃	〃
50	徳田発電所放水路	〃	〃	〃
51	徳田発電所余水路	〃	〃	〃
52	徳田発電所取水所	〃	〃	〃
53	駿河屋宮田書店店舗兼主屋	常陸太田市内堀町2357	個人	平成26年10月7日
54	駿河屋宮田書店土蔵	〃	〃	〃
55	旧稲田家住宅赤煉瓦蔵	常陸太田市東一町2295-2	個人	平成26年10月7日
56	立川醤油店店舗及び主屋	常陸太田市西二町字西二西2177他	個人	令和3年2月26日
57	花貫川第一発電所第三号水路橋（めがね橋）	高萩市大字秋山板木2989	東京発電株式会社	平成11年11月18日
58	茨城大学五浦美術文化研究所岡倉天心旧居（研究室）	北茨城市大津町五浦727-2	国立大学法人茨城大学	平成15年7月1日
59	茨城大学五浦美術文化研究所長屋門（管理舎・陳列館）	〃	〃	〃
60	石岡第二発電所取水堰堤	北茨城市中郷町石岡	東京発電株式会社	平成18年3月2日
61	石岡第二発電所沈砂池	〃	〃	〃
62	石岡第二発電所余水路	〃	〃	〃
63	石岡第二発電所水槽	〃	〃	〃
64	石岡第二発電所鉄管路擁壁	〃	〃	〃
65	石岡第二発電所本館	北茨城市中郷町石岡69-1	〃	〃
66	一色家住宅主屋	土浦市西真鍋町1918-1	土浦市	平成13年8月28日
67	岩瀬家住宅主屋	土浦市小山崎字道知411-1他	個人	平成21年1月8日
68	岩瀬家住宅屋敷蔵	〃	〃	平成22年4月28日
69	岩瀬家住宅米蔵	〃	〃	〃
70	岩瀬家住宅味噌倉	〃	〃	〃
71	岩瀬家住宅表門	〃	〃	〃
72	岩瀬家住宅中ノ門	〃	〃	〃
73	岩瀬家住宅東門	〃	〃	〃
74	岩瀬家住宅塀	〃	〃	〃
75	旧大徳呉服店店蔵北棟	土浦市中央1-914-4	土浦市	平成28年8月1日
76	旧大徳呉服店店蔵南棟	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
77	旧大徳呉服店袖蔵	土浦市中央1-914-4	土浦市	平成28年8月1日
78	旧大徳呉服店元蔵	土浦市中央1-914-5	土浦市	平成28年8月1日
79	旧大徳呉服店向蔵	〃	〃	〃
80	旧野村さとう店店舗兼主屋	土浦市中央1-950・952合併	土浦市	平成28年8月1日
81	旧野村さとう店袖蔵	〃	〃	〃
82	旧野村さとう店文庫蔵	〃	〃	〃
83	旧野村さとう店煉瓦蔵	〃	〃	〃
84	土浦市民会館	土浦市東真鍋町1480-2	土浦市	令和6年3月6日
85	旧紫山塾主屋	土浦市真鍋5-2132	個人	令和7年3月13日
86	日本聖公会土浦聖バルナバ教会礼拝堂	土浦市中央1-6-イ-1	宗教法人日本聖公会 北関東教区	令和7年8月6日
87	きそば東京庵店舗兼住宅	石岡市国府3-3-16	個人	平成15年7月1日
88	福島屋砂糖店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-20	個人	平成15年7月1日
89	丁子屋店舗兼住宅	石岡市国府3-5-6	個人	平成15年7月1日
90	森戸文四郎商店店舗兼住宅	石岡市国府3-695-1	株式会社マエノ	平成15年9月19日
91	大和田家貸店舗	石岡市国府3-3-24	個人	平成15年9月19日
92	十七屋履物店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-22	個人	平成15年9月19日
93	平松理容店店舗兼住宅	石岡市府中2-7-20	個人	平成16年7月23日
94	久松商店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-21	個人	平成16年7月23日
95	府中誉主屋	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成16年7月23日
96	府中誉長屋門	〃	〃	〃
97	府中誉文庫蔵	〃	〃	〃
98	府中誉穀蔵	〃	〃	〃
99	すがや化粧品店店舗兼住宅	石岡市国府3-5-1	個人	平成17年11月10日
100	府中誉仕込蔵	石岡市国府5-9-32	府中誉株式会社	平成17年11月10日
101	府中誉釜場	〃	〃	〃
102	府中誉春屋	〃	〃	〃
103	大場家住宅主屋	石岡市佐久258-2	個人	平成17年12月26日
104	栗山呉服店店舗兼住宅	石岡市国府3-4-25	個人	平成18年3月2日
105	坂入家住宅主屋	石岡市辻字山下179	個人	平成22年4月28日
106	旧小野瀬家住宅店舗	龍ヶ崎市4252	有限会社東洋不動産	平成16年2月17日
107	旧小野瀬家住宅主屋	〃	〃	〃
108	旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀	龍ヶ崎市上町4274-1	龍ヶ崎市	平成30年5月10日
109	旧渡辺甚吉邸主屋	取手市寺田字原5270-8他	前田建設工業株式会社	令和5年2月27日
110	旧岡田小学校女化分校校舎	牛久市女化町391-1	牛久市	平成30年5月10日
111	宮本家住宅店蔵	つくば市北条188	個人	平成15年7月1日
112	宮本家住宅居室	〃	〃	〃
113	宮本家住宅離れ	〃	〃	〃
114	宮本家住宅炊事場	〃	〃	〃
115	宮本家住宅門	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
116	宮本家住宅炭・味噌小屋及び車庫	つくば市北条188	個人	平成15年7月1日
117	宮本家住宅新蔵	〃	〃	〃
118	宮本家住宅大蔵	〃	〃	〃
119	沼尻家住宅主屋	つくば市金田38-1	個人	平成17年7月12日
120	沼尻家住宅米蔵	〃	〃	〃
121	沼尻家住宅蔵	〃	〃	〃
122	沼尻家住宅長屋	〃	〃	〃
123	旧田村呉服店ミセ蔵兼主屋	つくば市北条字日向39-1	個人	平成27年11月17日
124	旧田村呉服店店蔵	〃	〃	〃
125	旧田村呉服店穀蔵及び浴室	〃	〃	〃
126	旧田村呉服店炊事場	〃	〃	〃
127	旧常陸北条郵便局	つくば市北条字中町裏183-3	個人	平成27年11月17日
128	旧根本家住宅主屋	つくば市吉瀬字清水1680	個人	平成27年11月17日
129	旧根本家住宅長屋門	〃	〃	〃
130	川田家住宅主屋	つくば市北条字古城97	個人	令和7年11月17日
131	川田家住宅炊事場及び風呂	〃	〃	〃
132	川田家住宅石塀及び板塀	〃	〃	〃
133	下邑家住宅主屋	つくば市栗原字台坪3470-2他	個人	令和8年2月10日
134	下邑家住宅米蔵	〃	〃	〃
135	下邑家住宅北蔵	〃	〃	〃
136	下邑家住宅南蔵	〃	〃	〃
137	下邑家住宅長屋門	〃	〃	〃
138	下邑家住宅外便所	〃	〃	〃
139	下邑家住宅塀	つくば市栗原字台坪3470-2	〃	〃
140	旧植竹庄兵衛家住宅洋館	稲敷市江戸崎字大日久保甲2354	個人	平成19年10月2日
141	旧植竹庄兵衛家住宅和館	〃	〃	〃
142	旧植竹庄兵衛家住宅土蔵	〃	〃	〃
143	小澤家住宅主屋	美浦村大字大谷字向1620	個人	平成21年1月8日
144	小澤家住宅米蔵	〃	〃	〃
145	小澤家住宅表門	〃	〃	〃
146	篆刻美術館表蔵棟（旧平野家表蔵棟）	古河市中央町2-4-18	古河市	平成10年10月9日
147	篆刻美術館裏蔵棟（旧平野家裏蔵棟）	〃	〃	〃
148	坂長本店店蔵	古河市中央町3-5742・5743他	古河市	平成12年9月26日
149	坂長本店袖蔵	〃	〃	〃
150	坂長本店主屋	〃	〃	〃
151	坂長本店文庫蔵	〃	〃	〃
152	坂長本店中蔵	〃	〃	〃
153	坂長本店石蔵	〃	〃	〃
154	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館	古河市雷電町1-78	亀屋商事株式会社	平成16年6月9日

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
155	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館土蔵	古河市雷電町1-78	亀屋商事株式会社	平成16年6月9日
156	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館旧食堂及び旧浴室	〃	〃	〃
157	亀屋商事（旧飯島家住宅）煉瓦倉庫	古河市東1-15-11	〃	〃
158	武蔵屋店舗	古河市横山町1-5535-2	株式会社武蔵屋	平成25年6月21日
159	荒川家住宅主屋	筑西市甲868	個人	平成11年8月23日
160	荒川家住宅店蔵	〃	〃	〃
161	荒川家住宅付属屋	〃	〃	〃
162	荒川家住宅内蔵	〃	〃	〃
163	荒川家住宅石蔵	〃	〃	〃
164	一木歯科医院	筑西市甲12	個人	平成11年8月23日
165	荒川家住宅主屋	筑西市字田町甲929-1他	個人	平成23年7月25日
166	荒川家住宅旧店舗	〃	〃	〃
167	荒川家住宅旧土蔵	〃	〃	〃
168	旧尾見家住宅主屋	筑西市村田字下町1624	個人	平成28年11月29日
169	旧尾見家住宅神輿蔵	〃	〃	〃
170	旧尾見家住宅薬医門	〃	〃	〃
171	江連用水旧溝宮裏両樋	下妻市本宗道	下妻市	平成27年3月26日
172	結城酒造株式会社煉瓦煙突	結城市大字結城1589	個人	平成12年4月28日
173	奥順見世蔵	結城市大字結城字大町9-2	個人	平成17年2月9日
174	奥順店舗	結城市大字結城字大町9-2, 12-2	〃	〃
175	奥順離れ	〃	〃	〃
176	奥順土蔵	結城市大字結城字大町9-2, 字西の宮町1336-2	〃	〃
177	結真紬見世蔵	結城市大字結城字大町68-1	個人	平成17年2月9日
178	結真紬主屋	〃	〃	〃
179	小西見世蔵	結城市大字結城字浦町114	個人	平成17年2月9日
180	赤荻本店見世蔵	結城市大字結城字浦町122	個人	平成17年2月9日
181	秋葉糝味噌醸造見世蔵	結城市大字結城字浦町174-1	個人	平成17年2月9日
182	鈴木紡績見世蔵	結城市大字結城字西の宮町1355	個人	平成17年2月9日
183	鈴木紡績主屋	〃	〃	〃
184	中澤商店見世蔵及び主屋	結城市大字結城字穀町1538	個人	平成17年2月9日
185	旧黒川米穀店店舗	結城市大字結城字西の宮町1319-2	個人	平成18年10月18日
186	キヌヤ薬舗店舗	結城市大字結城字大町9	個人	平成18年10月18日
187	奥順壺の蔵	結城市大字結城大町82	奥順株式会社	平成18年10月18日
188	小倉商店店舗兼主屋	結城市大字結城字浦町116	個人	平成20年3月7日
189	奥庄店舗兼主屋	結城市大字結城字大町24他	個人	平成21年1月8日
190	保坂家住宅主屋	結城市大字結城字浦町135他	個人	平成23年7月25日
191	保坂家住宅土蔵	〃	〃	〃
192	武勇見世蔵	結城市大字結城字浦町144	個人	平成23年7月25日
193	武勇脇蔵	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
194	武勇製品蔵	結城市大字結城字浦町144	個 人	平成23年7月25日
195	武勇仕込蔵	〃	〃	〃
196	武勇旧釜蔵	〃	〃	〃
197	武勇煙突	〃	〃	〃
198	鈴木新平商店見世蔵	結城市大字結城字浦町109-1	個 人	平成26年12月19日
199	鈴木新平商店文庫蔵	〃	〃	〃
200	鈴木新平商店座敷棟	〃	〃	〃
201	二水会館（旧水海道町役場）	常総市水海道天満町1606	常総市	平成9年12月12日
202	五木宗レンガ蔵	常総市水海道元町3421-1	個 人	平成12年4月28日
203	武道館（旧水海道小学校雨天体操場兼講堂）	常総市水海道栄町2680-1	常総市	平成15年7月1日
204	旧大塚酒造店舗兼主屋	坂東市岩井3351-2	坂東市	平成29年5月2日
205	旧大塚酒造本蔵	〃	〃	〃
206	潮田家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁189	個 人	平成11年11月18日
207	潮田家住宅袖蔵	〃	〃	〃
208	潮田家住宅脇蔵	〃	〃	〃
209	潮田家住宅別荘（離れ）	〃	〃	〃
210	谷口家住宅店舗	桜川市真壁町桜井373	個 人	平成12年4月28日
211	谷口家住宅北袖蔵	〃	〃	〃
212	谷口家住宅南袖蔵	〃	〃	〃
213	谷口家住宅門	〃	〃	〃
214	川島書店見世蔵	桜川市真壁町真壁335	個 人	平成12年10月18日
215	三輪家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁229	個 人	平成12年10月18日
216	三輪家住宅主屋	〃	〃	〃
217	木村家住宅（小田部生花店）見世蔵	桜川市真壁町真壁字高上町217-1	桜川市	平成12年10月18日
218	木村家住宅（小田部生花店）主屋	〃	〃	〃
219	旧真壁郵便局	桜川市真壁町真壁297	桜川市	平成12年10月18日
220	谷田部家住宅長屋門	桜川市真壁町古城198-1	個 人	平成12年10月18日
221	猪瀬家住宅薬医門	桜川市真壁町真壁1	個 人	平成12年10月18日
222	村井醸造脇蔵	桜川市真壁町真壁72	個 人	平成12年12月4日
223	村井醸造石蔵	桜川市真壁町真壁200-1	個 人	平成12年12月4日
224	塚本茶舗脇蔵	桜川市真壁町真壁213-1	個 人	平成12年12月4日
225	伊勢屋旅館主屋	桜川市真壁町真壁193	個 人	平成12年12月4日
226	伊勢屋旅館土蔵	〃	〃	〃
227	鈴木醸造長屋門	桜川市真壁町古城191	個 人	平成12年12月4日
228	西岡本店店舗	桜川市真壁町田6-1	個 人	平成13年8月28日
229	西岡本店脇蔵	〃	〃	〃
230	西岡本店米蔵	〃	〃	〃
231	小田部鑄造主屋	桜川市真壁町田45	個 人	平成13年8月28日
232	小田部鑄造北土蔵	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
233	小田部鑄造南土蔵	桜川市真壁町田45	個 人	平成13年 8 月28日
234	小田部鑄造門	〃	〃	〃
235	関根家住宅店舗	桜川市真壁町真壁390	個 人	平成14年 6 月25日
236	関根家住宅主屋	〃	〃	〃
237	中村家住宅主屋	桜川市真壁町真壁391-1	個 人	平成14年 6 月25日
238	中村家住宅文庫蔵	〃	〃	〃
239	中村家住宅薬医門及び塀	〃	〃	〃
240	橋本旅館主屋	桜川市真壁町真壁410	個 人	平成14年 6 月25日
241	橋本旅館土蔵	〃	〃	〃
242	入江家住宅主屋	桜川市真壁町真壁220	個 人	平成14年 8 月21日
243	高久家住宅店舗	桜川市真壁町真壁191	桜川市	平成14年 8 月21日
244	川島洋品店土蔵	桜川市真壁町真壁302	個 人	平成14年 8 月21日
245	星野家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁288	個 人	平成14年 8 月21日
246	木村家住宅門	桜川市真壁町真壁字高上町217- 1	桜川市	平成14年 8 月21日
247	市塚紀夫家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁236- 1	個 人	平成15年 7 月 1 日
248	土谷家住宅土蔵	桜川市真壁町真壁272- 1	個 人	平成15年 7 月 1 日
249	山中家住宅長屋門	桜川市真壁町真壁308	個 人	平成15年 7 月 1 日
250	山中家住宅土蔵	〃	〃	〃
251	中村家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁433	個 人	平成15年 7 月 1 日
252	中村家住宅主屋	〃	〃	〃
253	細谷家住宅主屋	桜川市真壁町飯塚44	個 人	平成15年 7 月 1 日
254	細谷家住宅長屋門	〃	〃	〃
255	市塚章一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚74	個 人	平成15年 7 月 1 日
256	市塚昌宏家住宅表門	桜川市真壁町飯塚85	個 人	平成15年 7 月 1 日
257	小林商店店舗	桜川市真壁町飯塚171- 2	個 人	平成15年 7 月 1 日
258	小林商店米蔵	〃	〃	〃
259	増淵家住宅店舗	桜川市真壁町真壁396	個 人	平成15年 9 月19日
260	増淵家住宅主屋	〃	〃	〃
261	増淵家住宅長屋門	〃	〃	〃
262	佐藤家住宅表門	桜川市真壁町真壁397	個 人	平成15年 9 月19日
263	市塚政一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚26	個 人	平成15年 9 月19日
264	桜井家住宅店舗	桜川市真壁町真壁409	個 人	平成16年 2 月17日
265	桜井家住宅主屋	〃	〃	〃
266	桜井家住宅西蔵	〃	〃	〃
267	桜井家住宅新蔵	〃	〃	〃
268	北岡家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町飯塚104	個 人	平成16年 2 月17日
269	大森家住宅主屋	桜川市真壁町桜井169- 1	個 人	平成16年 3 月 2 日
270	大森家住宅長屋門	〃	〃	〃
271	大森家住宅石蔵	〃	〃	〃

No.	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
272	密弘寺不動堂	桜川市真壁町真壁184	密弘寺	平成16年3月2日
273	西岡家住宅店舗	桜川市真壁町真壁56-1	個人	平成16年6月9日
274	西岡家住宅主屋	〃	〃	〃
275	西岡家住宅土蔵	〃	〃	〃
276	平井家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁264	個人	平成16年6月9日
277	平井家住宅土蔵	〃	〃	〃
278	旧樺穂小学校校舎	桜川市真壁町真壁351	個人	平成16年6月9日
279	塚本家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁60	個人	平成16年11月8日
280	塚本家住宅主屋	〃	〃	〃
281	塚本家住宅土蔵	〃	〃	〃
282	塚本家住宅門	〃	〃	〃
283	村井醸造店舗	桜川市真壁町真壁72	個人	平成16年11月8日
284	村井醸造煙突	〃	〃	〃
285	土生都家住宅主屋	桜川市真壁町真壁75-2	個人	平成16年11月8日
286	土生都家住宅門	〃	〃	〃
287	根本医院門	桜川市真壁町真壁202	個人	平成16年11月8日
288	鈴木家住宅表門	桜川市真壁町真壁34	個人	平成17年7月12日
289	村上家住宅主屋	桜川市真壁町真壁232	個人	平成17年7月12日
290	村上家住宅離れ	〃	〃	〃
291	村上家住宅土蔵	〃	〃	〃
292	村上家住宅表門	〃	〃	〃
293	出川家住宅主屋	桜川市真壁町真壁347	個人	平成17年7月12日
294	出川家住宅石蔵	〃	〃	〃
295	増淵宥市家住宅表門	桜川市真壁町真壁412	個人	平成17年7月12日
296	増淵宥市家住宅土蔵	〃	〃	〃
297	谷口義衛家住宅長屋門及び主屋	桜川市真壁町桜井1	個人	平成17年7月12日
298	谷口義衛家住宅土蔵	〃	〃	〃
299	谷口家住宅主屋	桜川市真壁町桜井373	個人	平成17年7月12日
300	谷口家住宅離れ	〃	〃	〃
301	谷口家住宅石蔵	〃	〃	〃
302	谷口家住宅奥蔵	〃	〃	〃
303	谷口家住宅穀蔵	〃	〃	〃
304	安達家住宅見世蔵及び主屋	桜川市真壁町真壁字新宿町424-1	個人	平成29年10月27日
305	安達家住宅座敷	〃	〃	〃
306	安達家住宅薬医門	〃	〃	〃
307	谷中家住宅主屋	結城郡八千代町大字坪井字内海道87-1	個人	令和4年6月29日

イ 国登録有形民俗文化財

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	常陸大宮及び周辺地域の和紙生産用具と製品	常陸大宮市	常陸大宮市	平成25年3月12日
2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具	大子町	大子町	平成26年2月24日

ウ 国登録記念物

	名 称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦	北茨城市大津町	国立大学法人茨城大学・国土交通省	平成26年3月18日
2	岡山氏庭園（養浩園）	常陸大宮市高部字宿3970	個人	令和4年11月10日

6 市町村別指定文化財数

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
水戸市	国	5		1	2				1	1				6	1	1	18
	県	6	14	9	25	4			4	3			3	3			71
笠間市	国	13	9	13	20		2	1	10	18	4		4	12		8	114
	県	3		4												1	8
ひたちなか市	国	2	2	10	3	3				1				1		2	24
	県	10	11	37	9	1	1	2	5	4		1	3	17		18	119
常陸大宮市	国													3			3
	県	1			5	1			4					1		3	15
那珂市	国	4			4				8	2	2	2	8	11	3	6	50
	県	1							1					1			2
常陸大宮市	国	10	5	21	8		1	4	6	6		4	9	14		17	105
	県	1							1					1			2
那珂市	国		3														4
	県	1	5	8	3	3				1				1		4	26
小美玉市	国	2	3	8	6	1		1	12	3			2	4		14	56
	県																0
茨城町	国	1	3	1	1	1											7
	県	6	3	11	4	3		2	2	3		1	6	15		9	65
茨城町	国			1										1		1	3
	県	1	1	2											2		6
大洗町	国	1		12	1			1	7			1	3	10		4	40
	県	1	2	6	5	2		1	1					1			1
大洗町	国	2	3	2				1							1	1	10
	県			2													2
城里町	国			3	2						1			2			8
	県	4	3	10	4	3					2	1	1	12	1	5	46
東海村	国																0
	県		1						2					1			4
東海村	国			6				4	6	1		4		4		7	32
	県														1		1
大子町	国			1									1		1	3	6
	県	2	1	4					1		2	2	1	4		6	23
日立市	国									1		1	1	1		1	5
	県	1	1	6	2	1			1	1		1	1	5		3	23
日立市	国	4	1	4	5	1			3	4		5	2	8	2	5	44
	県	2		2										2	1		7
常陸太田市	国	2	7	10	2	3							3	4		9	40
	県	5	12	11	16	2			9	4	1	2	2	12		18	94
高萩市	国	1								1						1	3
	県	1	1						1	1						3	6
高萩市	国		1	1	1			2	1	5			2	7		3	23
	県	1											1				2
北茨城市	国			3					1				1	1	1	3	10
	県	2	2	15					2				2	5		1	29
鹿嶋市	国	4			2									1		1	8
	県		1	4	9			1			1					1	17
鹿嶋市	国	14	7	10	2			4	9			1	3	11		3	64
	県				1												1
潮来市	国	7	3	5	5							1	4	2		3	30
	県	8	5	9	7	11		3	4	4		5	4	12		19	91
神栖市	国	1															1
	県			2												2	4
神栖市	国	1	3	9		1	2						5	1		2	24
	県	2															2
行方市	国	5		4	1			1								2	13
	県	11	1	23	2	1			2	2		1	7	6		16	72

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
鉾田市	国		1	1													2
	県	3	1	2		1										2	9
土浦市	国	11		11	1	1			4				1	5	1	18	53
	国	1	1	1	7				1					1			12
	県	3	4	9	14	3			4	1			3	3		2	46
石岡市	国	15	11	42	55	5		7	16	12		7	6	41	2	5	224
	国	1							1					6			8
	県	2	2	4	7	3		2	4	1		1	5	4		2	37
龍ヶ崎市	国	6	5	18	7	4		3	8	1		6	6	10	2	4	80
	国	1	1														2
	県	1			1				1				1	1		1	5
取手市	国	1							1								1
	国	3												2		1	6
	県	2		1	1									2			6
牛久市	国	1															1
	国	1		2	2												5
	県	1	4	3	7				2	2				8		2	29
つくば市	国	2			2									3			7
	国	8	5	2	7	2			1					2		2	29
	県	8	16	23	8				6				9	6		9	85
守谷市	国																0
	国			1													1
	県	1	2	4	3	1		5	1				1	2		3	23
稲敷市	国	2												1			3
	国	4	1	6	2	1		2				1		2			19
	県	5	9	26	6	1		6	3	2			6	7		1	72
かすみがうら市	国	1							1								2
	国	2	2	10	6				1					5	1	1	28
	県	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
つくばみらい市	国			1	1								1				3
	国	3		2									1	2			8
	県			6					1	1				1			9
美浦村	国													1			1
	県		1	10	7				1					4			22
阿見町	国																0
	県			2												1	3
河内町	国	1		4				1	2				2	7		4	21
	国																0
	県	6	2	21	2			1				1		3		4	40
利根町	国					1											1
	国												1				1
	県	4	8	7	3			1	2					6			31
古河市	国	1								1							2
	国	1	2	4	2					1			3	2		2	17
	県	6	11	13	6	2	2	29	10	15		10	3	25		7	139
結城市	国										1			1			2
	県		5	2	4	1		1			1		1	2			17
下妻市	国	13	5	17	7		1	7	7				5	27		1	90
	国	1												1			2
	県			5	2			1	1					1			10
常総市	国	2	3	3				5	3	1			4	5		4	30
	国	1															1
	県		4	2	1								1	1			9
筑西市	国	10	6	6	3	1			5		2		6	4		8	51
	国	1		1										4			6
	県	2	7	4	5				1				1	4			24
	国	21	15	21	12	3			10	2		6	4	19		6	119

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
坂東市	国		1														1
	県	3	2	5	3	1							2	1		1	18
	市	6	4	25					12	4			1			10	62
桜川市	国	1		1	1									2	1	1	7
	県	11	6	20	5	4		1	1	1				2		1	52
	市	12		27	1			1	7	6		2	3	4		7	70
八千代町	国																0
	県	1		2													3
	町	5	5	10	2	1		4	7					8			42
五霞町	国																0
	県				1									1			2
	町	1			1	5											7
境町	国																0
	県		1		1								1				3
	町		445	3	4	9	1	3	2			19	1	2			489
その他	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

市町村指定文化財数	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
	242	623	522	236	57	10	99	197	110	13	86	126	386	12	261	2980

(令和8年3月1日現在)

(注) *について

- ・国指定重要文化財（建造物）「石岡第一発電所施設」は、高萩市と北茨城市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「新治廃寺跡」は、桜川市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定史跡「大宝城跡」は、下妻市と筑西市にまたがる指定であるので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・県指定有形文化財（歴史資料）「訂正常陸国風土記版木」は、20枚のうち19枚が日立市に、20枚のうち1枚が水戸市に所在するので、それぞれの市の欄に重複して記載し、*を付した。
- ・国指定天然記念物「軍鶏（シャモ）」は、東京都・茨城県・秋田県・高知県・千葉県・青森県を主たる棲息地とするので、市町村名を「その他」として記載し、*を付した。

令和7年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧

<新規指定>

市町村名	種別	名称	数量	所在地	所有者	指定年月日
水戸市	歴史資料	妙徳寺棟札	2	水戸市加倉井町909番地 (妙徳寺)	宗教法人 妙徳寺	令和8年2月10日
水戸市	歴史資料	旧小生瀬宝泉寺厨子扉及び収納箱3点	一式	水戸市加倉井町909番地 (妙徳寺)	宗教法人 妙徳寺	令和8年2月10日
東海村	古文書	常州那賀郡船場村御検地帳	1	那珂郡東海村村松768番地38 (東海村歴史と未来の交流館)	個人	令和7年5月30日
行方市	無形民俗	大宮神社例大祭	1	行方市玉造字馬場乙751番地	大宮神社	令和7年8月12日
行方市	無形民俗	霞ヶ浦の帆引網漁の技術	1	行方市山田2564番地10	行方市帆引き船保存会	令和8年2月25日
土浦市	考古資料	上高津貝塚出土製塩土器	4	土浦市上高津1843番地 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場)	土浦市	令和7年3月28日
龍ヶ崎市	歴史資料	大刀・剣(桜山古墳)	1	龍ヶ崎市馴馬町2488番地	龍ヶ崎市	令和8年2月25日
牛久市	歴史資料	軍陣備之画図	1	牛久市栄町	個人	令和7年12月18日
牛久市	絵画	山口重政肖像画	1	牛久市栄町	個人	令和7年12月18日
つくば市	無形民俗	小田の祇園祭	1	つくば市小田	小田東部区八坂神社お囃子保存会	令和7年8月22日
守谷市	絵画	熊野観心十界曼荼羅	1	守谷市板戸井1910	雲光山華蔵院清瀧寺	令和7年5月26日
守谷市	工芸品	喚鐘	1	守谷市本町358	八幡山清浄院雲天寺	令和7年5月26日
守谷市	書跡	六字名号	1	守谷市本町358	八幡山清浄院雲天寺	令和7年5月26日
稲敷市	絵画	絹本著色 勝譽舊應像	1	稲敷市江戸崎甲2656番地	大念寺	令和8年1月28日
稲敷市	絵画	紙本著色 源譽慶巖像	1	稲敷市江戸崎甲2656番地	大念寺	令和8年1月28日
古河市	工芸品	刀大小及び刀装具(古河城主土井利位愛用佩刀及び刀装具一式)	一式	古河市中央町3丁目10番56号 (古河市歴史博物館)	古河市	令和8年1月9日
古河市	歴史資料	御座船図絵馬	1	古河市鴻巣	個人	令和8年1月9日

<指定解除>

	種別	名称	数量	所在地	所有者	解除年月日
ひたちなか市	天然記念物	高野のケヤキ	1	ひたちなか市高野	個人	令和7年10月28日
常陸大宮市	彫刻	木造 狛犬	1	常陸大宮市中富1087-14 (常陸大宮市歴史民俗資料館)	常陸大宮市	令和8年1月22日
稲敷市	彫刻	木造不動明王立像	1	稲敷市阿波961番地1	安穏寺	令和7年12月25日
下妻市	史跡	横瀬夜雨の生家	1	下妻市横根	個人	令和7年5月28日
常総市	無形	木版画	1	常総市新石下	個人	令和8年2月27日

7 令和7年度茨城県埋蔵文化財センター 事業概要

1 概 要

(1) 設置目的

茨城県埋蔵文化財センター「いせきびあ茨城」(以下「埋蔵文化財センター」という。)は、公益財団法人茨城県教育財団(以下「教育財団」という。)が発掘調査及び整理・研究を行った出土遺物等を収蔵・保管及び管理し、さらに活用して県民への埋蔵文化財の保護と普及啓発を行い、文化財保護行政を担う人材の育成を図る。

なお、埋蔵文化財センター内には、教育財団の整理センターが所在しており、国・県等の開発事業に係る発掘調査で得られた出土遺物等の整理・研究及び報告書刊行を行っている。

(2) 所在地

〒311-4325 茨城県東茨城郡城里町北方 1481 番地 (旧城里町立北方小学校敷地)

電話：029-289-3300 FAX：029-289-4545

(3) 利用時間

開館時間 9：00～17：00 (入館は16：30まで)

休館日 毎週土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末・年始(12/29～1/3)

2 令和7年度事業概要

(1) 遺物の保存・活用事業

ア 収蔵・保管状況(令和8年1月末現在)

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第405集	清水古墳群 神屋遺跡 神屋南遺跡	稲敷市	平成28年3月
第406集	高須賀堂ノ前遺跡 高須賀道城入遺跡	つくば市	平成28年3月
第407集	東田中遺跡 中津川遺跡2	石岡市	平成28年3月
第408集	並松遺跡2	城里町	平成28年3月
第409集	取手宿跡2	取手市	平成28年3月
第411集	仁江戸古墳群	八千代町	平成28年3月
第412集	宮後東原遺跡	筑西市	平成28年3月
第413集	明石遺跡2	つくば市	平成28年3月
第416集	埃倉遺跡 鐘打東遺跡 埃倉西遺跡	坂東市	平成29年3月
第420集	殿島遺跡	小美玉市	平成29年3月
第425集	東大橋逆井遺跡	石岡市	平成30年3月
第426集	清水原山遺跡	潮来市	平成30年3月
第427集	築地遺跡 宮原前遺跡2	常総市	平成30年3月
第428集	山王中坪遺跡	五霞町	平成30年3月
第429集	柴崎大堀遺跡 柴崎大日塚	つくば市	平成30年3月
第431集	島名熊の山遺跡(14区)	つくば市	平成30年3月
第432集	島名熊の山遺跡(13・14区)	つくば市	平成30年3月
第434集	東田中遺跡2	石岡市	平成31年3月
第435集	九重東岡廃寺 金田西遺跡	つくば市	平成31年3月
第436集	瑞龍遺跡	常陸太田市	平成31年3月
第437集	島名熊の山遺跡(12区 A・D区)	つくば市	平成31年3月
第438集	島名中代遺跡	つくば市	平成31年3月
第439集	島名前野東遺跡	つくば市	令和2年3月
第443集	金田西坪B遺跡	つくば市	令和2年3月
第445集	中道遺跡	大子町	令和2年3月
第446集	下河原崎高山古墳群2	つくば市	令和2年3月
第447集	与曾内遺跡	龍ヶ崎市	令和2年3月
第448集	熊ノ平古墳群 一本椎遺跡	銚田市 行方市	令和3年3月
第449集	金田西坪B遺跡2	つくば市	令和3年3月

報告書番号	報告書名	所在地	刊行年月
第450集	上境滝の台古墳群 上境作ノ内遺跡2 上境作ノ内古墳群	つくば市	令和3年3月
第451集	館野遺跡 並木新田台北遺跡	小美玉市	令和3年3月
第453集	大高台遺跡 北久保B遺跡	高萩市	令和3年3月
第454集	島名本田遺跡	つくば市	令和3年3月
第455集	米田水塚群第1号塚	取手市	令和3年3月
第456集	牛頭座南遺跡	阿見町	令和3年3月
第457集	中居指遺跡	下妻市	令和4年3月
第458集	姥久保遺跡2	かすみがうら市	令和4年3月
第459集	上境旭台貝塚5	つくば市	令和4年3月
第460集	金田西遺跡	つくば市	令和4年3月
第461集	船玉台遺跡	小美玉市	令和4年3月
第462集	塔ノ内南遺跡	筑西市	令和4年3月
第465集	中道遺跡 寺内遺跡 大城遺跡 舟塚古墳群	水戸市	令和5年3月
第466集	橋爪遺跡	笠間市	令和5年3月
第467集	下大賀遺跡3	那珂市	令和5年3月
第468集	島名本田遺跡2	つくば市	令和5年3月
第469集	元中北東藤四郎遺跡 上河原崎前山遺跡	つくば市	令和5年3月
第470集	中城遺跡 中城古墳群	行方市	令和6年3月
第471集	大堀遺跡	つくばみらい市	令和6年3月
第472集	向遺跡	茨城町	令和6年3月
第474集	向田遺跡	阿見町	令和6年3月
第475集	下大賀遺跡4	那珂市	令和7年3月
第476集	島名本田遺跡3	つくば市	令和7年3月
第477集	島名境松遺跡3	つくば市	令和7年3月
第478集	下河原崎谷中台遺跡3 下河原崎高山遺跡 下河原崎高山古墳群3	つくば市	令和7年3月
第479集	八反遺跡	日立市	令和7年3月
第480集	籠沼遺跡 籠場遺跡	常総市	令和7年3月
第481集	長丁遺跡 談義所遺跡	坂東市	令和7年3月

※遺物は発掘調査報告書ごとに収蔵・保管している。

※報告書番号のない遺跡の遺物は、遺跡所在市町村へ譲与済

イ 活用状況

○常設展示

茨城県内における旧石器時代から中・近世までの歴史の流れに沿った、発掘調査出土資料を展示した。

○整理完了遺跡速報展示

前年度に整理作業が終了した7遺跡について、パネルによる概要の解説と、特筆される代表的な出土資料を展示した。センター入口スペースに展示ケースを設置し、注目される代表的遺物を選んで展示を行った。

○わくわく体験教室の開催にともなう参考展示

埋蔵文化財センター主催のわくわく体験教室の中で、「勾玉ってなんだろう」(5月)・「縄文土器のひみつをさぐる」(10月)・「古代のガラスのなぞにせまる」(12月)の実施に当たっては、関連する遺物を参考資料として展示した。参加者の興味・関心を高めるとともに、体験活動への意欲付けや古代の人々の技術を知る手がかりとした。

ウ 所蔵資料の利活用

県内小中学校等を対象にした出前授業、各種イベントにおける展示、実物（縄文土器・弥生土器・石器・土偶）の観察や触れる体験活動のための教材として利活用した。

また、研究者・研究機関向けに、出土遺物を計測・分析のための学術的資料として貸し出した。

貸出資料：つくば市下河原崎谷中台遺跡出土品（石器）

エ 所蔵資料の貸出等

下記のイベント等に、所蔵資料を貸し出した。

- 取手市埋蔵文化財センター 第54回企画展「近世を掘るー地下からわかる取手宿ー」

会 期：令和7年2月18日～令和7年4月20日

貸出資料：取手市取手宿跡出土品、取手市米田水塚群出土品

- 土浦市上高津貝塚ふるさと歴史の広場 考古資料館 開館30周年記念・第28回企画展「文字が語るもの」

会 期：令和7年10月11日～令和7年11月30日

貸出資料：那珂市下大賀遺跡出土品

- 八千代町歴史民俗資料館 八千代町中央公民館 「八千代の秋まつり 歴史体験講座」

会 期：令和7年11月13日～令和7年12月10日

貸出資料：石岡市東田中遺跡出土品、石岡市中津川遺跡出土品、つくば市島名境松遺跡出土品

- その他、県内市町村教育委員会及び県内外個人研究者向けに、保管資料の閲覧について対応した。



研究者の資料閲覧



縄文土器焼成の様子

(2) 普及事業の実績

ア わくわく体験教室

開催日	テーマ	人	開催日	テーマ	人
5月18日	勾玉ってなんだろう	16	9月28日	縄文土器のひみつをさがろうⅠ	6
6月1日	古墳探検をしよう	21	10月5日	縄文土器のひみつをさがろうⅡ	10
7月27日	埴輪のなぞにせまる	23	12月14日	古代のガラスのなぞにせまる	11
8月24日	貝塚のひみつをさがろう	16	計		103

イ 出前授業・出前講座（令和8年1月末現在）

開催日	事業所名	人	開催日	事業所名	人
6月11日	常陸太田市立世矢小（6年）	28	10月6日	石岡市立児童センター	17
6月17日	つくば市立みどりの南小（6年）	91	10月7日	常陸太田市立金砂郷小	112
6月20日	笠間市立岩間第三小（6年）	31	10月12日	守谷市中央公民館	20
6月27日	東海村立中丸小（6年）	116	10月29日	常陸太田市立世矢小（3年親子）	52
7月8日	水戸市立石川小（6年）	81	11月9日	国営ひたち海浜公園 海・花そとあそび	中止
7月16日	八千代町立中結城小（6年）	50	11月18日	水戸市立千波小（6年親子）	112
7月23日	国営ひたち海浜公園	28	11月21日	茨城町立長岡小（4年親子）	78
7月24日	那珂市教育委員会	29	1月6日	水戸市ふれあいの館	38
7月28日	水戸市ふれあいの館	46	1月22日	大洗町立大洗南小（4～6年）	27
8月17日	国営ひたち海浜公園	28	1月23日	水戸市立見川中（1年）	202
9月7日	土浦一中地区公民館	25	計		1211

ウ 施設見学・体験活動（令和8年1月末現在）

○ 団体

開催日	事業所名	人	開催日	事業所名	人
6月4日	城里町立石塚小（6年）	63	7月31日	じょうしょう塾カネアゲ店	16
6月12日	那珂市立額田小（6年）	25	8月5日	キッズカレッジナカ	45
6月18日	(株) 国際交流サービス	27	8月7日	城里町教育委員会社会科教育研究部	20
6月19日	城里町立七会小（6年）	6	8月19日	じょうしょう塾カネアゲ店	16
6月25日	城里町立沢山小（6年）	11	8月22日	こども元気塾田彦店	20
7月10日	城里町立桂小（6年）	16	10月23日	J Aウォーキング企画	21
7月11日	常陸大宮市立小学校合同（6年） （美和小・緒川小・御前山小）	46	11月7日	退公連常陸大宮支部	12
			12月15日	城里町立常北小（6年）	19
7月30日	デイサービス サーラ	17	計		380

○ 個人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
人数	55	47	52	78	102	48	37	34	34	22	509

エ 広報活動

広報資料	主な配布対象等
わくわく体験教室ポスター	茨城県内の小中学校、教育文化施設ほか
施設パンフレット	
埋蔵文化財センターPRクリアファイル	来館者ほか
茨城県教育委員会ホームページ、Xでの事業実績掲載	インターネット、SNSによる情報提供

オ 城里町との連携事業

- 8月3日 いきいき城里「勾玉づくり教室」講師派遣、会場提供 20人
- 10月26日 「ホロルのたまご～しろさと町民まつり～」へブース出展 利用者163人
- 1月25日 城里町、教育財団と城里町文化財散策を共催 20人



出前授業 埴輪づくりの様子



城里町文化財散策の様子

8 令和6年度茨城県遺跡発掘調査報告



関本中粟野城跡 全景（北茨城市） [提供（公財）茨城県教育財団]



中道南遺跡 塔鏡形合子蓋出土状況（土浦市） [提供（公財）茨城県教育財団]



寺ノ上遺跡 古代道路跡（大洗町） [提供 大洗町教育委員会]



小河城跡 遺構確認状況（小美玉市） [提供 小美玉市教育委員会]

1 発掘調査の概要

本報告は、令和6年度に実施された発掘調査（保存目的調査、範囲確認調査及び学術調査）76件について、市町村文化財主管課及び（公財）茨城県教育財団等の調査担当者から提供された原稿をもとにまとめたものである。以下、注目される発掘調査について概観する。

旧石器時代：63 谷田部台成井遺跡（つくば市）では、調査区全体で旧石器時代の遺物集中が確認された。出土総数は2千点以上にも及び、径1～2cmの小型礫や削器、石核、剥片等がみられる。また、**75** 小金井古墳群（境町）では、調査区から石器集中地点が確認された。

縄文時代：65 谷田部陣場西遺跡（つくば市）は大規模な縄文時代の集落跡であり、中央の広場を取り囲むように多数の竪穴建物跡や土坑群が環状に確認された。特に、翡翠製の大型大珠が楕円形の土坑から出土しており、墓域の可能性が考えられる。**41** 小牧石堂遺跡（行方市）では、中期中葉から後葉にかけての竪穴建物跡2棟、土坑73基が確認された。また、西部斜面部には貝層や地点貝塚、袋状土坑がまとまってみられた。

弥生時代：弥生時代の遺物及び遺構が確認されたのは、**2** 北屋敷遺跡（水戸市）、**59** 平沢官衙遺跡（つくば市）、**73** 辰海道遺跡（桜川市）等がある。

古墳時代：30 梵天山古墳（常陸太田市）では墳丘確認調査が実施され、後円部における葺石や、墳裾における凝灰質泥岩の特徴的な貼り付け、地山削り出しによる整形の状況等が明らかになった。**35** 須賀古墳群（鹿嶋市）中の須賀1号墳では、微地形測量と発掘調査の結果、周溝を含めた全長が約25m、高さ約2m、周溝幅約4m、深さ1mであることが確認された。さらに、古墳群の北側周辺には奈良・平安時代の土壌墓や火葬墓が確認され、後世においても墓域として土地利用されていたことがうかがえる。

奈良・平安時代：24 寺ノ上遺跡（大洗町）では、芯々間約7.25mの幅を持つ平安時代前期の道路跡1条が確認された。水上交通の要地である北側の平津と、南の鹿島郡を南北に結ぶ古代道路跡の発見は貴重な事例である。**68** 根方遺跡・諏訪寺院跡（阿見町）では、寺院跡に係る建物跡等が確認され、軒方向や瓦の出土状況から少なくとも3時期の変遷が想定される。**70** 結城廃寺跡（結城市）では、寺院の区画溝跡の調査により、出土遺物から廃絶年代に関する成果が得られた。**45** 中道南遺跡（土浦市）の調査では、平安時代の竪穴建物跡内から全国的にも出土例が稀な銅製塔鉢形合子の蓋が出土した。

中・近世：22 小河城跡（小美玉市）から出土した「妙喜」の墨書がある小皿は、城主園部氏の菩提寺である妙喜寺との関連がうかがえる。**66** 神宮寺城跡（稲敷市）では、主郭西辺においては西から入り込む谷津を利用しながら、南北方向に堀を構築することで主郭を区画・遮断したことが判明した。**32** 関本中栗野城跡（北茨城市）では、丘陵の高低差を利用して階段状に曲輪が配置された状況が判明し、中央部の第1・2号曲輪跡からは投石用の集石を確認されている。

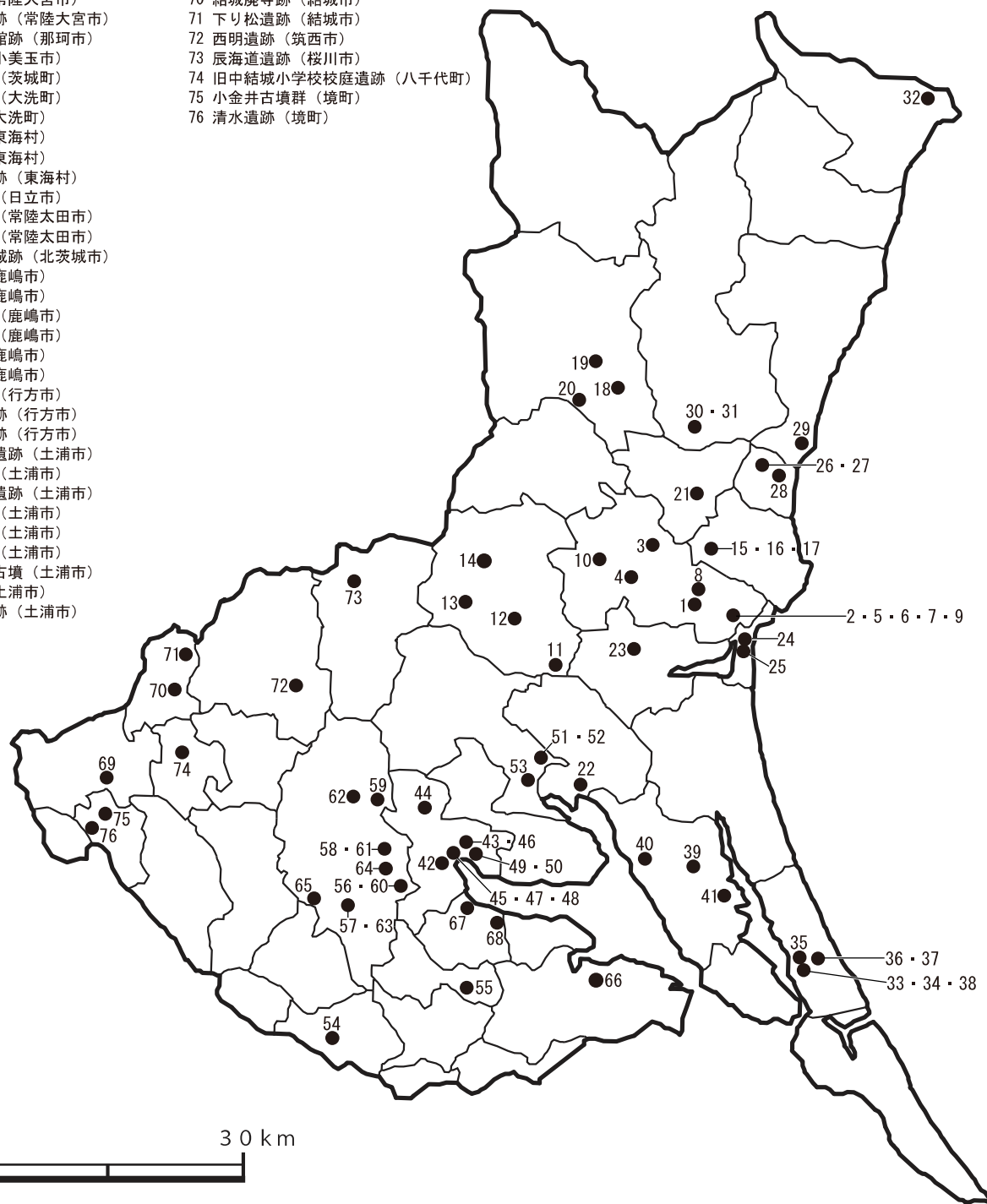
2 発掘調査遺跡の主な種別と時代

市町村名	番号	遺跡名	種別	主な時代								
				旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	近現代	
水戸市	1	宿前遺跡（第11地点第3次）	集落跡					●			●	
	2	北屋敷遺跡（第4地点第6次）	集落跡			●	●					
	3	台渡里官衙遺跡 台渡里廃寺跡（台渡里233次）	官衙跡 寺社跡					● ●			● ●	
	4	河和田城跡（第47地点第2次）	集落跡								●	
	5	東前原遺跡（第3地点第10次）	集落跡					●				
	6	大串遺跡（第20地点第3次）	集落跡				●					
	7	東前原遺跡（第3地点第12次）	集落跡					●			●	

市町村名	番号	遺 跡 名	種 別	主 な 時 代								
				旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	近現代	
水戸市	8	大鋸町遺跡 (第46地点第3次)	集落跡								●	
	9	東前原遺跡 (第3地点第13次)	集落跡				●	●			●	
	10	大城遺跡 (第20地点第2次)	集落跡				●	●			●	
笠間市	11	安居五万堀遺跡	包蔵地					●				
	12	橋爪遺跡 (2023-01地点)	集落跡		●		●					
	13	久保台遺跡	集落跡				●	●				
	14	石井遺跡群 (2024-02地点)	集落跡					●				
ひたちなか市	15	市毛下坪遺跡 (第26次)	集落跡					●				
	16	向坪遺跡 (第10次)	集落跡				●					
	17	市毛遺跡 (第11次)	集落跡					●			●	
常陸大宮市	18	石沢台遺跡 (第5次)	集落跡					●				
	19	待合遺跡	集落跡		●			●				
	20	小野中道遺跡	集落跡		●	●	●	●				
那珂市	21	宮田掃部助館跡 (第3次)	城館跡							●	●	
小美玉市	22	小河城跡	城館跡							●		
茨城町	23	小鶴西遺跡	集落跡		●	●	●	●	●			
大洗町	24	寺ノ上遺跡 (第8次)	道路跡					●				
	25	飛城遺跡 (第2次)	集落跡		●			●	●			
東海村	26	石神城跡 (第3次)	城館跡							●		
	27	広野遺跡 (第9次)	集落跡		●	●	●	●				
	28	豊岡宮前遺跡 (第6次)	集落跡				●					
日立市	29	古房地遺跡	集落跡				●	●				
常陸太田市	30	梵天山古墳 (第2次)	古墳				●					
	31	星神社古墳	古墳				●					
北茨城市	32	関本中栗野城跡	城館跡							●		
鹿嶋市	33	塚原館跡	城館跡							●		
	34	梶内遺跡	包蔵地		●		●	●				
	35	須賀古墳群	古墳				●					
	36	沼尾原遺跡	集落跡		●							
	37	後谷遺跡	包蔵地		●	●	●	●				
	38	大門遺跡	包蔵地		●	●	●	●	●			
行方市	39	大峰古墳群	古墳				●					
	40	手賀升形遺跡	交通遺跡 ^カ	時 期 不 明								
	41	小牧石堂遺跡	集落跡		●		●	●	●			

市町村名	番号	遺 跡 名	種 別	主 な 時 代								
				旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	近現代	
土 浦 市	42	中高津西原遺跡 (第3次)	集落跡		●		●					
	43	前神田遺跡 (第4次)	集落跡		●			●		●		
	44	本郷上人塚遺跡	集落跡				●					
	45	中道南遺跡	集落跡				●	●				
	46	前神田遺跡 (第5次)	集落跡		●			●				
	47	八幡台遺跡	集落跡				●	●				
	48	常名天神山古墳 (第2次)	古 墳				●					
	49	金澤遺跡 (第2次)	集落跡				●					
	50	下井戸上遺跡	集落跡							●		
石 岡 市	51	東成井東原遺跡	集落跡				●	●	●			
	52	東成井鎌田遺跡	包蔵地		●		●					
	53	府中城跡	城館跡					●	●			
取 手 市	54	西光寺前遺跡	包蔵地		●							
牛 久 市	55	鳳原遺跡	集落跡				●	●				
つくば市	56	大角豆遺跡 (第23次)	集落跡		●		●	●	●	●		
	57	谷田部台成井遺跡 (第3次)	集落跡・包蔵地		●							
	58	花室寺畑廃寺 (第1次)	寺院跡		●		●	●	●	●		
	59	平沢官衙遺跡 (第3期第4次)	官衙跡		●	●	●	●	●	●		
	60	大角豆遺跡 (第24次)	集落跡		●		●	●	●	●		
	61	花室城跡 (第5次)	城館跡		●	●	●	●	●	●		
	62	大曾根城跡 (第5次)	城館跡		●		●	●	●	●		
	63	谷田部台成井遺跡 (第2次)	包蔵地	●	●		●	●	●	●		
	64	上ノ室ハマイバ遺跡 (第17次)	集落跡		●		●	●	●	●		
65	谷田部陣場西遺跡	集落跡		●		●						
稲 敷 市	66	神宮寺城跡	城館跡				●	●	●	●		
阿 見 町	67	阿見東遺跡	集落跡				●	●	●	●		
	68	根方遺跡・諏訪寺院跡	集落跡・寺社跡		●		●	●	●	●		
古 河 市	69	東の門西の門城跡 (第7次)	集落跡・城館跡			●	●	●	●			
結 城 市	70	結城廃寺跡 (第11次)	寺社跡					●	●			
	71	下り松遺跡	集落跡						●			
筑 西 市	72	西明遺跡	集落跡		●		●		●			
桜 川 市	73	辰海道遺跡	集落跡・墳墓			●	●	●	●			
八 千 代 町	74	旧中結城小学校校庭遺跡 (第3次)	集落跡		●		●	●	●			
境 町	75	小金井古墳群	集落跡・墳墓	●	●		●					
	76	清水遺跡	集落跡		●		●	●				

- 1 宿前遺跡 (水戸市)
- 2 北屋敷遺跡 (水戸市)
- 3 台渡里官衙遺跡 (水戸市)
- 4 台渡里廃寺跡 (水戸市)
- 5 河和田城跡 (水戸市)
- 6 東前原遺跡 (水戸市)
- 7 大串遺跡 (水戸市)
- 8 東前原遺跡 (水戸市)
- 9 大鋸町遺跡 (水戸市)
- 10 東前原遺跡 (水戸市)
- 11 大城遺跡 (水戸市)
- 12 安居五万堀遺跡 (笠間市)
- 13 橋爪遺跡 (笠間市)
- 14 久保台遺跡 (笠間市)
- 15 石井遺跡群 (笠間市)
- 16 市毛下坪遺跡 (ひたちなか市)
- 17 向坪遺跡 (ひたちなか市)
- 18 市毛遺跡 (ひたちなか市)
- 19 石沢台遺跡 (常陸大宮市)
- 20 待合遺跡 (常陸大宮市)
- 21 小野中道遺跡 (常陸大宮市)
- 22 宮田掃部助館跡 (那珂市)
- 23 小河城跡 (小美玉市)
- 24 小鶴西遺跡 (茨城町)
- 25 寺ノ上遺跡 (大洗町)
- 26 飛城遺跡 (大洗町)
- 27 石神城跡 (東海村)
- 28 広野遺跡 (東海村)
- 29 豊岡宮前遺跡 (東海村)
- 30 古房地遺跡 (日立市)
- 31 梵天山古墳 (常陸太田市)
- 32 星神社古墳 (常陸太田市)
- 33 関本中粟野城跡 (北茨城市)
- 34 塚原館跡 (鹿嶋市)
- 35 梶内遺跡 (鹿嶋市)
- 36 須賀古墳群 (鹿嶋市)
- 37 沼尾原遺跡 (鹿嶋市)
- 38 後谷遺跡 (鹿嶋市)
- 39 大門遺跡 (鹿嶋市)
- 40 大峰古墳群 (行方市)
- 41 手賀升形遺跡 (行方市)
- 42 小牧石堂遺跡 (行方市)
- 43 中高津西原遺跡 (土浦市)
- 44 前神田遺跡 (土浦市)
- 45 本郷上人塚遺跡 (土浦市)
- 46 中道南遺跡 (土浦市)
- 47 前神田遺跡 (土浦市)
- 48 八幡台遺跡 (土浦市)
- 49 常名天神山古墳 (土浦市)
- 50 金澤遺跡 (土浦市)
- 51 下井戸上遺跡 (土浦市)
- 52 東成井東原遺跡 (石岡市)
- 53 東成井鎌田遺跡 (石岡市)
- 54 府中城跡 (石岡市)
- 55 西光寺前遺跡 (取手市)
- 56 鳳原遺跡 (牛久市)
- 57 大角豆遺跡 (つくば市)
- 58 谷田部台成井遺跡 (つくば市)
- 59 花室寺畑廃寺 (つくば市)
- 60 平沢官衙遺跡 (つくば市)
- 61 大角豆遺跡 (つくば市)
- 62 花室城跡 (つくば市)
- 63 大曾根城跡 (つくば市)
- 64 谷田部台成井遺跡 (つくば市)
- 65 上ノ室ハマイバ遺跡 (つくば市)
- 66 谷田部陣馬西遺跡 (つくば市)
- 67 神宮寺城跡 (稲敷市)
- 68 阿見東遺跡 (阿見町)
- 69 根方遺跡・諏訪寺院跡 (阿見町)
- 70 東の門西の門城跡 (古河市)
- 71 結城廃寺跡 (結城市)
- 72 下り松遺跡 (結城市)
- 73 西明遺跡 (筑西市)
- 74 辰海道遺跡 (桜川市)
- 75 旧中結城小学校校庭遺跡 (八千代町)
- 76 小金井古墳群 (境町)
- 77 清水遺跡 (境町)



令和6年度 発掘調査遺跡分布図

1	<small>しゆくまえいせき</small> 宿前遺跡 (第11地点第3次)	08201303	(奈良・平安時代、近世 / 集落跡)
所在地	水戸市酒門町字上千束 1715 番 2 ほか	調査概要	
調査原因	宅地造成		那珂川水系石川川左岸(北岸)の、標高約 27m の台地上に立地する。竪穴建物跡は、10 世紀前半及びそれ以前もの、2 棟を重複して検出した。古代の火葬墓では、その中央部から高さ約 30cm の灰釉陶器が出土し、埋葬時の状況を知るうえで大きな成果となった。近世の掘立柱建物跡 3 棟のうち、1 棟は 17 基以上のピットで構成されている。他の 2 棟はピット 4 基で構成されるほか、いずれも中央部に土坑を伴っている。
調査年月日	令和 6 年 3 月 12 日～4 月 2 日		
調査面積	176 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
調査支援	株式会社ラクロ		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
2	<small>きたのやしきいせき</small> 北屋敷遺跡 (第4地点第6次)	08201248	(弥生時代、古墳時代 / 集落跡)
所在地	水戸市大串町字北ノ屋敷 735 番 27 ほか	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		那珂川右岸(南岸)の標高約 16m の台地上に立地する。狭小な調査面積の全てが竪穴建物跡の覆土に該当しており、最終的に認定した建物跡は 4 棟である。また、これらに付帯すると考えられる遺構として、炉跡 2 基、ピット 3 基等も検出した。出土遺物は弥生土器(十王台式)や土師器(五領式)が主体であることから、建物群は概ね弥生時代後期から古墳時代前期に帰属するものとみられる。
調査年月日	令和 6 年 4 月 10 日～4 月 12 日		
調査面積	6.75 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
3	<small>だいわたりかんがいせき</small> 台渡里官衙遺跡 <small>だいわたりはいじあと</small> 台渡里廃寺跡 (台渡里第 233 次)	08201276 08201098	(奈良・平安時代、近世 / 官衙跡) (奈良・平安時代、近世 / 寺社跡)
所在地	水戸市渡里町 2888-16 番地ほか	調査概要	
調査原因	道路整備工事		那珂川右岸(南岸)の標高約 30m の台地上に立地する。古代の竪穴建物跡を 3 棟検出し、出土遺物から、調査地周辺では 10 世紀頃に集落が形成されることが判明した。古代の溝跡は、過年度に実施した第 17・26・179 次調査で検出したものの延長であると考えられ、国指定史跡台渡里官衙遺跡群に関連する重要な遺構であると言える。またこの他、古代の土坑 1 基及びピット 7 基、並びに近世の溝跡 2 条も検出した。
調査年月日	令和 6 年 4 月 15 日～4 月 23 日		
調査面積	54.9 m ² (22.9 m ² , 32 m ²)		
調査主体	水戸市教育委員会		
調査支援	株式会社日本窯業史研究所		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
4	<small>かわわ だじょうあと</small> 河和田城跡 (第47地点第2次)	08201102	(近世 / 集落跡)
所在地	水戸市河和田町字高野坪 841 番 1	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		那珂川水系桜川右岸(南岸)の標高約 28m の低台地上に立地する。検出した遺構は溝状の植栽列等である。調査地は遺跡の北縁部に当たり、中世城館である河和田城に直接関連する遺構群の展開は確認されなかった。一方で縄文土器、土師器、土師質土器、陶器といった様々な時代の遺物が出土したことから、周辺では長期にわたる土地利用があったことが想定される。
調査年月日	令和 6 年 5 月 14 日～6 月 6 日		
調査面積	180 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		

5	<small>とうまえはらいせき</small> 東前原遺跡 (第3地点第10次)	08201259	(奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	水戸市東前第二土地区画整理事業 82 街区 3 画地	調査概要	
調査原因	個人住宅建築	那珂川右岸(南岸)の標高約 18m の台地上に立地する。検出した遺構は堅穴建物跡 1 棟である。当該遺構は大部分が後世のかく乱を受け、その残存率は 25% 程度であったが、かく乱の下位に主柱穴 3 基及びカマドの掘り込みが残存していたことから、北辺にカマドを有する 4.6m 四方の規模であったことが復元された。また出土遺物から、建物跡は 8 世紀中頃に帰属するものと考えられる。	
調査年月日	令和 6 年 8 月 21 日～8 月 23 日		
調査面積	27.5 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		

6	<small>おおくしいせき</small> 大串遺跡 (第20地点第3次)	08201176	(古墳時代 / 集落跡)
所在地	水戸市塩崎町字原 1091 番 2	調査概要	
調査原因	個人住宅建築	那珂川右岸(南岸)かつ潤沼川左岸(北岸)の東方にこれら 2 河川の合流点を望む、標高約 18m の台地上に立地する。検出した遺構は古墳時代前期の堅穴建物跡 1 棟であり、覆土中には当該期の土師器片及び弥生土器片(十王台式)を包含する。床面は全体的に硬化しており、覆土中にも若干の焼土ブロックの混入が見られた。	
調査年月日	令和 6 年 11 月 22 日～11 月 27 日		
調査面積	10.15 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		

7	<small>とうまえはらいせき</small> 東前原遺跡 (第3地点第12次)	08201259	(奈良・平安時代、近世 / 集落跡)
所在地	水戸市東前第二土地区画整理事業 82 街区 4 画地	調査概要	
調査原因	個人住宅建築	那珂川右岸(南岸)の標高約 18m の台地上に立地する。堅穴建物跡は、8 世紀後半から 10 世紀後半に帰属する 5 棟を検出し、調査地周辺で長期にわたり、集落が展開したことを確認した。また、同じく古代に帰属する円筒形の土坑 3 基も検出したが機能は不明である。この他にも、幅 1m を超える断面逆台形の近世の溝跡や、遺構には伴わないものの縄文時代早期・中期、弥生時代後期の土器片も確認されている。	
調査年月日	令和 6 年 10 月 16 日～12 月 13 日		
調査面積	177 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		

8	<small>おがまちいせき</small> 大鋸町遺跡 (第46地点第3次)	08201011	(近世 / 集落跡)
所在地	水戸市元台町 1510 番 1	調査概要	
調査原因	個人住宅建築	那珂川水系桜川右岸(南岸)の標高約 29m の台地上に立地し、調査地西部は旧・水戸道中に面する。検出した遺構は、井戸跡 6 基、溝跡 1 条、ピット 26 基、土坑 19 基及び植栽痕 13 基である。井戸跡は直径 2.5m の漏斗形に開口する 1 基を除いて円筒形であり、いずれも素掘りである。大型の廃棄土坑では、陶磁器や椀形鍛冶滓が大量に出土した。円礫の集積は複数確認され、これらは水戸道中に面した町家の柱位置を示すものとみられる。	
調査年月日	令和 6 年 7 月 23 日～9 月 27 日		
調査面積	96 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		

9	<small>とうまえはらいせき</small> 東前原遺跡 (第3地点第13次)	08201259	(古墳時代、奈良・平安時代、近世 / 集落跡)
所在地	水戸市東前原町 1106 番 4	調査概要	
調査原因	土地区画整理事業	那珂川右岸(南岸)の標高約18mの台地上に立地する。竪穴建物跡は、古墳時代の1棟、時期不明の1棟の他、8世紀後葉から10世紀にかけての12棟を検出した。古代の集落を構成する建物跡群の年代は、周辺における既往の調査結果とも整合する。その他古代の遺構としては、溝跡1条、ピット13基及び土坑22基がある。さらに、近世の井戸跡1基も検出された。	
調査年月日	令和6年12月10日～12月17日		
調査面積	420 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
調査支援	株式会社日本窯業史研究所		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

10	<small>おおしろいせき</small> 大城遺跡 (第20地点第2次)	08305072	(古墳時代、奈良・平安時代、近世 / 集落跡)
所在地	水戸市大足町字西木戸 900 番 7 ほか	調査概要	
調査原因	個人住宅建築	那珂川水系桜川左岸(東岸)の標高約40mの台地上に立地する。竪穴建物跡は3棟を検出し、それぞれ古墳時代前期、8世紀後半及び9世紀後半に位置づけられる。特に8世紀後半の建物跡は6m四方の大規模な遺構であり、主柱穴4基を伴う。また、近世の土葬墓も2基検出した。いずれの墓も、規模は異なるが上下2段の構造で作られており、下段に当たる墓坑に正方形木棺を安置したものと考えられる。いずれの墓坑からも、六道銭、漆椀、木片及び白歯・犬歯の歯冠部が出土した。	
調査年月日	令和6年12月24日～令和7年2月20日		
調査面積	77.5 m ²		
調査主体	水戸市教育委員会		
資料保管	水戸市教育委員会		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

11	<small>あごごまんぼりいせき</small> 安居五万堀遺跡	08322172	(奈良・平安時代 / 包蔵地)
所在地	笠間市安居 3038-7 ほか	調査概要	
調査原因	道路改良工事	岩間インター東側の山林内の直線道路に位置する。今般の調査では、側溝で区画される道路状遺構3面、溝状遺構10条、時期不明のピット26基が確認された。第1次調査で確認された道路状遺構の南側・東側の一部の分布状況が確認された。南側では、湿地帯にローム土で盛土して道路として使用しており、直線を強く意識している。古代東海道と思われる道路の築造を理解するうえで、大きな成果となった。	
調査年月日	令和6年1月9日～6月19日		
調査面積	2,090 m ²		
調査主体	笠間市教育委員会		
調査支援	株式会社ラクロ		
資料保管	笠間市教育委員会		
報告書名	『安居五万堀遺跡2-道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一』 令和6年9月 笠間市教育委員会		

12	<small>はしづめいせき</small> 橋爪遺跡 (2023-01 地点)	08321046	(縄文時代、古墳時代 / 集落跡)
所在地	笠間市橋爪字井ノ上 886 番 1	調査概要	
調査原因	個人住宅建築	潤沼川の北岸、常磐線沿いの台地に立地する。今回の調査では、古墳時代の竪穴建物跡1棟、土坑80基(縄文時代73、不明7)、ピット28基(縄文時代25、不明3)、時期不明の溝跡2条が確認された。縄文時代中期に特徴的な袋状土坑がみられ、加曾利E式、阿玉台式などが出土している。竪穴建物跡は北側にカマドを有しており、建物内では大小の焼土の塊が複数箇所からみられ、何らかの儀礼・儀式が行われた可能性がある。出土遺物の様子から古墳時代中期と考えられる。いずれも周辺調査の成果と符合するものである。	
調査年月日	令和6年4月11日～7月4日		
調査面積	145.92 m ²		
調査主体	笠間市教育委員会		
資料保管	笠間市教育委員会		
報告書名	令和9年度刊行予定		

13	くぼだいせき 久保台遺跡	08216128	(古墳時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	笠間市本戸 901-2 ほか	調査概要	市の西部、稲田川右岸の標高 55～70m の丘陵部斜面上に立地する。平安時代の遺構からは、墨書土器や風字硯、円面硯が出土しており、公的な建物跡が存在していた可能性がある。
調査原因	一般県道稲田友部線道路改良事業		
調査年月日	令和 6 年 4 月 1 日～8 月 31 日		
調査面積	6,489 m ²		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
14	いしいせきぐん 石井遺跡群 (2024-02 地点)	08216097	(奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	笠間市石井字向畑 467 番 11 ほか	調査概要	石井台と呼ばれる標高 42～69m の台地上に立地する。今回の調査では、平安時代の竪穴建物跡 5 棟、不明ピット 4 基を検出した。竪穴建物跡は一辺が約 3～5 m 程で小規模なものが多い。カマドは 3 棟で北壁に確認されたが、1 棟は重複により破壊され、1 棟は不明である。また、甕の大型片を袖部の補強材にしている状況や石製支脚を土器片で固定する様子などが確認されたが、全体的に遺存状況は悪い。帰属年代はいずれも 9 世紀後半～10 世紀前半であり、比較的短期間に構築されたものであろう。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 7 年 1 月 6 日～2 月 28 日		
調査面積	106 m ²		
調査主体	笠間市教育委員会		
資料保管	笠間市教育委員会		
報告書名	令和 9 年度刊行予定		
15	いちげしもつぼいせき 市毛下坪遺跡 (第 26 次)	08221130	(奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	ひたちなか市大字市毛字下坪 419 番 1	調査概要	那珂川左岸の那珂台地上、標高約 26m の台地縁部に立地する。今回の調査により、8 世紀中葉から後半の竪穴建物跡が 2 棟、時期不明の土坑 1 基とピット 1 基が確認された。遺構の遺存状態は悪い。竪穴建物跡はいずれも北西壁中央のカマドと 4 本の柱穴を有する。建物の柱穴配置やカマド位置等の構成は、市毛下坪遺跡における過去の調査で確認された同時期の竪穴建物跡と同様の傾向を示し、これまでの調査例を追認する結果が得られた。
調査原因	宅地造成工事		
調査年月日	令和 6 年 5 月 20 日～6 月 30 日		
調査面積	169 m ²		
調査主体	ひたちなか市教育委員会		
調査支援	株式会社真和技研		
資料保管	ひたちなか市教育委員会		
報告書名	『市毛下坪遺跡 宅地造成工事に伴う発掘調査報告書』 令和 7 年 3 月 31 日 ひたちなか市教育委員会		
16	むかいつぼいせき 向坪遺跡 (第 10 次)	08221129	(古墳時代 / 集落跡)
所在地	ひたちなか市堀口字向坪 643 番 2	調査概要	那珂川下流左岸の標高約 26m の台地上に位置する。調査では、竪穴建物跡 3 棟、土坑 1 基が確認された。特筆される遺物として、第 2 号竪穴建物跡から石製模造品、第 3 号竪穴建物跡から石製白玉が出土している。帰属時期は古墳時代中期頃と推定される。第 1 号土坑は、主軸両端にピットがあり、これを柱穴と推定すると、切妻構造の屋根がかかっていた可能性が考えられる。また土坑からも石製模造品が出土している。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 6 年 9 月 25 日～10 月 25 日		
調査面積	85 m ²		
調査主体	ひたちなか市教育委員会		
調査支援	(公財) ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社		
資料保管	ひたちなか市教育委員会		
報告書名	令和 8 年 3 月刊行予定		

17	<small>いちげいせき</small> 市毛遺跡 (第11次)	08221005	(平安時代、近世 / 集落跡)
所在地	ひたちなか市市毛字上坪 1110 番 16	調査概要	那珂川下流左岸の標高約 24mの台地上に位置する。調査では、竪穴建物跡 9 棟、土坑 2 基が確認された。竪穴建物跡からは、土師器・須恵器が多く出土している。出土遺物から、第 1 A・1 B・2・3 A・3 B・6 B 号竪穴建物跡は 9 世紀頃に帰属すると推定される。第 4・5・6 A 号竪穴建物跡は、出土遺物が少ないため時期不明である。第 1 号土坑は同じく時期不明であるが、第 2 号土坑は底面部に粘土貼りが施されていることが確認されたため、近世頃につくられたものと考えられる。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 7 年 2 月 18 日～3 月 21 日		
調査面積	52 m ²		
調査主体	ひたちなか市教育委員会		
調査支援	(公財)ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社		
資料保管	ひたちなか市教育委員会		
報告書名	令和 8 年 3 月刊行予定		
18	<small>いしざわだいせき</small> 石沢台遺跡 (第5次)	08225145	(奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	常陸大宮市石沢字台 1716 番 1 ほか	調査概要	久慈川支流玉川の低地を望む、標高 70mの台地縁辺部に位置する。今回の調査は、遺跡の北西部にあたり、調査の結果、奈良・平安時代の竪穴建物跡 6 棟を検出し、集落の広がりを確認できた。その中で一辺 5.5mを測る竪穴建物跡は、須恵器片をはじめ出土遺物が豊富で貴重な資料が得られた。
調査原因	宅地造成工事		
調査年月日	令和 6 年 6 月 17 日～7 月 22 日		
調査面積	360 m ²		
調査主体	常陸大宮市教育委員会		
調査支援	有限会社日考研茨城		
資料保管	常陸大宮市教育委員会		
報告書名	『石沢館跡Ⅱ 石沢台遺跡Ⅳ・Ⅴ』宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 令和 6 年 12 月 31 日 常陸大宮市教育委員会		
19	<small>まちあいいせき</small> 待合遺跡	08225057	(縄文時代、奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	常陸大宮市北塩子字峠 2193	調査概要	玉川右岸の段丘上に立地する。現在はほぼ平坦な畑地であるが、段丘裾部にあたる遺跡東側には埋没谷が多数形成されており、その周辺の竪穴建物跡 13 棟、土坑 4 基は、いずれも平安時代の 9 世紀末から 11 世紀頃のものである。この他縄文時代の土坑 2 基、中世の土坑 1 基、時期不明の竪穴状遺構や土坑、井戸跡、溝跡、ピットなどが確認された。時期不明の遺構はおおむね中・近世の所産と推測される。
調査原因	農地整備事業		
調査年月日	令和 6 年 9 月 9 日～11 月 11 日		
調査面積	1,580 m ²		
調査主体	常陸大宮市教育委員会		
調査支援	株式会社日本窯業史研究所		
資料保管	常陸大宮市教育委員会		
報告書名	『待合遺跡』農地整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 令和 7 年 3 月 15 日 常陸大宮市教育委員会		
20	<small>おのなかみちいせき</small> 小野中道遺跡	08225047	(縄文時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	常陸大宮市小野 2921 番地	調査概要	那珂川左岸の平坦な台地縁辺部に位置する。主な遺構として、地下式坑、井戸跡、掘立柱建物跡、竪穴状遺構、土坑、溝跡、ピットが確認された。それぞれの遺構は埋葬に関わる施設で、墓域としては 15 世紀後半の時期であるが、出土遺物から 13 世紀代から 15 世紀末までの遺跡と考えられる。
調査原因	関東農政局那珂川沿岸農業利水事業		
調査年月日	令和 6 年 10 月 21 日～11 月 15 日		
調査面積	214 m ²		
調査主体	常陸大宮市教育委員会		
調査支援	(有)毛野考古学研究 茨城支所		
資料保管	常陸大宮市教育委員会		
報告書名	『小野中道遺跡』農業用パイプライン布設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 令和 7 年 3 月 21 日 常陸大宮市教育委員会		

21	<small>みやたかもんのすけやかたあと</small> 宮田掃部助館跡（第3次）	08226080	（中世、近世 / 城館跡）
所在地	那珂市菅谷字高内 935 番 1 ほか	調査概要	
調査原因	宅地造成工事		市役所南東 2.3 km に位置し、低地に挟まれた標高 34m の微高地上に立地する。調査地は菅谷市毛線の西側に沿って L 字型の範囲であり、Ⅱ郭とⅢ郭に該当している。
調査年月日	令和 6 年 3 月 16 日～6 月 13 日		今回の調査で確認された遺構は、中近世の溝跡 16 条、土坑 1 基、井戸跡 2 基である。
調査面積	2,449.56 m ²		また、Ⅱ郭とⅢ郭を区画する土塁と堀跡が明らかとなり、Ⅲ郭西部の限界を確認した。
調査主体	那珂市教育委員会		
調査支援	有限会社日考研茨城		
資料保管	那珂市教育委員会		
報告書名	令和 7 年度以降刊行予定		
22	<small>おがわじょうあと</small> 小河城跡	08303195	（中世 / 城館跡）
所在地	小美玉市小川 1661 番 5	調査概要	
調査原因	旧小川小学校跡地周辺地域再整備		園部川左岸に位置する標高 20m の台地上に占地し、全体の縄張は 6 つの曲輪、堀及び堀切などで構成されている。今回の調査では方形竪穴遺構 23 基、粘土貼土坑 8 基、掘立柱建物跡 1 棟などが検出された。出土遺物には日用雑器類の土師質土器の鍋、播鉢、壺のほか祭祀に用いる小皿がある。「妙喜」の墨書がある小皿は、城主園部氏の菩提寺である妙喜寺との関連が指摘できる。また、常滑焼大甕、古瀬戸平碗などの国産陶器だけでなく、青磁碗、香炉（龍泉窯）、白磁碗などの舶載磁器も確認されており、15 世紀代における小河城主としての園部氏の力量と小河城の構造の一端を知ることができた。
調査年月日	令和 6 年 7 月 1 日～9 月 18 日		
調査面積	448.15 m ²		
調査主体	小美玉市教育委員会		
調査支援	株式会社勾玉工房		
資料保管	小美玉市教育委員会		
報告書名	令和 7 年度刊行予定		
23	<small>こづるにしいせき</small> 小鶴西遺跡	08302233	（縄文時代～古墳時代、平安時代、中世 / 集落跡）
所在地	茨城町小鶴 1331-1 ほか	調査概要	
調査原因	主要地方道大洗友部線道路整備事業		町の北西部、涸沼川左岸の標高約 6 m の微高地上に立地する。弥生時代から中世まで、断続的に集落が営まれており、平安時代の竪穴建物跡からは、墨書土器が多数出土した。中世では、城館に伴う区画溝を確認した。
調査年月日	令和 6 年 12 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日		
調査面積	1,447 m ²		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
24	<small>てらのうえいせき</small> 寺ノ上遺跡（第8次）	08309030	（奈良・平安時代 / 道路跡）
所在地	東茨城郡大洗町大貫町 1745 番 1 ほか	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		芯々間約 7.25m の幅を持つ平安時代前期の道路跡 1 条を調査した。廃絶直後に、土師器・須恵器・焼土ブロック・貝類遺体（ダンベイキサゴ等）などの遺物が多量に投げ込まれており、出土した木葉下・新治窯跡群産の須恵器などの様相から、9 世紀後半頃に埋め戻しが行われたとみられる。
調査年月日	令和 6 年 3 月 22 日～5 月 10 日		東北地方への水上交通の要地である北側の平津と、南の鹿島社・新鹿島郡家等、鹿島郡を南北に結んだ古代道路としては新発見であり貴重な事例である。開発は中止となり、地下に保存されている。
調査面積	72.4 m ²		
調査主体	大洗町教育委員会		
資料保管	大洗町教育委員会		
報告書名	令和 10 年度刊行予定		

25	ひじょういせき 飛城遺跡 (第2次)	08309041	(縄文時代、奈良・平安時代、中世 / 集落跡)
所在地	東茨城郡大洗町字飛城 1441 番ほか	調査概要	
調査原因	新消防庁舎建設事業		縄文時代晩期に帰属する土坑が1基検出された。第1次調査の成果から古代の集落跡が広がるものと想定されたが、該期の竪穴建物跡は10世紀前半の1棟のみであった。
調査年月日	令和6年3月25日～8月5日		調査区西斜面からは、中世に帰属する地下式坑や方形竪穴がまとまって検出され、谷を挟んだ西側台地上の登城館跡とのつながりが予想された。
調査面積	1,060 m ²		
調査主体	大洗町教育委員会		
調査支援	株式会社勾玉工房		
資料保管	大洗町教育委員会		
報告書名	『飛城遺跡 (第2次) 大洗町消防本部改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書』 令和7年10月 大洗町教育委員会		

26	いしがみじょうあと 石神城跡 (第3次)	08341106	(中世 / 城館跡)
所在地	那珂郡東海村大字石神内宿字本城 1244 ほか	調査概要	
調査原因	石神城跡整備基本計画事業		東海村北部に位置し、標高約18mの台地上に立地する。調査の目的は、I郭北東縁辺部に3か所の調査区を設定し、既往調査で検出した区画溝の延長及び柵列の有無を確認することで、郭本来の範囲を解明することである。調査の結果、上記の溝・柵列は確認できなかったが、土坑11基(方形竪穴含む)、粘土貼土坑1基、溝跡1条、ピット58基(柱穴含む)、不明遺構1基を検出した。また、複数の整地面を確認し、土師質土器の年代から、15～16世紀の間に繰り返し造成があったことが判明した。
調査年月日	令和5年12月1日～令和6年4月29日		
調査面積	60 m ²		
調査主体	東海村教育委員会		
調査支援	東海村石神城跡調査整備委員会		
資料保管	東海村教育委員会		
報告書名	令和8年度刊行予定		

27	ひろのいせき 広野遺跡 (第9次)	08341163	(縄文時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	那珂郡東海村大字豊岡字塙 1596 番1	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		東海村北部に位置し、標高21mほどの台地上に立地する。調査の結果、縄文時代の陥し穴1基、古墳時代の竪穴建物跡1棟、平安時代の竪穴建物跡5棟、時期不明の土坑3基を検出し、当地が縄文時代には狩場として、古墳時代から平安時代にかけては集落として土地利用されたことが判明した。
調査年月日	令和6年5月16日～8月9日		古墳時代の竪穴建物跡を中心に比較的多くの遺物が出土した。遺構の年代は、古墳時代のものが5世紀後半～6世紀前半、平安時代のものが9～10世紀と考えられる。
調査面積	238 m ²		
調査主体	東海村教育委員会		
資料保管	東海村教育委員会		
報告書名	令和7年度刊行予定		

28	とよおかみやまえいせき 豊岡宮前遺跡 (第6次)	08341162	(古墳時代 / 集落跡)
所在地	那珂郡東海村大字白方字馬場崎 1988 番3ほか	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		東海村北部に位置し、標高20.8mほどの台地上に立地する。調査の結果、古墳時代の竪穴建物跡2棟、時期不明のピット18基、土坑1基を検出した。全体的に出土遺物は少なかったものの、竪穴建物跡の時期は5～6世紀と考えられる。
調査年月日	令和6年8月20日～10月1日		
調査面積	60 m ²		
調査主体	東海村教育委員会		
資料保管	東海村教育委員会		
報告書名	令和7年度刊行予定		

29	こぼうちいせき 古房地遺跡	08202143	(古墳時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	日立市大みか町4丁目156ほか	調査概要	市の南東部、茂宮川左岸の標高10～20mの海岸段丘上に立地する。奈良・平安時代を中心とした集落跡で、西側にカマドを付設した多くの堅穴建物跡を確認した。「佐都郷」の墨書土器(高台付皿)や双耳坏、様々な鉄製品が出土した。
調査原因	一般国道245号・日立港区北拡幅事業		
調査年月日	令和6年4月1日～7月31日		
調査面積	1,403 m ²		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

30	ほんてんやまこふん 梵天山古墳(第2次)	08212080	(古墳時代 / 古墳)
所在地	常陸太田市島町2275ほか	調査概要	久慈川と山田川に挟まれた標高20～25m前後の台地上に立地する。今回の調査では、後円部のみ葺石があることや後円部から前方部にかけての墳裾に帯状の凝灰質泥岩が貼り付けてあること(くびれ部の斜面には幅広く貼り付けてある)、墳丘中段まで地山削り出しによる整形を行っていること、墳丘下に古墳築造以前と思われる逆台形字形の堀跡状遺構が確認された。遺物については、壺型埴輪や縦位凸帯付壺、弥生土器、瑪瑙片などが出土している。
調査原因	保存目的確認調査		
調査年月日	令和6年11月25日～令和7年3月21日		
調査面積	136 m ²		
調査主体	常陸太田市教育委員会		
調査支援	有限会社三井考測		
資料保管	常陸太田市教育委員会		
報告書名	令和9年度刊行予定		

31	ほしじんじやくふん 星神社古墳	08361003	(古墳時代 / 古墳)
所在地	常陸太田市小島町757-1	調査概要	久慈川左岸側、支流の浅川と山田川に挟まれた標高11～13m前後の沖積平野に立地する。今回の調査では、墳裾から外側に向けて5本の調査区(トレンチ)を設定した。いずれの調査区からも周溝の存在は確認されなかった。また、前方部の調査区では地表面より約30cm下に旧表土が確認された。遺物については、器台形埴輪以外にも縦位にヒレをもつ異形埴輪や鳥形埴輪片、形象埴輪、中実柱状脚高坏片と思われるものもあり、築造時期を検討する上で重要な遺物が出土している。
調査原因	保存目的確認調査		
調査年月日	令和7年1月27日～3月19日		
調査面積	130 m ²		
調査主体	常陸太田市教育委員会		
調査支援	有限会社三井考測		
資料保管	常陸太田市教育委員会		
報告書名	令和9年度刊行予定		

32	せきもとなかあわのじょうあと 関本中栗野城跡	08215132	(中世 / 城館跡)
所在地	北茨城市関本町関本中2472-1ほか	調査概要	市の北東部、里根川右岸の標高約60mの山頂に立地する。丘陵の高低差を利用して、階段状に曲輪が配置されている。城の中央部の第1・2号曲輪跡では、投石用の集石を確認した。また、南側の第21号曲輪跡からは門と考えられる掘立柱建物跡を確認した。遺物は、在地の土師質土器のほか、常滑産の陶器や中国産の白磁皿が出土した。その他、江戸時代の銭貨が出土した。
調査原因	一般国道6号勿来バイパス建設工事		
調査年月日	令和6年4月1日～9月30日		
調査面積	10,552 m ² (内2,967 m ² 掘削調査)		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

33	つかはらやかたあと 塚原館跡	08222130	(中世 / 城館跡)
所在地	鹿嶋市沼尾 974 ほか	調査概要	塚原館跡の位置する台地の南部から東部にかけて、道路予定地の前年度末調査部分の調査である。調査区からは墓域の南辺や区画する溝が検出され、切土による整地や柱穴が確認できた。また段切り遺構の外側にも土壇墓群が分布する。
調査原因	県営畑地帯総合整備事業		
調査年月日	令和 6 年 6 月 15 日～7 月 31 日		
調査面積	83 m ²		
調査主体	公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団		
資料保管	鹿嶋市どきどきセンター		
報告書名	令和 9 年度以降刊行予定		

34	かじうちいせき 梶内遺跡	08222132	(縄文時代、古墳時代～奈良・平安時代 / 包蔵地)
所在地	鹿嶋市沼尾 1001 ほか	調査概要	梶内遺跡の調査区 (2・8・15～19・28・29・30 区) からは、古墳時代から平安時代の竪穴建物跡を中心とした集落跡が検出している。8 区・19 区では、古墳時代後期の建物跡に奈良時代や平安時代の遺構が重複し集落の中心と考えられる。検出した奈良時代の竪穴建物跡のカマドには、東北地方の影響を受けた長煙道のカマドがみられる。部分的に中世の墓域である区画成形された段切り遺構が分布し、方形土坑や火葬墓、粘土貼土坑、地下式坑、井戸跡が検出されている。
調査原因	県営畑地帯総合整備事業		
調査年月日	令和 6 年 6 月 15 日～7 月 31 日		
調査面積	4,365 m ²		
調査主体	公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団		
資料保管	鹿嶋市どきどきセンター		
報告書名	令和 9 年度以降刊行予定		

35	すかこふんぐん 須賀古墳群	08222144	(古墳時代 / 古墳)
所在地	鹿嶋市須賀 706、712 ほか	調査概要	須賀古墳群は 13 基の円墳からなる古墳群で、北浦に面する鹿島台地の樹脂状に入り込む舌状台地南端の標高約 36m に立地する。古墳群北側に位置する 1 号墳の一部とその北側を調査した。須賀 1 号墳は微地形測量と発掘調査の成果から、周溝を含めた全長が約 25m、高さ約 2 m、周溝幅約 4 m、周溝の深さ 1 m を測る。また、古墳群の北側周辺では奈良・平安時代の土壇墓・火葬墓が検出され、古墳時代以降も墓域として利用されていたことが確認できた。この分布は宮中野古墳群大塚古墳周辺の遺構分布と類似している。
調査原因	県営畑地帯総合整備事業		
調査年月日	令和 6 年 6 月 15 日～7 月 31 日		
調査面積	2,645 m ²		
調査主体	公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団		
資料保管	鹿嶋市どきどきセンター		
報告書名	令和 9 年度以降刊行予定		

36	ぬまおほらいせき 沼尾原遺跡	08222131	(縄文時代 / 集落跡)
所在地	鹿嶋市大字沼尾字原 1262	調査概要	旧郡家跡の範囲内容確認のため、推定地の一つである沼尾神社周辺を調査した。沼尾原遺跡は、北浦から入り込む低地 (田谷沼) の最深部の台地に位置し、沼尾神社から北側に遺跡の範囲は広がり、これまで縄文時代の遺構が確認されている。今回は神社の参道入口に調査区を設定したが、旧郡家跡に直接関係する遺構は確認されなかった。
調査原因	保存目的の範囲内用確認調査		
調査年月日	令和 6 年 12 月 6 日～12 月 16 日		
調査面積	約 70 m ²		
調査主体	公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団		
資料保管	鹿嶋市どきどきセンター		
報告書名	鹿嶋市の文化財第 178 集『鹿嶋市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書 46』 令和 7 年 3 月 鹿嶋市教育委員会		

37	うしろたにいせき 後谷遺跡	08222124	(縄文時代～奈良・平安時代 / 包蔵地)
所在地	鹿嶋市大字田谷 331	調査概要	
調査原因	保存目的の範囲内容確認調査	旧郡家跡の範囲内容確認のため、推定地の一つである沼尾神社周辺を調査した。後谷遺跡は、沼尾神社南東の台地上に位置する。3か所にトレンチを設定し確認調査を行ったが、遺構・遺物は検出されず、旧郡家跡に直接関係する遺構は確認されなかった。	
調査年月日	令和7年2月3日～2月13日		
調査面積	92 m ²		
調査主体	公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団		
資料保管	鹿嶋市どきどきセンター		
報告書名	令和8年度刊行予定		

38	だいもんいせき 大門遺跡	08222077	(縄文時代～中世 / 包蔵地)
所在地	鹿嶋市大字田野辺 334-1 ほか	調査概要	
調査原因	保存目的の範囲内容確認調査	大門遺跡も旧郡家跡の推定地の一つであり、今回の調査では豊郷台地区畑地の整備事業に伴う調査で補足調査が必要な台地辺縁部と銅鈴が出土した住居跡の調査を行った。今般の調査では古墳・奈良・平安時代の竪穴建物跡4棟、時代不明の溝状遺構2条、土坑10基が確認された。旧郡家の時期の遺構が検出されているため、今後詳細な整理調査を実施し、時期の検討が必要である。	
調査年月日	令和7年3月3日～3月27日		
調査面積	104 m ²		
調査主体	公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団		
資料保管	鹿嶋市どきどきセンター		
報告書名	令和8年度刊行予定		

39	おおみねこふんぐん 大峰古墳群	08424065	(古墳時代 / 古墳)
所在地	行方市小幡字大新田 470	調査概要	
調査原因	特別高圧架空送電線路新設工事	行方台地先端、山田川左岸の台地縁辺部に立地する。標高約34m、周囲低地との比高約22m。遺跡周辺は畑地・宅地が主。今回の調査では、円墳1基、近世の溝跡1条、時期不明の土坑11基が確認された。昭和34年までの調査で、本古墳群に6基の円墳が登録されており、現在は2～6号墳は湮滅、1号墳が残存しているとされる。新たな円墳1基は、7号墳として報告することとなった。石棺系横穴式石室や7世紀末～8世紀初頭に相当する須恵器等が出土されている。石室に使用された板石材は雲母変成岩、通称「筑波石」であり、石材は抜き取られていたが破片は玄室内から多量に出土している。	
調査年月日	令和6年6月24日～7月22日		
調査面積	361 m ²		
調査主体	行方市教育委員会		
調査支援	(有)毛野考古学研究茨城支所		
資料保管	行方市教育委員会		
報告書名	「茨城県行方市 大峰古墳群 大峰遺跡 - 特別高圧架空送電線路新設工事に伴う発掘調査報告書-」 令和6年9月30日 行方市教育委員会		

40	てがますがたいせき 手賀升形遺跡	08425099	(時期不明 / 交通遺跡カ)
所在地	行方市手賀字升形 4358 番 3	調査概要	
調査原因	主要地方道水戸神栖線歩道整備事業	市の中央部、標高約30mの台地上に立地する。若干の硬化面を側溝脇で確認できたことから、道路跡の一部と推定した。溝内から遺物が出土していないため、道路の時期を確定できなかった。	
調査年月日	令和6年8月1日～10月31日		
調査面積	1,248 m ²		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

41	<small>こまきいしどういせき</small> 小牧石堂遺跡	08421221	(縄文時代、古墳時代～中世/集落跡・貝塚)
所在地	行方市小牧 140 ほか 25 筆	調査概要	
調査原因	工場建設		蔵川左岸の標高 34.6～36.6mの台地平坦部から斜面部に立地する。なお、東側約 1km には北浦が位置する。今回の調査で、縄文時代中期と古墳時代後期から奈良・平安時代の集落跡を確認した。縄文時代は、中期中葉から後葉にかけて竪穴建物跡 2 棟、土坑 73 基を検出した。また西部斜面部には貝層、地点貝塚及び袋状土坑がまとまって分布する。さらに、古墳時代から平安時代は台地平坦部全体に広がり、竪穴建物跡 30 棟が検出された拠点集落跡で、特に壁柱穴を伴う竪穴建物跡は特筆される。
調査年月日	令和 6 年 7 月 1 日～令和 7 年 1 月 27 日		
調査面積	3,661.25 m ²		
調査主体	行方市教育委員会		
調査支援	有限会社日考研茨城		
資料保管	行方市教育委員会		
報告書名	令和 7 年度刊行予定		
42	<small>なかたかつにしはらいせき</small> 中高津西原遺跡 (第 3 次)	08203098	(縄文時代、古墳時代 / 集落跡)
所在地	土浦市中高津二丁目 1307 番 6	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		桜川右岸の標高 23.5mの台地上に立地する。今回の調査は第 3 次となり、遺跡の南端にあたる。遺構は、縄文時代前期と古墳時代後期の竪穴建物跡が各 1 棟検出された。古墳時代の竪穴建物跡のカマド脇から土師器の甕、坏や支脚、カマド前から滑石製の双孔円盤が出土した。
調査年月日	令和 6 年 4 月 10 日～4 月 19 日		
調査面積	88 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	令和 8 年 3 月刊行予定		
43	<small>まえしんでんいせき</small> 前神田遺跡 (第 4 次)	08203194	(縄文時代、奈良・平安時代、近世/集落跡)
所在地	土浦市神立町 2585 ほか	調査概要	
調査原因	集合住宅建築		桜川左岸の標高約 26mの舌状台地上に立地する。今回の調査では、平安時代の竪穴建物跡 5 棟、近世以降の溝跡 2 条、近代以降の道路状遺構 1 条、時期不明の土坑 5 基が検出された。第 2 号竪穴建跡は同時期における他の竪穴建物跡と異なる長方形の平面形をもち、性格も異なる可能性が高い。
調査年月日	令和 6 年 4 月 16 日～5 月 28 日		
調査面積	378.3 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会		
調査支援	株式会社ラクロ		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	「前神田遺跡 (第 4 次調査)」 令和 7 年 6 月 30 日 土浦市教育委員会		
44	<small>ほんごうじょうにんつかいせき</small> 本郷上人塚遺跡	08465148	(古墳時代 / 集落跡)
所在地	土浦市本郷 374 番 11	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		恋瀬川支流である天の川右岸の標高約 28mの台地上に立地する。今回の調査では、古墳時代中期の竪穴建物跡 2 棟と土坑 3 基、ピット 1 基、時期不明の土坑 1 基とピット 4 基、溝跡 1 条が確認された。出土遺物は大半が土師器で、わずかに須恵器の細片も認められた。竪穴建物跡はどちらも支柱穴をもち、1 棟には性格不明ではあるが付属施設と見られる深さ約 40 cmの掘込みが伴う。
調査年月日	令和 6 年 5 月 9 日～5 月 29 日		
調査面積	110 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	令和 8 年 3 月刊行予定		

45	なかみちみなみいせき 中道南遺跡	08203482	(古墳時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	土浦市中字中道 887 ほか	調査概要	
調査原因	一般国道 6 号牛久土浦バイパス建設事業		市の南部、花室川右岸の標高 13～25mの台地上に立地する。古墳時代中期から平安時代にかけての集落跡を確認した。古墳時代中期の竪穴建物跡では、初期カマドを確認した。また、奈良・平安時代の竪穴建物跡からは鍬先や鎌などの農耕具が多数出土した。特に平安時代の竪穴建物跡内からは、全国的にも出土例が稀な銅製塔鏡形合子の蓋が出土した。
調査年月日	令和 6 年 4 月 4 日～8 月 31 日		
調査面積	4,065 m ²		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
46	まえしんでんいせき 前神田遺跡 (第 5 次)	08203194	(縄文時代、奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	土浦市神立町 2590 番 5	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		桜川左岸の標高約 26mの舌状台地に立地する。今回の調査では、平安時代の竪穴建物跡 2 棟、縄文時代の土坑が 9 基検出された。平安時代の竪穴建物跡からは、内面が黒色処理された土師器坏が出土している。今回の調査で、平安時代の集落が遺跡範囲の西側にも広がることを確認された。
調査年月日	令和 6 年 9 月 5 日～9 月 18 日		
調査面積	117.34 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	令和 8 年 3 月刊行予定		
47	はちまんだいせき 八幡台遺跡	08203211	(古墳時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	土浦市殿里 533 番 1	調査概要	
調査原因	集合住宅建築		桜川左岸の標高約 26mの台地縁辺部に位置する。古墳時代終末期の方墳 1 基、円墳の周溝 1 基、平安時代の竪穴建物跡 2 棟、溝跡 1 条、土坑 2 基が検出された。方墳の主体部からは石材が抜かれていたものの、少量の人骨と切子玉、ガラス小玉が検出された。
調査年月日	令和 6 年 8 月 26 日～9 月 25 日		
調査面積	206 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会		
調査支援	株式会社勾玉工房		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	「八幡台遺跡発掘報告書」 令和 7 年 9 月 30 日 土浦市教育委員会		
48	ひたなてんじんやまこふん 常名天神山古墳 (第 2 次)	08203233	(古墳時代 / 古墳)
所在地	土浦市常名 2445-1 ほか	調査概要	
調査原因	学術研究		桜川下流域左岸の新治台地上に立地する、現存長 60mほどの前方後円墳である。墳丘規模及び築造年代を明らかにするため、トレンチ調査を実施した。調査の結果、後円部径約 36mで地山削り出し及び盛土による構築であること、前方部は地山削り出しによる低平なつくりで、現存する高まりは後世の盛土であることなどが判明した。
調査年月日	令和 6 年 12 月 3 日～12 月 23 日		なお、くびれ部に設定したトレンチでは、残存状況の良好な壺形埴輪が出土した。築造時期については、埴輪から古墳時代前期と思われる。
調査面積	41.5 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会・筑波大学考古学研究室		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度刊行予定		

49	<small>かなざわいせき</small> 金澤遺跡 (第2次)	08203372	(奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	土浦市沖宿町 2484 番 1	調査概要	
調査原因	学校建設		霞ヶ浦北岸の標高約 26m の台地上に立地する。古墳時代後期の竪穴建物跡が 11 棟検出され、遺物も土師器の甕や坏の出土が多かった。焼失している竪穴建物跡も数棟検出された。
調査年月日	令和 6 年 10 月 24 日～令和 7 年 1 月 31 日		
調査面積	1,560 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会		
調査支援	株式会社勾玉工房		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	令和 7 年度刊行予定		

50	<small>しもいどうえいせき</small> 下井戸上遺跡	08203488	(中世 / 集落跡)
所在地	土浦市田村町 1090-1	調査概要	
調査原因	整地作業		霞ヶ浦西岸標高約 26m の台地縁辺部に立地する。調査では、地下式坑 1 基を検出した。地下式坑の主室は硬質な砂層を掘り込んで作られているため、遺存状態が非常によく、掘る際に使われた工具の痕跡を確認した。
調査年月日	令和 7 年 3 月 25 日～3 月 26 日		
調査面積	12 m ²		
調査主体	土浦市教育委員会		
資料保管	土浦市教育委員会		
報告書名	令和 8 年 3 月刊行予定		

51	<small>ひがしなるいひがしはらいせき</small> 東成井東原遺跡	08463140	(古墳時代～中世 / 集落跡)
所在地	石岡市東成井 1388 番	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		開発地は標高約 33m の台地上に立地する。道路跡 1 条、竪穴建物跡 2 棟が確認された。道路跡はロームの混じる平坦な暗褐色硬化面が確認され、硬化面の一部は轍と思われる深さ 10cm 程度の窪みが平行に 4 本認められる。2 車線の道路跡になると思われる。暗褐色硬化面の下は、V 字状の溝があり、水はけなどに使用された可能性がある。遺物から中世の遺構と考える。竪穴建物跡は古墳および奈良・平安時代である。
調査年月日	令和 6 年 4 月 10 日～4 月 26 日		
調査面積	80 m ²		
調査主体	石岡市教育委員会		
資料保管	石岡市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度刊行予定		

52	<small>ひがしなるいかまたいせき</small> 東成井鎌田遺跡	08463160	(縄文時代、古墳時代 / 包蔵地)
所在地	石岡市東成井 1723 番 1 の一部	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		開発地は園部川を南に望む標高約 32m の台地上に立地する。竪穴建物跡 4 棟、掘立柱建物跡 1 棟、性格不明遺構 3 基が確認された。竪穴建物跡はいずれも重複しており、掘立柱建物跡がそれらに後出する。共伴する遺物はいずれの遺構も古墳時代が大半を占め、ごく少量の縄文土器が含まれる。性格不明遺構はいずれも円形で丸底状を呈し、底部中央付近で赤色焼土がまとまって検出された。
調査年月日	令和 7 年 1 月 20 日～2 月 28 日		
調査面積	54 m ²		
調査主体	石岡市教育委員会		
資料保管	石岡市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度刊行予定		

53	ふちゅうじょうあと 府中城跡	08205096	(奈良・平安時代、中世 / 城館跡)
所在地	石岡市総社一丁目 421 番 21、同番 43	調査概要	開発地は石岡小学校の南東約 150m の台地上に立地する。 溝跡 1 条と性格不明遺構 1 基、ピット 1 基が確認された。溝跡は U 字状であり、上部幅約 1.5m、底部幅約 40cm。遺物に奈良・平安時代の土師器・須恵器・瓦を含むことから当該期の遺構と考える。性格不明遺構はローム層を垂直に掘り込み、壁面及び床面には明確な硬化が見られる。遺物は少なく時期は不明だが、状況から堅穴建物跡の可能性もある。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 7 年 3 月 10 日～3 月 24 日		
調査面積	50 m ²		
調査主体	石岡市教育委員会		
資料保管	石岡市教育委員会		
報告書名	令和 8 年度刊行予定		
54	さいこうじまえいせき 西光寺前遺跡	08217061	(縄文時代 / 包蔵地)
所在地	取手市野々井 1 番 5 ほか	調査概要	取手市役所から西へ約 1 km の北相馬台地の根幹部の標高約 22m の台地上に立地する。遺跡周辺は小規模な谷津が複雑に入り込み、谷津を見下ろす台地上に複数の縄文時代の遺跡が点在し、過去の調査から、埋没谷の遺物包含層（縄文時代後期）であることが確認されている。 今般の調査地は遺跡の中心部に位置し、同様の遺物包含層を確認した。埋没谷が遺跡の北東から南西方向に入っていることが推測される調査となった。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 6 年 1 月 23 日～7 月 5 日		
調査面積	64 m ²		
調査主体	取手市教育委員会		
資料保管	取手市埋蔵文化財センター		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
55	ほうばらいせき 鳳原遺跡	08219195	(古墳時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	牛久市田島町 1422-11 ほか	調査概要	市の南東部、小野川左岸の標高 22～26m の台地上に立地する。古墳時代から平安時代にかけての堅穴建物跡や掘立柱建物跡、鍛冶工房跡を確認した。古墳時代後期の堅穴建物跡の中に、煙道部が長いカマドを確認した。鍛冶工房跡からは、複数の炉や廃滓用の土坑を確認したことから、長期間操業していたと考えられる。
調査原因	主要地方道竜ヶ崎阿見線バイパス整備事業		
調査年月日	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日		
調査面積	10,614 m ²		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和 8 年度以降刊行予定		
56	ささぎいせき 大角豆遺跡 (第 23 次)	08220113	(縄文時代、古墳時代～近世 / 集落跡ほか)
所在地	つくば市大角豆 844 番 1	調査概要	遺跡は市の南東部、花室川右岸の標高 19～21m の台地上に立地する。調査地点は遺跡西部に位置し、ブロック工事部分のみの調査である。狭小な調査区ながら、縄文時代中期の堅穴建物跡 1 棟と土坑 2 基、近世の土坑 3 基を確認した。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 6 年 4 月 25 日～5 月 2 日		
調査面積	12 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		

57	<small>やたべだいなるいせき</small> 谷田部台成井遺跡 (第3次)	08220071	(縄文時代 / 集落跡・包蔵地)
所在地	つくば市谷田部字成井 5835 番 1	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		遺跡は市の中央部南側、谷田川左岸の標高 23m の台地上に立地する。調査地点は遺跡中央部に位置し、浄化槽部分のみの調査。径 0.6m、深さ 0.8m の円形の土坑 1 基を確認した。出土土器から、縄文時代の所産と考えられる。
調査年月日	令和 6 年 8 月 15 日～8 月 23 日		
調査面積	3 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		
58	<small>はなむろてらははいじ</small> 花室寺畑廃寺 (第1次)	08220480	(縄文時代、古墳時代～近世 / 寺院跡)
所在地	つくば市花室字前田上 823 番 5	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		市東部の桜川右岸、支谷に東面する標高 22m の段切り造成された平坦地に立地。遺跡東端の調査地は本来北東方向への斜面地であったが、中世以降三度にわたって大規模に盛土整地され、平坦地化されていることが分かった。遺構面は、戦国時代終わりから近世はじめ頃の第 1 面、戦国時代の第 2 面、室町時代の 3 面、地山の第 4 面の計 4 面を確認。各遺構面で、方形竪穴建物跡、柵列の可能性のある柱穴跡、井戸跡、土坑などを確認した。谷を挟んだ東側にある覚王寺が元々この地にあったといわれる。
調査年月日	令和 6 年 5 月 27 日～10 月 4 日		
調査面積	129 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		
59	<small>ひらさわかんがいせき</small> 平沢官衙遺跡 (第3期第4次)	08220202	(縄文時代～近世 / 官衙跡)
所在地	つくば市平沢字平 377 番	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		遺跡は市北部、八幡川右岸の標高 35m の台地上に立地。調査地は遺跡東端の史跡の隣接地に当たる。調査の結果、竪穴建物跡 1 棟、竪穴遺構 1 基、溝跡 6 条、土坑 13 基、ピット 129 基を確認。竪穴建物跡は弥生時代、竪穴遺構は戦国時代の所産。溝跡は 1 号と 4 号が重複。4 号が古く、1 号は幅を狭めて浅く造り直している。4 号は上幅 2.4m、深さ 0.6 m。覆土上・中部から古代瓦が出土しており、中世以降の所産と考えられる。1.6m 西側の 3 号溝跡とともに、区画か排水の溝と考えられる。
調査年月日	令和 6 年 7 月 29 日～10 月 21 日		
調査面積	225 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		
60	<small>ささぎいせき</small> 大角豆遺跡 (第24次)	08220113	(縄文時代、古墳時代～近世 / 集落跡)
所在地	つくば市大角豆 844 番 3	調査概要	
調査原因	個人住宅建築		第 23 次調査地の東側隣接地。旗竿地の通路部分に当たる幅約 3.5m、長さ約 30m の調査。縄文時代中期の袋状土坑 20 基を確認した。土坑は、ピットを持つものと持たないものの 2 種類があった。このうち 1 基の底面近くからは、完形の深鉢 2 個体が重なるように出土した。出土土器は、加曾利 E 1～2 式が主体であるが、曾利系土器や連弧文土器も出土している。東側の第 4 次調査地でも、縄文時代中期の土坑が多数確認されており、一帯に広く土坑群が造営されていたことが分かった。
調査年月日	令和 6 年 8 月 26 日～10 月 31 日		
調査面積	125 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
調査支援	株式会社勾玉工房		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		

61	<small>はなむろじょうあと</small> 花室城跡 (第5次)	08220124	(縄文時代～近世 / 城館跡)
所在地	つくば市花室 547 番 1、同番 2	調査概要	遺跡は市東部、花室川左岸の標高 22m の台地上に立地。調査地は城館跡中央に位置し、斜面に面した平坦部に当たる。調査の結果、本来予定地は斜面地で、斜面堆積層や盛土層によって平坦化していることが分かった。遺構は盛土層を掘り込んで造られており、溝跡 4 条と土坑 4 基は中世の所産と考えられる。2～4 号溝跡は重複しており、軸方向を変えて造り直されている。肩部のみ確認した 4 号溝跡は、西側の切通し状の現道と同軸方向のため、現道が堀跡を踏襲していると思われる。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 6 年 9 月 12 日～令和 7 年 1 月 24 日		
調査面積	154 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年度刊行予定		

62	<small>おおそねじょうあと</small> 大曾根城跡 (第5次)	08220306	(縄文時代、古墳時代～近世 / 城館跡)
所在地	つくば市大曾根 571 番 2	調査概要	遺跡は市北部、桜川右岸の標高 27m の台地上に立地。調査地は城館跡中央に当たる。調査の結果、堀跡 2 条、竪穴建物跡 1 棟を確認した。堀跡は重複しており、軸方向を少しずらして造り替えられている。新しい 1 号は上幅 4.8m、底幅 1.8m、深さ 1.5 m の箱堀。2 号は 1 号に壊されていて詳細は不明だが、深さは 1.7m で、薬研堀と思われる。堀跡の続きは 30m 東方でも確認されており、南北を大きく区画していたと考えられる。1 号の肩部では古墳時代の竪穴建物跡の床面の一部が確認された。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 7 年 1 月 17 日～2 月 3 日		
調査面積	39 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		

63	<small>やたべだいなるいいせき</small> 谷田部台成井遺跡(第2次1区画)	08220071	(旧石器時代～縄文時代、古墳時代～近世 / 包蔵地)
所在地	つくば市谷田部台字上ノ原 5867 番 1	調査概要	遺跡は市南部、谷田川左岸の標高 22m の台地上に立地。調査地は遺跡東端に当たる。調査の結果、調査区全体で旧石器時代の遺物集中が確認された。石器・礫の出土総数は、2 千点以上。大半は径 1～2 cm の小型礫で、いわゆるイモ石礫群と思われる。石器は総数の 1 割程度で、削器、石核、剥片などがある。石器石材は、黒曜石やガラス質黒色安山岩、トロトロ石などである。出土層位は、ソフトローム層下部～ハードローム層上部。縄文時代の炉跡 1 基なども確認された。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 7 年 2 月 10 日～3 月 25 日		
調査面積	224 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
調査支援	株式会社勾玉工房		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		

64	<small>うえのむろ</small> 上ノ室マイバ遺跡(第17次3区画)	08220503	(縄文時代、古墳時代～近世 / 集落跡)
所在地	つくば市上ノ室 1743 番 1	調査概要	遺跡は市東部、桜川右岸の標高 25m の台地上に立地。調査地は遺跡北東側に当たる。調査の結果、竪穴建物跡 335 基を確認した。竪穴建物跡のうち、2 棟が約 4 m 四方の古墳時代中期の所産。炭化材が多く出土しており、いずれも焼失住居の可能性がある。残りの 1 棟は奈良・平安時代のもので、規模は 3 m 四方。溝跡は、上幅 0.3～1 m、深さ 0.2～0.4 m で近世以降の所産と考えられる。土坑は、縄文・古墳～平安時代、近世等のものである。
調査原因	個人住宅建築		
調査年月日	令和 7 年 3 月 3 日～3 月 28 日		
調査面積	160 m ²		
調査主体	つくば市教育委員会		
資料保管	つくば市出土文化財管理センター		
報告書名	令和 9 年 3 月刊行予定		

65	やたべじんばにしいせき 谷田部陣場西遺跡	08220632	(縄文時代、古墳時代 / 集落跡)
所在地	つくば市谷田部字陣場 2430 ほか	調査概要	
調査原因	島名・福田坪一体型特定土地地区画整理事業		市の南西部、谷田川と西谷田川に挟まれた標高約 22mの斜面地に立地する。縄文時代の集落跡は、中央の広場を取り囲むように堅穴建物跡と土坑群が環状にめぐる。楕円形の土坑から翡翠製の大珠が出土し、墓域の可能性がある。古墳時代の集落跡は、4世紀末から6世紀前葉のもので、北陸系の装飾器台が出土している。
調査年月日	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
調査面積	29,039 m ² (うち 19,848 m ² 調査終了)		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

66	じんぐうじじょうあと 神宮寺城跡	08448001	(古墳時代～近世 / 城館跡)
所在地	稲敷市神宮寺 506-33 ほか	調査概要	
調査原因	道路整備工事		南西部と南東部の小谷に挟まれた標高 23～29mの台地上に立地する。中世の堀跡 5 条、土橋跡 1 か所、ピット 1 基、近世の溝跡 1 条が確認され、これまで不透明であった主郭西辺の構造が明らかとなった。城跡西辺には西から入り込む谷津が存在し、これを利用しつつ南北方向に堀を構築することで主郭を区画・遮断したことが判明した。
調査年月日	令和6年9月24日～10月24日		遺物は、白磁割高台小皿をはじめとする貿易陶器や国産陶器が確認され、15世紀後半～16世紀前葉を主体とする。堀跡もこの時代に機能していたと想定される。
調査面積	800 m ²		
調査主体	稲敷市教育委員会		
調査支援	株式会社地域文化財研究所		
資料保管	稲敷市教育委員会		
報告書名	『神宮寺城跡 市道(桜)1252号線道路整備工事に伴う発掘調査報告書』令和7年3月11日発行 稲敷市教育委員会		

67	あみひがしいせき 阿見東遺跡	08443106	(古墳時代～近世 / 集落跡)
所在地	稲敷郡阿見町中郷二丁目2番47 ほか	調査概要	
調査原因	集合住宅建築		清明川と霞ヶ浦の間に挟まれた標高 24～26mの台地平坦部に立地する。今般の調査では、古墳時代の堅穴建物跡 9 棟、奈良・平安時代以降の掘立柱建物跡 2 棟、土坑 2 基、大型円形土坑 1 基、中世及び近世の土坑 18 基、土壙墓 5 基が確認された。主な出土遺物として、旧石器時代～縄文時代(石鏃)、古墳時代(土師器坏・甕・甑・鉢カ)、奈良・平安時代(土師器坏・甕、須恵器坏・甕、土製品)、中世・近世(陶磁器、古銭、人骨)等が確認された。
調査年月日	令和6年11月18日～令和7年2月18日		
調査面積	770 m ²		
調査主体	阿見町教育委員会		
調査支援	有限会社毛野考古学研究所茨城支所		
資料保管	阿見教育委員会		
報告書名	令和8年2月刊行予定		

68	ねかたいせき 根方遺跡 すわじいんあと 諏訪寺院跡	08443178	(縄文時代、古墳時代～平安時代、近世 / 集落跡)
所在地	阿見町追原 1535-1 ほか	調査概要	
調査原因	一般県道稲敷阿見線現道拡幅工事		町の東部、清明川左岸の標高約 25mの台地上に立地する。寺院跡を構成する基壇建物跡、掘立柱建物跡、区画溝等を確認した。基壇北辺は外装が瓦積基壇であることを確認した。基壇建物跡・掘立柱建物跡の軒方向や瓦の出土状況から少なくとも3時期の変遷が想定できる。
調査年月日	令和6年9月1日～令和7年3月31日		
調査面積	2,169 m ²		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

69 ^{ひがし かどにし かどしろあと} 東の門西の門城跡 (第7次) 08543015 (弥生時代～中世 / 集落跡・城館跡)

所在地 古河市山田字稲荷浦 1279 番ほか
 調査原因 県営圃場整備事業
 調査年月日 令和6年11月5日～令和7年3月1日
 調査面積 4,320 m²
 調査主体 古河市教育委員会
 調査支援 株式会社東京航業研究所
 資料保管 古河市教育委員会
 報告書名 令和8年3月刊行予定

調査概要
 市城南東部、大川(旧長井戸沼東枝)左岸、標高約20m前後の台地縁辺部から平坦部に所在する。本年度調査区は、遺跡範囲西部に位置する。
 調査では、竪穴建物跡55棟などを確認した。弥生時代後期の竪穴建物跡は、近隣で確認例が少ない長軸10mを超える大きさものを含む。また、古墳時代中期～古代の集落跡のさらなる広がりが確認され、遺跡内で3例目となる皇朝十二銭【隆平永宝】が出土した。また、中世の遺構から、旧三和町域で最古の紀年銘を持つ板碑片が出土した。

70 ^{ゆうきは いじあと} 結城廃寺跡 (第11次) 08207018 (奈良・平安時代～中世 / 寺社跡)

所在地 結城市上山川字結城寺北乙 46-2 ほか
 調査原因 史跡整備
 調査年月日 令和6年8月1日～令和7年3月14日
 調査面積 550 m²
 調査主体 結城市教育委員会
 調査支援 国士舘大学考古学研究室
 資料保管 結城市教育委員会
 報告書名 令和10年度刊行予定

調査概要
 結城市東部、鬼怒川西岸の台地上に位置する。史跡整備に伴う調査を行い、奈良・平安時代及び中世の遺構・遺物を検出した。
 奈良・平安時代では、僧坊跡北方で9世紀頃の竪穴建物跡を確認し、土地利用の一端が明らかとなった。また、寺院の区画溝跡を調査し、9世紀頃の土師器が出土し、廃絶年代に関する成果を得た。
 中世では、13世紀頃の墓、16世紀頃の堀跡などを検出し、中世の様子を推測しうる成果を得た。

71 ^{さが まついせき} 下り松遺跡 08207035 (中世 / 集落跡)

所在地 結城市結城南第三土地区画整理事業 36 街区・38 街区
 調査原因 土地売却(区画整理事業)
 調査年月日 令和6年8月19日～10日11日
 調査面積 575 m²
 調査主体 結城市教育委員会
 調査支援 株式会社日本窯業史研究所
 資料保管 結城市教育委員会
 報告書名 『下り松遺跡Ⅱ 土地売却事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
 令和7年3月 結城市教育委員会

調査概要
 結城市東部、鬼怒川西岸の台地上に位置する集落跡。今般の調査で、地下式坑や井戸跡、堀跡、土坑などを検出し、土師質土器(小皿)や炆器(壺・甕・大甕)、陶器(常滑)、磁器(青磁碗)などが出土した。
 本遺跡は、旧来より古代結城郡の中心的な集落跡と考えられてきたが、今次調査によって中世の館跡の存在が想定される遺構を確認することができた。

72 ^{にしみょういせき} 西明遺跡 08502030 (縄文時代、古墳時代、中世 / 集落跡)

所在地 筑西市鍋山字西明 651-2 ほか
 調査原因 主要地方道筑西つくば線バイパス道路改築事業
 調査年月日 令和7年2月1日～3月31日
 調査面積 2,870 m²
 調査主体 公益財団法人茨城県教育財団
 資料保管 公益財団法人茨城県教育財団
 報告書名 令和8年度以降刊行予定

調査概要
 市の東部、小貝川と大川に挟まれた標高約30mの平坦な低台地上に立地する。古墳時代の集落跡を確認した。また、縄文時代と中世にも土地利用されていたことが、明らかとなった。

73	たつかいどういせき 辰海道遺跡	08324082	(弥生時代～中世 / 集落跡・墳墓)
所在地	桜川市長方175-7ほか	調査概要	
調査原因	道路建設事業		桜川支流の泉川右岸の標高43～45mの低位段丘上に立地する。平成13～15年の調査で、弥生時代後期～平安時代までの約800年にわたる集落が確認され、鍛冶・漆工、緑釉陶器など一般的な集落とは異なる遺構や遺物が出土している。今般の調査では過去の調査区より西側にあたり、弥生時代の墓域及び古墳時代後期～奈良・平安時代の集落跡が検出され、平安時代の18号竪穴建物跡から青銅製巡方が出土した。調査区南側の中世の遺構からは鍛冶関連遺物が出土し、鉄生産との関わりがうかがえた。
調査年月日	令和5年12月27日～令和6年5月31日		
調査面積	2,513.8㎡		
調査主体	桜川市教育委員会		
調査支援	有限会社毛野考古学研究所		
資料保管	桜川市教育委員会		
報告書名	「辰海道遺跡」令和6年8月30日 桜川市建設部建設課、桜川市教育委員会、有限会社毛野考古学研究所		

74	きゆうなかがゆうきしょうがくこうていせいせき 旧中結城小学校庭遺跡(第3次)	08521108	(縄文時代、古墳時代～中世 / 集落跡)
所在地	八千代町大字佐野1151番2ほか	調査概要	
調査原因	新生産棟建設		東側に鬼怒川の旧河道を臨み、北側を山川沼、南側を北沼に挟まれた標高25～28mの舌状台地に立地する。古墳時代の竪穴建物跡24棟、溝跡1条、井戸跡4基、性格不明遺構7基、土坑50基、ピット93基を検出した。古墳時代の竪穴建物跡は長軸7m以上の大型例が含まれる。遺物は縄文土器や土師器、須恵器といった縄文時代から中世にかけての遺物が出土した。
調査年月日	令和6年12月16日～令和7年3月31日		
調査面積	2,240㎡		
調査主体	八千代町教育委員会		
調査支援	株式会社東京航業研究所		
資料保管	八千代町教育委員会		
報告書名	令和7年度刊行予定		

75	こがねいこふんぐん 小金井古墳群	08546016	(旧石器時代～縄文時代、古墳時代 / 集落跡・墳墓)
所在地	猿島郡境町大字長井戸字小金井830番	調査概要	
調査原因	国道354号古河境バイパス整備事業		町の北部、旧長井戸沼東岸の標高約16mの台地上に立地する。4世紀中葉の方墳群を確認した。同時期の竪穴建物跡が墓域で確認されたことや、柱穴が無い等から、竪穴建物跡は特殊な建物と考えられる。また、旧石器の石器集中地点を確認した。
調査年月日	令和6年11月1日～令和7年3月31日		
調査面積	1,977㎡(うち988㎡が調査終了)		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

76	しみずいせき 清水遺跡	08546054	(縄文時代、古墳時代～奈良・平安時代 / 集落跡)
所在地	猿島郡境町大字塚崎字清水2430-1ほか	調査概要	
調査原因	境町利根川左岸防災ステーション事業		町の北西端部、利根川左岸の標高約13mの低地上に立地する。前年度からの継続調査で、古墳時代前期の大規模な集落を確認した。
調査年月日	令和6年9月2日～令和7年1月31日		
調査面積	3,725㎡		
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団		
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団		
報告書名	令和8年度以降刊行予定		

令和8年3月31日発行

茨城の文化財 第64集

茨城県教育委員会